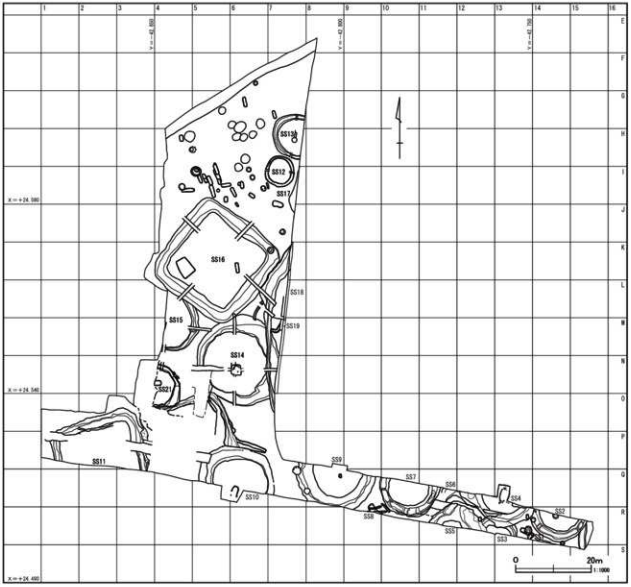
V 飯塚古墳群

1 遺跡の概要

飯塚古墳群は、利根川や小山川が形成した沖積低地（妻沼低地）内の自然堤防上に立地している。飯塚北遺跡の東側にあり、北から貫入する低地により東西に対峙する形となっている。標高は31 m程度である。検出された遺構は、古墳跡20基・土坑39基・井戸跡12基・溝跡6条・性格不明遺構1基を検出した。古墳は4基の方墳を除いて16基が円墳であった。規模は周溝径8 mが最小のもので、周溝径15 m前後・20 m程で15 m前後の円墳が主体である。東側に周溝径15 m程のものがまとまり、その西側に径20 mの円墳が広がり、北は小型円墳となる。東側で古墳の重複が特にみられる。

方墳は、4基のうち明確な2基は周溝27 mと23 mのものがあり、27 mの方墳は2基の円墳と重複しているが円墳より後出と確認でき、もう1基の東に隣接する方墳には周溝外周が壊されている。24



第292図　飯塚古墳群全測図

mの方墳は西端にあり、他の古墳とは重複していない。また、備前渠沿いに確認された11基の古墳は、地表では墳丘が確認できなかったが、河川の氾濫などによる埋没古墳であることが確認できたが、北側の古墳は、耕作等により墳丘は削平されて周溝が確認できただけのものもあった。しかし、備前渠沿いの第10号墳については、石室が確認された他の古墳より石室基底面が1.0～1.1mほど低く、この古墳は大きく沈下したものと推定される。

第7号墳と第9号墳からは、大量の円筒埴輪が出土した。第7号墳では墳丘東側裾部に転倒はしているが原位置を保った埴輪が遺存していた。周溝部から出土の埴輪も、墳丘裾部からそのまま転落した位置で間隔を持って出土した。更に、南西側周溝では朝顔形埴輪が出土した。第9号墳では、南側周溝から大量の円筒埴輪が出土した。墳丘南東裾に朝顔形埴輪が原位置を保って依存し、南側周溝を除いて周溝内出土の埴輪は、裾部から転落し他状態で出土していた。土師器坏も周溝から出土し、南西周溝出土の坏は3個体が重なって出土した。

主体部は、横穴式石室が4基の古墳で検出し、いずれも角閃石安山岩製の転石を一部加工して構築されていた。また、主体部とみられる土坑も確認された。

第4号墳は石室内の敷石と西壁の2段の根石と合わせて3段確認され、胴張りの石室であることが確認できた。石室は角閃石安山岩転石を敷き、その上に川原石の礫を敷く構造であった。石室内には刀子・鉄刀・刀装具・滑石製丸玉が副葬され、周溝からは須恵器平瓶・横瓶が出土している。第10号墳は、沈下したためか石室の残りは他の古墳の石室よりは良好であったが、石室前面と羨道部は備前渠により掘削され残存していなかった。石室平面形は、奥壁は湾曲しているが東側の側壁は直線的で、胴張り石室ではないとみられる。第4号墳と同様に角閃石安山岩製の転石を一部加工した石室の構築は、奥壁と東壁は根石が2段、西壁は3段積みで、石室内は奥壁が5～6段積み、東壁は6～7段積み、西壁が6～8段積みが遺存していた。石室は角閃石安山岩の転石を敷きその上に川原石の礫を敷く構造で、第4号墳と同じ構造をしている。第14号墳・第15号墳ともに上部は削平され、第14号墳は石室の根石が確認されたのみであったが、残存部位から胴張りの石室であったことが推定される。第15号墳は更に西側が削平され一段低くなっており、石室も東壁の一部の根石と棺床面下の敷石が確認されだけであった。

第11号墳は西端に位置し、一辺の長さが23m程の周溝溝から土師器坏と須恵器提瓶が出土した。

なお、第20号墳は、県道部分の発掘調査で検出されたことから、本報告では欠番となっている。なお、第20号墳は当事業団報告書第317集「飯塚古墳群Ⅰ」に掲載されている。

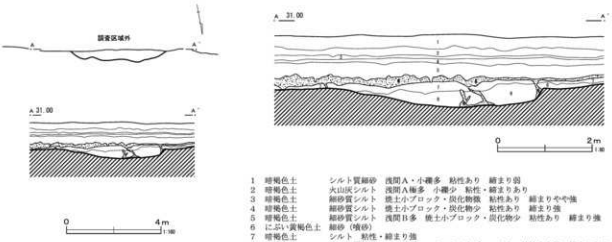
2　遺構と遺物

（1）古墳跡

第１号墳（第293図）

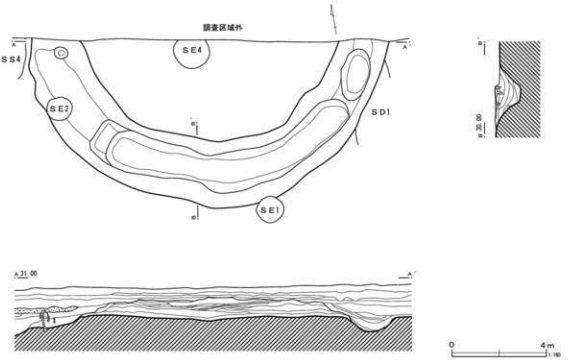
調査区南端で東に延びる調査区の東端のＲ－14グリッドに位置し、南側が調査区域外となっている。周溝の外周の一部が検出されたのみである。北側に第２号墳が位置し、間隔は0.8～1.2ｍしか離れていない。古墳の規模・墳形とも不明であるが、円墳と推定される。

周溝幅は不明で、確認面から深さは0.35ｍ確認

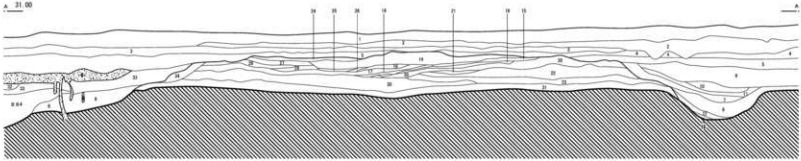


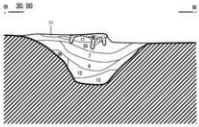
1　暗褐色土　シルト質細砂　浅間Ａ・小礫多　粘性あり　締まり弱
2　暗褐色土　火山灰シルト　浅間Ａ極多　小礫少　粘性・締まりあり
3　暗褐色土　細砂質シルト　焼土小ブロック・炭化物微　粘性あり　締まりやや強
4　暗褐色土　細砂質シルト　焼土小ブロック・炭化物少　粘性あり　締まり強
5　暗褐色土　細砂質シルト　浅間Ｂ多　焼土小ブロック・炭化物少　粘性あり　締まり強
6　にぶい黄褐色土　細砂（噴砂）
7　暗褐色土　シルト　粘性・締まり強
8　暗褐色土　シルト質細砂　ロームブロック・シルトブロック少　粘性やや強　締まりあり

第293図　第１号墳



第294図　第２号墳（１）





1　暗褐色土　シルト質細砂　浅間A・小礫多　粘性あり　締まり弱
2　暗褐色土　火山灰シルト　浅間A極多　小礫少　粘性・締まりあり
3　暗褐色土　細砂質シルト　焼土少　焼土ブロック・炭化物微　粘性あり　締まりやや強
4　暗褐色土　細砂質シルト　焼土・焼土ブロック・炭化物少　粘性あり　締まりやや強
5　暗褐色土　細砂質シルト　浅間B多　焼土小ブロック・炭化物少
6　に赤い黄褐色土　細砂（埋砂）
7　暗褐色土　シルト　粘性・締まり強
8　暗褐色土　シルト質細砂　ロームブロック・シルトブロック少　粘性やや強　締まりあり
9　に赤い黄褐色土　細砂質シルト　粘性・締まりやや強
10　暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑やや多　粘性・締まりやや強
11　褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック多　マンガン斑・鉄斑　シルトブロック少
粘性・締まりやや強
12　暗褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック少　マンガン斑・鉄斑多
粘性やや強　締まりあり
13　黒褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロックやや多　粘性強　締まりあり
14　黄褐色土　細砂　ロームブロック多　シルトブロック少　粘性弱　締まりやや強
15　に赤い黄褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック・鉄斑・シルトブロック少　粘性弱　締まり強
16　暗褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック・シルトブロック多　粘性弱　締まりやや強
17　褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロックやや多　粘性弱　締まりやや強
18　に赤い黄褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック　シルトブロック少　粘性やや強　締まり有
19　暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　シルトブロック主体
粘性やや強　締まりあり
20　暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性弱　締まりやや強
21　暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロックやや多　白色粒少　シルトブロック主体
粘性やや強　締まりあり
22　暗褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック少　白色粒やや多　粘性弱　締まりやや強
23　褐色土　シルト質細砂　鉄斑・シルトブロック少　粘性弱　締まりやや強
24　褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック　白色粒　粘性弱　締まりやや強
25　暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性・締まりやや強
26　に赤い黄褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック多　粘性・締まりやや強
27　黄褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性・締まりやや強
28　に赤い黄褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性やや強　締まりあり
29　褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック・シルトブロック少　粘性・締まりやや強
30　暗褐色土　細砂質シルト　白色粒少　粘性弱　締まりあり
31　暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑少　粘性やや強　締まりあり
32　に赤い黄褐色土　シルト質細砂　マンガン斑・鉄斑やや多　粘性弱　締まりやや強
33　褐色土　細砂質シルト　鉄斑少　ローム小ブロックやや多　粘性弱　締まりやや強
34　暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑少　粘性・締まりやや強
35　に赤い黄褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック・マンガン斑多　白色粒少　粘性・締まりあり
36　暗褐色土　細砂質シルト　ロームブロックとシルトからなる構壁崩落土　粘性あり　締まり弱

第295図　第2号墳（2）

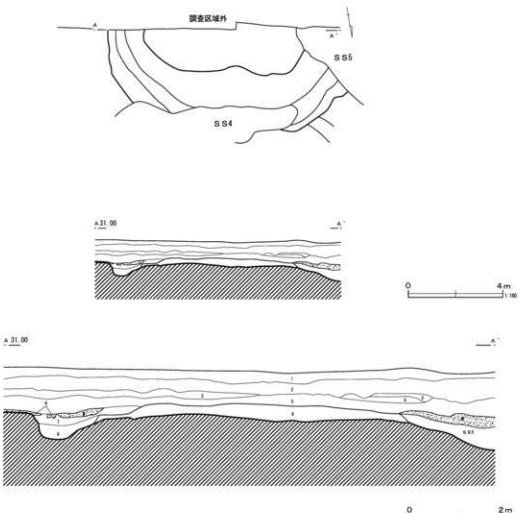
できた。表土は、第２層で浅間Ａ、第５層で浅間Ｂとみられる火山灰が多量に含まれていることが確認された。また、周溝確認面には平安時代の地震による墳砂が一面に拡がっていた。

第２号墳（第294・295図）

調査区南端で東に延びる調査区の東側のＲ－13・14・15グリッドに位置する。北側は調査区域外で、全体の半分以下の検出である。第１号墳が南に近接しており、第４号墳とは周溝が重複している。第１号溝は周溝外周部を一部壊し、第１・２・４号井戸とも古墳より新しく周溝及び墳丘を壊している。

墳丘径東西10.8ｍ、復元径11.0ｍ、周溝径東西15.6ｍ、復元径15.3ｍを測る小型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳12基中６番目の大きさである。

墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。墳丘部は既に大部分が削平されているが、0.7ｍ程の盛り土が確認され、中央部付近の基底部は沈下し



1　暗褐色土　シルト質　細砂　浅間Ａ・小礫多　粘性あり　締まり弱
2　暗褐色土　火山灰シルト　浅間Ａ極多　小礫少　粘性・締まりあり
3　暗褐色土　細砂質シルト　焼土少　焼土ブロック・炭化物微　粘性有り　締まり強
4　暗褐色土　細砂質シルト　焼土・焼土ブロック・炭化物少
5　暗褐色土　細砂質シルト　浅間Ｂ多　焼土小ブロック・炭化物少
6　にぶい黄褐色土　細砂（墳砂）
7　暗褐色土　シルト　粘性・締まり強
8　暗褐色土　細砂質シルト　白色粒少
9　にぶい黄褐色土　シルト質細砂　マンガン斑・鉄斑やや多

第296図　第３号墳

ているが盛り土1.0mが確認できた。

周溝は幅2.05～2.80mで、調査区範囲内では全周している。確認面から周溝の深さは0.81～1.10mを測り、全体に深く掘り込まれ逆台形の断面形を呈する。周溝底面は、東側一部と南側部分が深くなっている。墳丘及び周溝確認面に、部分的に墳砂が確認できた。

第３号墳（第296図）

調査区南端で東に延びる調査区の東側のＲ－12・13グリッドに位置する。南側は調査区域外で第４・５号墳と重複し、西側が第５号墳、北側が第４号墳に切られ、第４・５号墳が新しい。

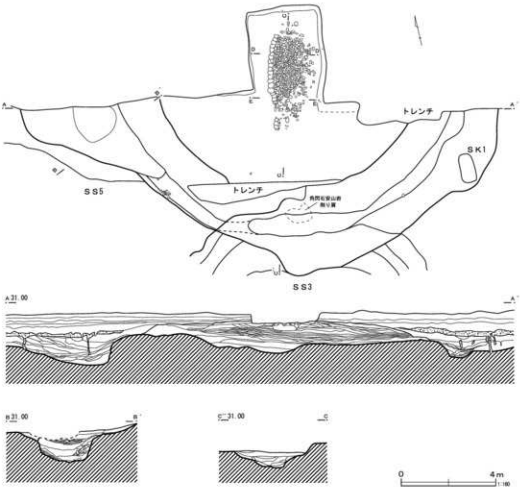
墳丘径復元径11.1m、周溝復元径14.0mを測る小型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳12基中７番目の大きさである。

墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。墳丘はほとんどが削平されているが、0.35m程の盛り土が確認され、基底部が東側で沈下していた。

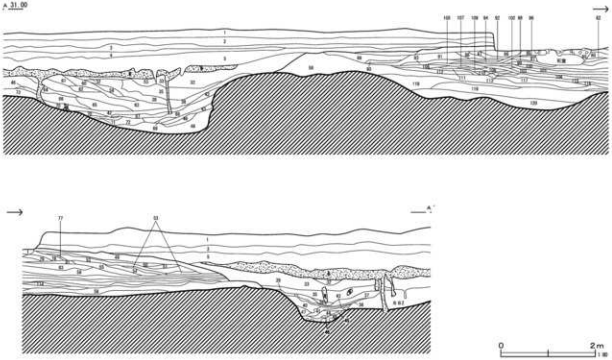
周溝は幅1.5～1.9mで、調査区範囲内では全周している。確認面から周溝の深さは0.26～0.78mを測り、全体に浅く掘り込まれ逆台形の断面形を呈する。周溝確認面の一部で墳砂が確認できた。

第４号墳（第297～304図）

調査区南端で東に延びる調査区の東側のＱ・Ｒ－12・13グリッドに位置する。北側は調査区域外であるが、主体部も検出できた。第２・３・５・６号



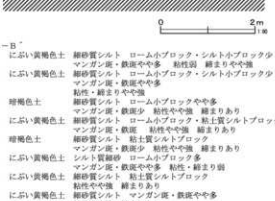
第297図　第４号墳（１）



A－A′
1 暗褐色土　シルト質細砂　浅間A・小礫多　粘性あり　締まり弱
2 暗褐色土　火山灰層　浅間A極多　小礫少　粘性・締まりあり
3 暗褐色土　細砂質シルト　焼土小ブロック・炭化物微　粘性あり　締まりやや強
4 暗褐色土　細砂質シルト　焼土ブロック・炭化物少　粘性あり　締まり強
5 暗褐色土　細砂質シルト　浅間B多　焼土小ブロック・炭化物少　粘性あり　締まり強
6 にぶい黄褐色土　細砂（暗砂）
7 暗褐色土　シルト　粘性・締まり強
8 暗褐色土　シルト質細砂　ロームブロック・シルトブロック少　粘性やや強　締まりあり
9 にぶい黄褐色土　細砂質シルト　5層が周溝内に堆積した部分　粘性・締まりやや強
10 暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑やや多　粘性・締まりやや強
11 褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック多　マンガン斑・鉄斑　シルトブロック少　粘性・締まりやや強
12 暗褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック少　マンガン斑・鉄斑多　粘性やや強　締まりあり
13 黒褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性強　締まりあり
14 黄褐色土　細砂　ローム小・大ブロック多　シルトブロック少　粘性弱　締まりやや強
15 にぶい黄褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック・鉄斑・シルトブロック少　粘性弱　締まり強
16 暗褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロックやや多　シルトブロック多　粘性弱　締まりやや強
17 褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロックやや多　粘性弱　締まりやや強
18 にぶい黄褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック　シルトブロック少　粘性やや強　締まりあり
19 暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　シルトブロック主体　粘性やや強　締まりあり
20 暗褐色土　細砂質シルト　ローム小・大ブロック少　粘性弱　締まりやや強
21 暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック多　白色粒少　シルトブロック主体　粘性やや強締まりあり
22 暗褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック少　白色粒やや多　粘性弱　締まりやや強
23 褐色土　シルト質細砂　鉄斑少　シルトブロック少　粘性弱　締まりやや強
24 褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック　白色粒少　粘性弱　締まりやや強
25 暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性・締まりやや強
26 にぶい黄褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック多　粘性・締まりやや強
27 黄褐色土　細砂質シルト　ローム少ブロック少　粘性・締まりやや強
28 にぶい黄褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性やや強　締まりあり
29 褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック・シルトブロック少　粘性・締まりやや強
30 暗褐色土　細砂質シルト　白色粒少　粘性弱　締まりあり
31 暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑少　粘性やや強　締まりあり
32 にぶい黄褐色土　シルト質細砂　マンガン斑・鉄斑やや多　粘性弱　締まりやや強
33 褐色土　細砂質シルト　鉄斑少　ローム小ブロックやや多　粘性弱　締まりやや強
34 暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑少　粘性・締まりやや強
35 灰黄褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑多　白色粒少　粘性やや強　締まり弱
36 暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑やや多　粘性やや強　締まり弱
37 灰黄褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑多　粘性やや強　締まりあり
38 灰黄褐色土　粘土質シルト　マンガン斑・鉄斑少　粘性強　締まり弱
39 にぶい黄褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑少　粘性やや強　締まりあり
40 にぶい黄褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑やや多　粘性やや強　締まり弱　壁崩落土
41 暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑やや多　粘性やや強　締まり弱
42 黒褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑やや多　粘性強　締まり弱　壁崩落土
43 灰黄褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑多　粘性やや強　締まりあり　壁崩落土
44 暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑やや多　ローム小ブロック・炭化物少　粘性強　締まり弱
45 暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑やや多　ローム小ブロック少　粘性強　締まりあり
46 にぶい黄褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑やや多　ローム小ブロック少　粘性強　締まりあり
47 褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑少　粘性やや強　締まり弱　壁崩落土
48 暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性強　締まりあり
49 暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性弱　締まりやや強
50 褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック多　粘性・締まりやや強
51 暗褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック少　粘性弱　締まりやや強
52 褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック多　粘性弱　締まりやや強
53 褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロック少　粘性弱　締まりやや強
54 暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性・締まりやや強
55 褐色土　シルト質細砂　ローム小ブロックやや多　粘性弱　締まりやや強
56 暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少　粘性・締まりやや強
57 暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑・白色粒少　粘性弱　締まりやや強
58 暗褐色土　細砂質シルト　マンガン斑・鉄斑少　ローム小ブロック少　粘性・締まりやや強
59 暗褐色土　シルト質細砂　黄褐色土ブロック・シルトブロック少　粘性・締まりあり
60 暗褐色土　シルト質細砂　シルト小ブロック微　粘性弱　締まりあり
61 暗褐色土　シルト質細砂　黄褐色土ブロック多　細砂まじるシルト主体　粘性・締まりあり

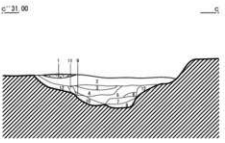
第298図　第4号墳（2）

62 にぶい黄褐色土 シルト質細砂 ローム対応ブロックやや多 粘性・締まりあり
63 暗褐色土 シルト質細砂 ローム対応ブロック多 マンガン結核少
粘性・締まりあり
64 黒褐色土 細砂質シルト ローム粒・マンガン結核少
粘性・締まりやや強
65 黒褐色土 シルト ローム粒少 マンガン結核多 粘性・締まりやや強
66 にぶい黄褐色土 細砂質シルト ローム粒小ブロック・鉄斑やや多
マンガン結核少 粘性やや強 締まりあり
67 暗褐色土 細砂質シルト 灰色粘質土小ブロック
粘性やや強 締まりあり
68 にぶい黄褐色土 細砂 粘質土 粘性・締まり弱
69 暗褐色土 細砂 陶伝はいらず、有機質的な色調の層 粘性・締まり弱
70 灰黄褐色土 シルト質細砂 ローム小ブロックやや多 鉄斑多
マンガン斑少 粘性・締まり弱
71 褐灰色土 シルト質細砂 ローム小ブロック多 鉄斑少
粘性・締まりあり
72 暗褐色土 シルト質細砂 ローム小ブロック・マンガン斑少
ローム粒多 粘性・締まり弱
73 暗褐色土 シルト ローム小ブロック・ローム粒微 マンガン斑少
粘性強 締まりあり
74 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック少 粘性・締まりあり
75 褐色土 細砂質シルト ロームブロック主体 シルトブロック少
粘性・締まりあり
76 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック少 粘性・締まりあり
77 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック少 シルトブロック主体
粘性・締まりあり
78 褐色土 細砂質シルト ローム対応ブロック多 シルトブロック
粘性・締まりあり
79 暗褐色土 細砂質シルト ローム粒少 シルトのみに近い層
粘性・締まりあり
80 褐色土 細砂質シルト ローム対応 砂質のみからなる層
粘性・締まりあり
81 暗褐色土 細砂質シルト シルト中にローム小ブロック少
粘性・締まりあり
82 暗褐色土 細砂質シルト シルトブロック中にロームブロックやや多
粘性・締まりあり
83 褐色土 細砂質シルト ローム対応ブロックにシルトブロック少
粘性・締まりあり
84 暗褐色土 細砂質シルト ローム対応ブロック少 粘性・締まりあり
85 暗褐色土 シルト質細砂 ローム粒多 粗砂粒・角安少
粘性あり 締まりあり
86 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロックやや多 シルトブロック多
粘性弱 締まりやや強
87 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック多 シルトブロック主体
粘性あり 締まりやや強
88 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック少 シルトブロック主体
粘性あり 締まりやや強
89 褐色土 シルト質細砂 ロームブロック主体 シルトブロック少
粘性弱 締まりやや強
90 にぶい黄褐色土 シルト質細砂 ロームブロック主体 シルトブロック少
粘性弱 締まりやや強
91 にぶい黄褐色土 シルト質細砂 ロームブロック・シルトブロック多
粘性あり 締まりやや強
92 にぶい黄褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒やや多 シルトブロック主体
粘性弱 締まりあり
93 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒微 シルトブロック主体
粘性・締まりあり
94 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒やや多
シルトブロック主体 粘性・締まりあり
95 褐色土 シルト質細砂 ロームブロック主体 シルト小ブロック少
粘性・締まりあり
96 暗褐色土 細砂質シルト シルトブロック主体 粘性・締まりあり
97 褐色土 シルト質細砂 ロームブロック主体 シルトブロック微
粘性・締まりあり
98 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒少 シルトブロック主体
白色粒 粘性・締まりあり
99 暗褐色土 シルト質細砂 ロームブロックやや多
シルトブロック主体 白色粒 粘性・締まりあり
100 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック微 シルトブロック主体
白色粒 粘性やや強 締まりあり
101 暗褐色土 シルト質細砂 ロームブロックやや多 シルトブロック多
白色粒 粘性弱 締まりあり
102 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒少 シルトブロック主体
白色粒 粘性・締まりあり
103 にぶい黄褐色 細砂質シルト ロームブロックやや多 シルトブロック多
白色粒 粘性・締まりあり
104 褐色土 シルト質細砂 ロームブロック粒・シルトブロック多
白色粒 粘性やや強 締まりあり
105 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒多 シルトブロック主体
白色粒 粘性やや弱 締まりあり
106 褐色土 シルト質細砂 ロームブロック粒主体 シルトブロック多
白色粒 粘性やや弱 締まりあり
107 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック微 シルトブロック主体
白色粒 粘性・締まりあり
108 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック微 シルトブロック主体
白色粒 粘性弱 締まりあり
109 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック微 シルトブロック主体
白色粒 粘性弱 締まりあり
110 暗褐色土 細砂質シルト シルトブロック主体 白色粒
粘性・締まりあり
111 褐色土 細砂質シルト シルトブロック粒主体 シルトブロック小
白色粒 粘性・締まりあり
112 にぶい黄褐色土 シルト質細砂 ロームブロック微 シルトブロック主体
白色粒 粘性弱 締まりあり
113 暗褐色土 シルト質細砂 ロームブロック少 シルトブロック主体
白色粒 粘性・締まりあり
114 にぶい黄褐色 シルト質細砂 ロームブロック粒少 シルトブロック多
白色粒 粘性弱 締まりあり
115 褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒少 シルトブロック主体
白色粒 カーボン少 粘性・締まりあり
116 褐色土 細砂質シルト ロームブロック少 シルトブロック主体
白色粒 カーボン少 粘性・締まりあり
117 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒微 シルトブロック主体
白色粒 カーボン少 粘性やや強 締まりあり
118 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒微 シルトブロック主体
白色粒 カーボン少 粘性やや強 締まりあり
119 暗褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒微 シルトブロック主体
白色粒 カーボン多 粘性やや強 締まりあり
120 褐色土 細砂質シルト ロームブロック粒多 シルトブロック多
粘性やや強 締まりあり



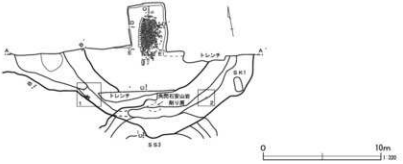
B－B'
1 にぶい黄褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック・シルト小ブロック少
マンガン斑・鉄斑やや多 粘性弱 締まりやや強
2 にぶい黄褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック・シルト小ブロック少
マンガン斑・鉄斑やや多
粘性・締まりやや強
3 暗褐色土 細砂質シルト ローム小ブロックやや多
マンガン斑・鉄斑少 粘性やや強 締まりあり
4 にぶい黄褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック・粘土質シルトブロック少
マンガン斑・鉄斑 粘性やや強 締まりあり
5 暗褐色土 細砂質シルト 粘土質シルトブロック
マンガン斑・鉄斑少 粘性やや強 締まりあり
6 にぶい黄褐色土 シルト質細砂 ローム小ブロック多
マンガン斑・鉄斑少 粘性やや強 締まりあり
7 にぶい黄褐色土 細砂質シルト 粘土質シルトブロック
粘性やや強 締まりあり
8 にぶい黄褐色土 細砂質シルト マンガン斑・鉄斑やや多
粘性やや強 締まりあり
9 にぶい黄褐色土 細砂質シルト シルト主体 マンガン斑・鉄斑やや多
粘性やや強 締まりあり
10 にぶい黄褐色土 粘土質シルト マンガン斑・鉄斑やや多
粘性強 締まり弱
11 暗褐色土 細砂質シルトブロック・マンガン斑・鉄斑少
粘性やや強 締まり弱
12 にぶい黄褐色土 粘土質シルト マンガン斑・鉄斑少 粘性強 締まり弱
13 暗褐色土 細砂質シルト 粘土質シルト・マンガン斑・鉄斑少
粘性やや強 締まりあり
14 暗褐色土 細砂質シルト マンガン斑・鉄斑多 土器片
粘性やや強 締まりあり
15 褐色土 細砂質シルト シルトブロック ロームブロックやや多
マンガン斑・鉄斑多 粘性やや強 締まり弱 周溝崩落土
16 褐色土 シルト質細砂 マンガン斑・鉄斑
粘性やや強 締まりあり
17 褐色土 細砂質シルト マンガン斑・鉄斑やや多
粘性やや強 締まりあり
18 暗褐色土 細砂質シルト 粘性強 締まりあり
19 暗褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック・マンガン斑やや多
鉄斑やや多 粘性やや強 締まりあり 周溝崩落土
20 暗褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック マンガン斑やや多
鉄斑やや多 粘性強 締まりあり
21 褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック・マンガン斑・鉄斑少
粘性やや強 締まりあり
22 にぶい黄褐色土 細砂質シルト ローム小ブロックやや多
マンガン斑・鉄斑少 粘性強 締まりあり 周溝崩落土
23 黒褐色土 細砂質シルト ローム大ブロック（周溝崩落土か）
粘性強 締まりあり
24 褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック 粘性強 締まり弱
周溝崩落土
25 暗褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック 粘性強 締まりあり
周溝崩落土
26 暗褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック少 粘性強 締まりあり
27 暗褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック少 粘性強 締まりあり
28 暗褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック・白色粒・マンガン斑・
鉄斑少 粘性・締まりやや強
29 暗褐色土 細砂質シルト ローム小ブロック・マンガン斑・鉄斑少
粘性・締まりやや強

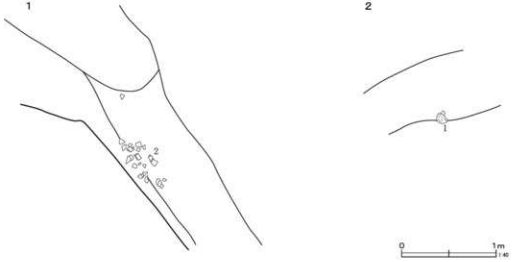
第299図 第4号墳（3）



C'－C

1	にぶい黄褐色土	細砂(流砂)	
2	褐色土	細砂質シルト	鉄斑少　ローム小ブロックやや多
3	灰黄褐色土	細砂質シルト	マンガン斑・鉄斑多　白色粒少
4	灰黄褐色土	細砂質シルト	マンガン斑・鉄斑多　粘性やや強　締まりあり
5	暗褐色土	細砂質シルト	マンガン斑・鉄斑多　粘性やや強　締まり弱
6	暗褐色土	細砂質シルト	マンガン斑・鉄斑少　粘性・締まりやや強
7	暗褐色土	細砂質シルト	マンガン斑・鉄斑多　粘性やや強　締まりあり
8	暗褐色土	細砂質シルト	マンガン斑・鉄斑少　ローム小ブロック シルト小ブロック少　粘性・締まりやや強　墳丘と同じ土　安山岩多量
9	暗褐色土	細砂質シルト	マンガン斑・鉄斑やや多　粘性・締まりやや強
10	褐色土	細砂質シルト	マンガン斑・鉄斑やや多　粘性・締まりやや強
11	にぶい黄褐色土	細砂質シルト 締まりやや強	マンガン斑・鉄斑少　ローム小ブロックやや多粘性・
12	褐色土	細砂質シルト	マンガン斑・鉄斑多　粘性・締まりやや強





第300図　第４号墳遺物出土状況

墳と重複し、第２号墳の西側周溝、第３号墳の北側周溝、第５号墳の北東側周溝、第６号墳の上部を壊しており、いずれの古墳より新しい。

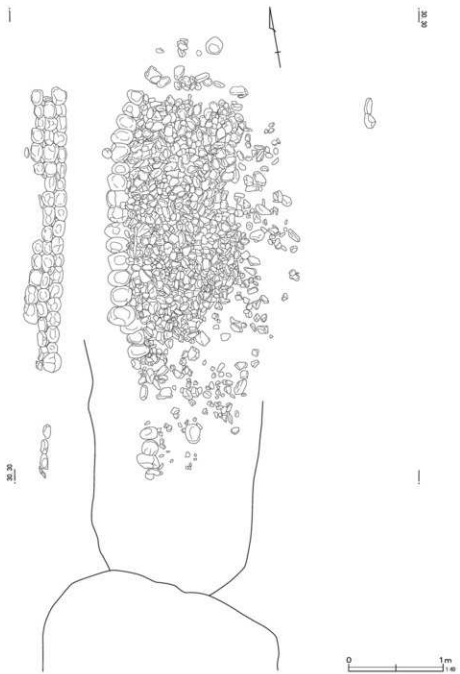
墳丘復元径11.9ｍ、周溝復元径17.4ｍを測る中型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳12基中５番目の大きさである。

墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。墳丘はほとんどが削平されているが、1.0～1.15ｍ程の盛り土が確認され、基底部は主体部とその東側が沈下していた。墳丘裾分には幅0.4～0.5㎝程の

第301図　第４号墳主体部

1 褐色土 細砂質シルト ローム ブロック
粘性やや弱・締まりやや強
2 暗褐色土 火山灰少多 浅間A軽多 小礫少 粘性・締まりあり
3 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 粘性・締まりやや強
4 暗褐色土 細砂質シルト 粘性やや強 締まりあり
5 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック 安山岩片
粘性やや強 締まりやや弱
6 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック主体
粘性やや弱 締まり強
7 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性あり 締まり強
8 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性あり 締まり強
9 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
粘性・締まりあり
10 にぶい黄褐色土 細砂質シルト ローム ブロック・シルトブロックやや多
粘性やや強 締まりあり
11 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
粘性やや弱 締まりあり
12 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
粘性やや弱 締まりあり
13 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性・締まりあり
14 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック少
粘性・締まりやや強
15 にぶい黄褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック・シルトブロックやや多
粘性・締まりやや強
16 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック多 シルトブロック少
粘性あり 締まり強
17 黄褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック少
白色粒 粘性やや弱 締まり強
18 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
白色粒 粘性やや弱 締まり強
19 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック主体
粘性やや弱 締まりあり
20 灰黄褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性やや弱 締まりあり
21 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック・シルトブロック多
粘性やや強 締まりあり
22 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性弱 締まりあり
23 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
粘性・締まりあり
24 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性弱 締まりあり
25 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック多 シルトブロック少
粘性・締まりあり
26 黄褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
白色粒 粘性やや強 締まりあり
27 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性やや強 締まりあり
28 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロックやや多 シルトブロック多
粘性・締まりあり
29 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性弱 締まりあり
30 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック多 シルトブロック少
粘性・締まりあり
31 にぶい黄褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック多 シルトブロック少
粘性やや弱 締まりあり
32 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック主体 シルトブロック少
粘性弱 締まりあり
33 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック少
粘性・締まりあり
34 にぶい黄褐色土 細砂質シルト ローム ブロックやや少 シルトブロック多
粘性やや弱 締まりあり
35 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
粘性やや強 締まりあり
36 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
白色粒 カーボン 粘性・締まりあり
37 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
粘性・締まりあり
38 暗褐色土 シルト質細砂 ローム ブロックやや多 シルトブロック多
白色粒 粘性弱 締まりあり
39 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック主体
白色粒 カーボン 粘性弱 締まりあり
40 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性・締まりあり
41 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性やや強 締まりあり
42 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
粘性弱 締まりあり
43 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
粘性やや弱 締まりあり
44 にぶい黄褐色土 細砂質シルト ローム ブロックやや多 シルトブロック多
白色粒 カーボン 粘性・締まりあり
45 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
白色粒 粘性やや弱 締まりあり
46 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
白色粒 粘性やや弱 締まりあり
47 にぶい黄褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック・シルトブロックやや多
白色粒 粘性・締まりあり
48 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロックやや多 シルトブロック多
白色粒 粘性・締まりあり
49 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロックやや多 シルトブロック少
白色粒 粘性・締まりあり
50 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロックやや多 シルトブロック少
白色粒 粘性・締まりあり
51 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック粒多 シルトブロック多
白色粒 粘性やや強 締まりあり
52 褐色土 細砂質シルト ローム ブロック粒少 シルトブロック主体
白色粒 カーボン 粘性・締まりあり
53 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
白色粒 粘性・締まりあり
54 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック主体
白色粒 カーボン 粘性・締まりあり
55 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロックやや多 シルトブロック多
粘性あり 締まりやや弱
57 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
粘性やや弱 締まり強
58 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック多 シルトブロック少
粘性やや弱 締まり強
59 黄褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック少
粘性やや弱 締まりあり
60 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性・締まりあり
61 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック・シルトブロックやや多
粘性・締まりあり
62 にぶい黄褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
粘性あり 締まりやや強
63 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
粘性あり 締まりやや強
64 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
粘性弱 締まりあり
65 褐色土 細砂質シルト ローム ブロック・シルトブロックやや多
粘性・締まりあり
66 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック・シルトブロックやや多
粘性・締まりあり
67 にぶい黄褐色土 細砂質シルト ローム ブロック多 シルトブロック少
粘性弱 締まりやや強
68 褐色土 細砂質シルト ローム ブロック・シルトブロックやや多
粘性・締まりあり
69 褐色土 細砂質シルト ローム ブロックやや多 シルトブロック多
粘性・締まりあり
70 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロックやや少 シルトブロック主体
粘性やや弱 締まりあり
71 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック主体
粘性やや弱 締まりあり
72 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック多 シルトブロック少
粘性・締まりあり
73 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
粘性・締まりあり
74 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性やや弱 締まりあり
75 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック主体
粘性やや弱 締まりあり
76 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック主体
粘性あり 締まりやや弱
77 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
粘性あり 締まりやや弱
78 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック(大)少 シルトブロック多
粘性・締まりあり
79 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性・締まりあり
80 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性やや強 締まりあり
81 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性・締まりあり
82 褐色土 細砂質シルト ローム ブロックやや多 シルトブロック少
粘性やや強 締まりあり
83 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性・締まりあり
84 黄褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック少
粘性あり 締まりやや強
85 黄褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
粘性・締まりあり
86 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック多 シルトブロックやや多
粘性やや弱 締まりやや強
87 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
粘性あり 締まりやや強
88 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
粘性あり 締まりやや強
89 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロックやや少
粘性あり・締まりやや強
90 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック少 シルトブロック多
粘性やや弱 締まりあり
91 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック多 シルトブロック少
粘性・締まりあり
92 にぶい黄褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック少
粘性やや弱 締まりやや強
93 褐色土 シルト質細砂 ローム ブロック主体 シルトブロック微
粘性あり 締まりやや強
94 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロックやや多 シルトブロック多
粘性・締まりあり
95 暗褐色土 細砂質シルト ローム ブロック微 シルトブロック主体
粘性やや弱 締まりあり

96　暗褐色土　細砂質シルト　ロームブロック少　シルトブロック主体
粘性・締まりあり
97　暗褐色土　細砂質シルト　ロームブロック微　シルトブロック主体
粘性やや強　締まりあり
98　にぶい黄褐色土　細砂質シルト　ロームブロック粒やや多　シルトブロック主体
白色粒　粘性・締まりあり
99　暗褐色土　細砂質シルト　ロームブロック微　シルトブロック主体
白色粒　粘性・締まりあり
100　褐色土　細砂質シルト　ロームブロック粒やや多　シルトブロック主体
粘性やや強　締まりあり
101　褐色土　細砂質シルト　ロームブロックやや多　シルトブロック主体
粘性やや強　締まりあり



第302図　第4号墳石室

テラスが廻っていた。

周溝は幅2.25～3.20ｍで、調査区範囲内では全周している。確認面から周溝の深さは1.4～2.0ｍを測り、全体に深く掘り込まれ逆台形の断面形を呈する。南西部周溝は第６号墳重複関係からか幅広くなっており、深さ1.65ｍを測る。周溝確認面で墳砂が確認できた。

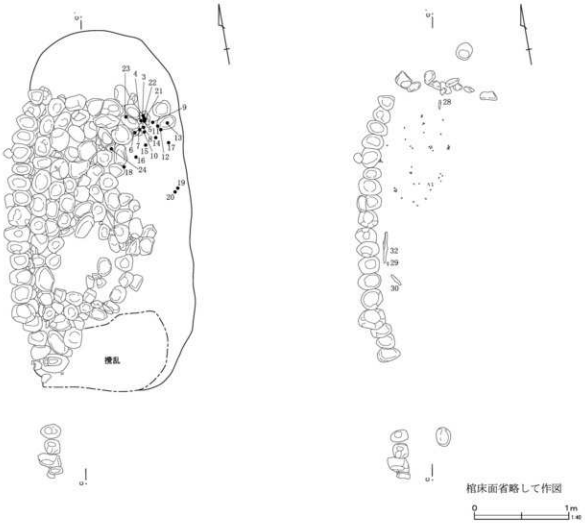
墳丘部は削平されているが、主体部として横穴式石室が検出された。西壁は根石も含めて３段遺存するが、東壁は根石も遺存していない。奥壁・羨道西壁も根石の一部が遺存する程度であった。

石室は、角閃石安山岩の転石で構築された玄室の側壁が膨らみをもつ、胴張型石室である。主軸方位は、N－11°－Eで南方向に開口する。

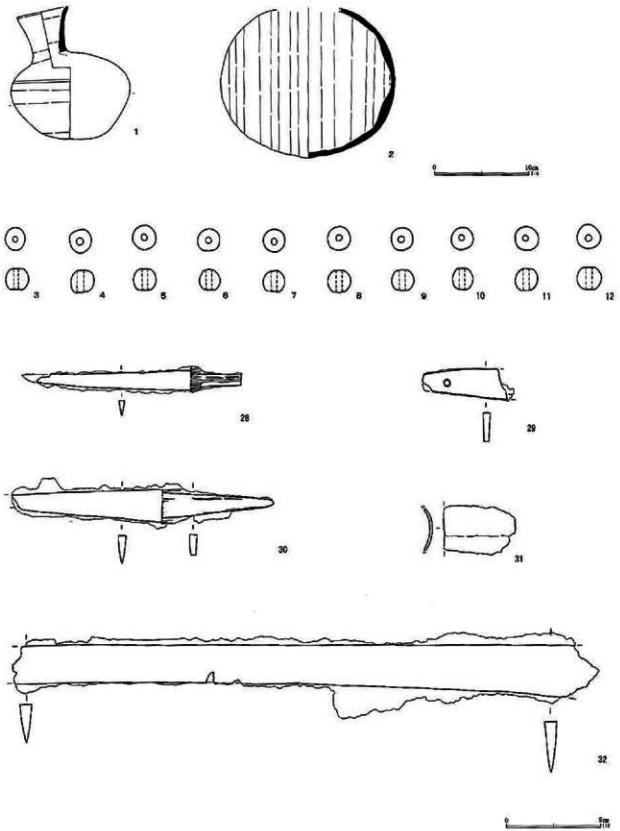
石室は東壁が欠損しているため正確な規模はつかめないが、根石や敷石残存範囲から玄室の長さ2.82ｍ、幅は最大幅が1.2ｍ程、奥壁が1.1ｍ、玄門幅1.1ｍ、羨道部は西壁残存部分の長さで1.15ｍを測る。

石室構造は、根石で平面形を規定し、２段目で玄室内に角閃石安山岩転石を敷き詰め、更にその上に川原石小礫を敷き、棺床面としている。

奥壁は遺存状況が悪く、根石の一部が残存しているのみであった。



第303図　第４号墳玉・鉄器・歯出土状況



第304図　第4号墳出土遺物

第４号墳出土遺物観察表（第304図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵平瓶	5.3	14.0	2.3	ＡＧＪ	良好	灰	100	南東周溝	左半自然釉付着　胴部下半←方向ヘラ削り
2	須恵横瓶				Ｇ	良好	灰白	70	南西周溝	横(18.6)奥行(16.5)　上半部自然釉
28	鉄製刀子	長さ[10.9]cm　刃長[8.1]cm　刃幅1.1cm　背幅0.3cm							石室内	切先欠
29	鉄刀鞘尻	長さ[4.5]cm　幅1.6cm　背幅0.4cm							石室内	
30	鉄製刀子	長さ[13.8]cm　刃長[7.9]cm　刃幅1.7cm　背幅0.4cm							石室内	切先欠
31	刀装具	長さ[3.8]cm　幅[2.5]cm　厚さ0.1cm							石室内	鞘金具
32	鉄刀	長さ[31.0]cm　刃幅2.0～2.8cm　背幅0.6cm							石室内	

第４号墳出土玉計測表（第304図）

番号	径	高さ	孔径	重さ(g)
3	1.19～1.21	1.15	0.25	2.4
4	1.19～1.25	1.14	0.35～0.39	2.7
5	1.28	1.14	0.31	2.67
6	1.22～1.24	1.14	0.33	2.37
7	1.18～1.22	1.10	0.31	2.27
8	1.28～1.31	1.17	0.31	3.0
9	1.25～1.28	1.12	0.35	2.27
10	1.19～1.22	1.11	0.31	2.03
11	1.26～1.28	1.18	0.26～0.27	2.7
12	1.28～1.29	1.15	0.33	2.78
13	1.23～1.25	1.12	0.34	2.52
14	1.19	1.03	0.33	2.12
15	1.23～1.27	1.19	0.34	2.67
16	1.22～1.24	1.11	0.31	2.6
17	1.30	1.16	0.33～0.34	2.87
18	1.25～1.27	1.16	0.33～0.35	2.76
19	1.23～1.25	1.11	0.34～0.35	2.48
20	1.17～1.23	1.09	0.31～0.33	2.57
21	1.21～1.25	1.10	0.33	2.13
22	1.22～1.23	1.11	0.35	2.42
23	1.32～1.36	1.21	0.34	3.23
24	1.26～1.13	0.35	2.68	
25	1.19～1.23	1.17	0.36	2.53
26	1.24～1.26	1.12	0.32～0.34	2.62
27	1.31～1.32	1.19	0.36	3.03

側壁は、西壁側で１段確認された。根石も含み上面を削り、その上に石を積んでいる。

玄門部では、西壁の根石上面が長方形の窪み状に削りこまれ、玄門の施設を設置したと考えられる。

羨道部も遺存状況が悪く、西壁の根石が一部確認できたのみであった。

また、石室前方部の周溝内に、角閃石安山岩の削り屑がまとまって確認された。

遺物は、周溝内から須恵器平瓶・横瓶が出土した。平瓶は南東側周溝の覆土下位、横瓶は南西側周溝の覆土上位から出土した。

石室内の遺物は、刀子・鉄刀・鞘尻・刀装具や滑石製丸玉が副葬され、人骨の歯も確認された。丸玉は、石室東壁側の奥壁寄りで、川原石小礫の棺床面下の角閃石安山岩の敷石上で検出した。

第５号墳（第305・306図）

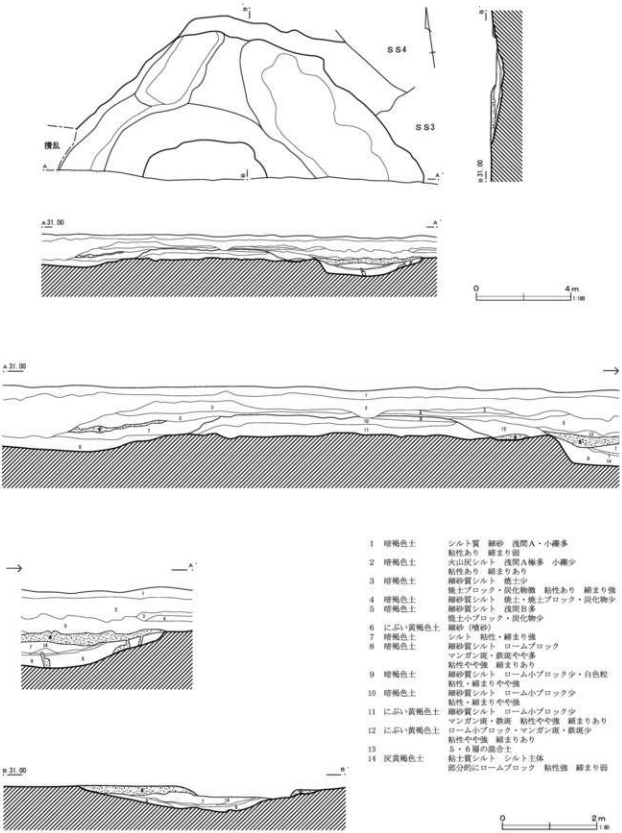
調査区南端で東に延びる調査区の中央のＱ・Ｒ－11・12グリッドに位置する。南側は調査区域外である。第３・６号墳と重複し、第３号墳の西側周溝を壊し、第６号墳の上部を壊しており、第３号古墳より新しい。

墳丘復元径9.0ｍ、周溝復元径15.6ｍを測る中型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳12基中11番目の大きさである。

墳丘及び周溝確認面で墳砂が確認できた。

墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。裾部には幅0.5～1.0ｍのテラスが廻っている。墳丘はほとんどが削平されているが、0.45ｍ程の盛り土が確認され、基底部は主体部とその東側が沈下していた。

周溝は幅1.6～3.6ｍで、調査区範囲内では全周している。確認面から周溝の深さは0.4～0.5ｍを測り、全体に浅く掘り込まれ逆台形の断面形を呈する。



1　暗褐色土　シルト質　細砂　浅間A・小礫多
　　粘性あり　締まり弱
2　暗褐色土　火山灰シルト　浅間A極多　小礫少
　　粘性あり　締まりあり
3　暗褐色土　細砂質シルト　焼土少
　　焼土ブロック・炭化物微　粘性あり　締まり強
4　暗褐色土　細砂質シルト　焼土・焼土ブロック・炭化物少
5　暗褐色土　細砂質シルト　浅間B多
　　焼土小ブロック・炭化物少
6　にぶい黄褐色土　細砂（埋砂）
7　暗褐色土　シルト　粘性・締まり強
8　暗褐色土　細砂質シルト　ロームブロック
　　マンガン斑・鉄斑やや多
　　粘性やや強　締まりあり
9　暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少・白色粒
　　粘性・締まりやや強
10　暗褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少
　　粘性・締まりやや強
11　にぶい黄褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック少
　　マンガン斑・鉄斑　粘性やや強　締まりあり
12　にぶい黄褐色土　ローム小ブロック・マンガン斑・鉄斑少
　　粘性やや強　締まりあり
13　5・6層の混合土
14　灰黄褐色土　粘土質シルト　シルト主体
　　部分的にロームブロック　粘性強　締まり弱

第305図　第5号墳

第306図　第５号墳出土遺物

第５号墳出土埴輪観察表（第306図）

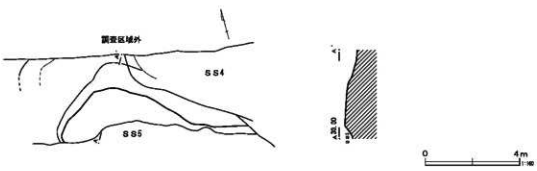
番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
2	円筒	第２突帯～口縁部片	(5.1)	①ＡＧＦ ②橙 ③良好・硬質	M字形	15	外面タテハケ　内面ナナメヨコハケとタテハケを施す	周溝	
3	円筒	破片	(4.8)	①ＡＢＣＦ ②にぶい橙 ③普通・普通		9	外面タテハケ 内面タテハケを施す		

遺物は、弥生土器と円筒埴輪片が出土した。１は弥生の壺形土器の頸部で、ＬＲ縄文地に３条の平行沈線で区画している。２・３は円筒埴輪片である。

第６号墳（第307図）

調査区南端で東に延びる調査区の中央のＱ－11・12グリッドに位置する。北側は調査区域外である。第４・５号墳と重複し、両古墳の下より検出されており、上部が壊されており第４・５号墳が新しい。一部の検出で規模は不明であるが、円墳と推定される。

遺物は図示できるものがなかったが、周溝より７世紀代の土師器坏片が出土した。

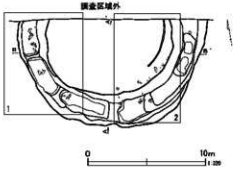


第307図　第６号墳

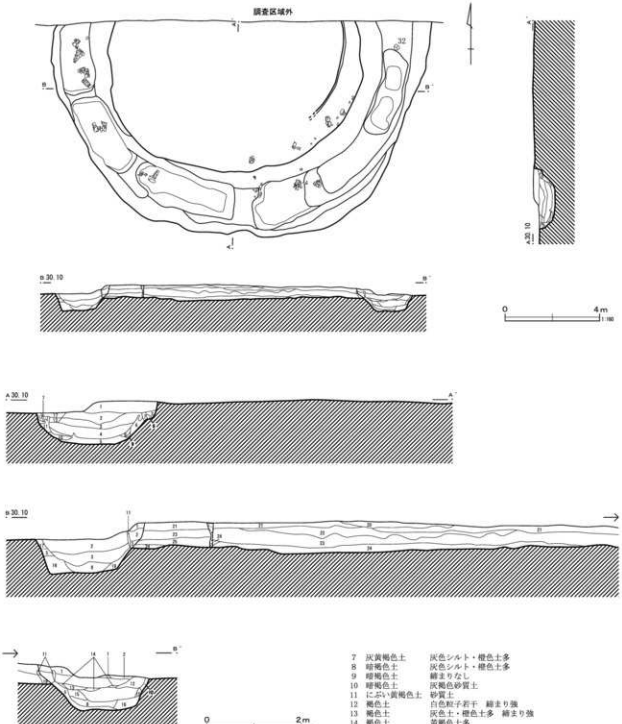
第７号墳（第308～316図）

調査区南端で東に延びる調査区の西側のＱ・Ｒ－11・12グリッドに位置する。北側は調査区域外である。他古墳とは重複していないが、第５号墳と２m、第６号墳と0.5m、第８号墳と２m、西には1.2mで第９号墳が隣接している。

墳丘東西径10.7m、周溝径16mを測る中型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳12基中８

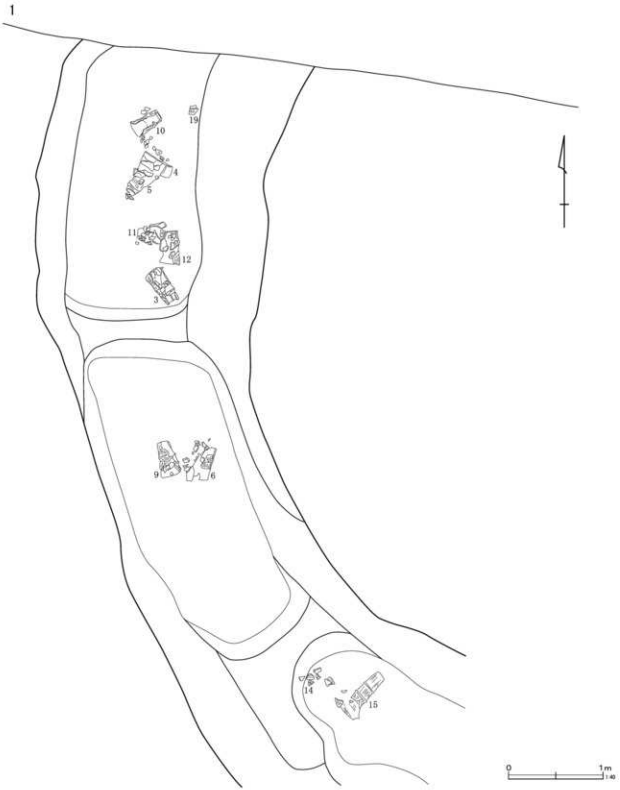


第308図　第７号墳遺物出土状況見取図

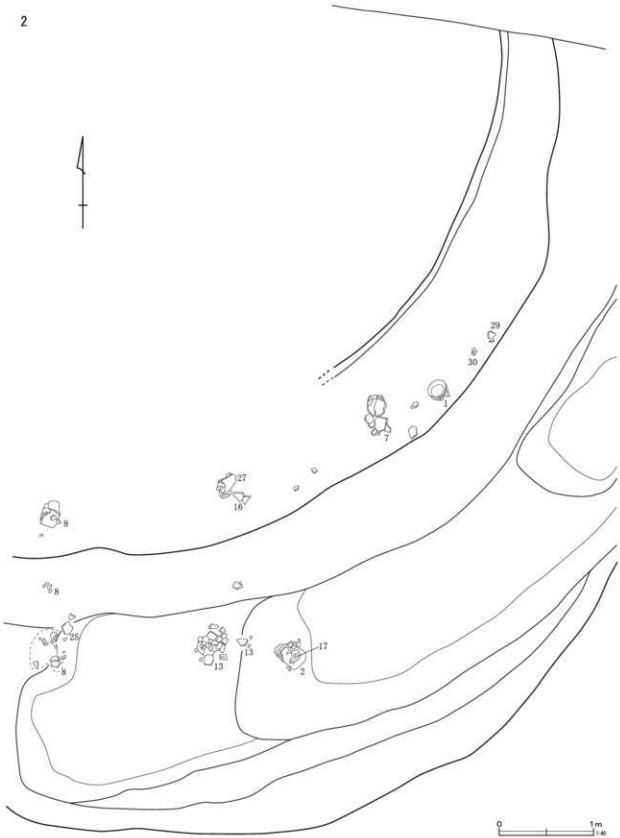


1　にぶい黄褐色土　白色微粒子多　橙色土微　締まり強
2　褐色土　灰色土・橙色土多　白色微粒子若干　締まり強
3　暗褐色土　橙色土・黄褐色土　締まり強
4　暗褐色土　灰色シルト・黄褐色砂質土
5　にぶい黄褐色土　砂質土
6　にぶい黄褐色土　やや砂質土
7　灰黄褐色土　灰色シルト・橙色土多
8　暗褐色土　灰色シルト・橙色土多
9　暗褐色土　締まりなし
10　暗褐色土　灰褐色砂質土
11　にぶい黄褐色土　砂質土
12　褐色土　白色粒子若干　締まり強
13　褐色土　灰色土・橙色土多　締まり強
14　褐色土　黄褐色土多
15　暗褐色土　砂質土・黄褐色砂質土多
16　暗褐色土　黄褐色砂質土極多
17　にぶい黄褐色土　やや硬土りあり
18　にぶい黄褐色土　灰色シルト　締まり強
19　暗褐色土　黄褐色砂質土
20　褐色土　細砂質シルト　ロームブロック　締まり強
21　暗褐色土　細砂質シルト　白色粒・砂粒　締まり強
22　暗褐色土　細砂　締まりやや強
23　暗褐色土　細砂質シルト　締まり強
24　褐色土　細砂質シルト　粘性あり
25　にぶい黄褐色土　細砂質シルト　粘性あり
SK　墳砂

第309図　第7号墳



第310図　第７号墳遺物出土状況（１）



第311図　第7号墳遺物出土状況（2）

番目の大きさである。

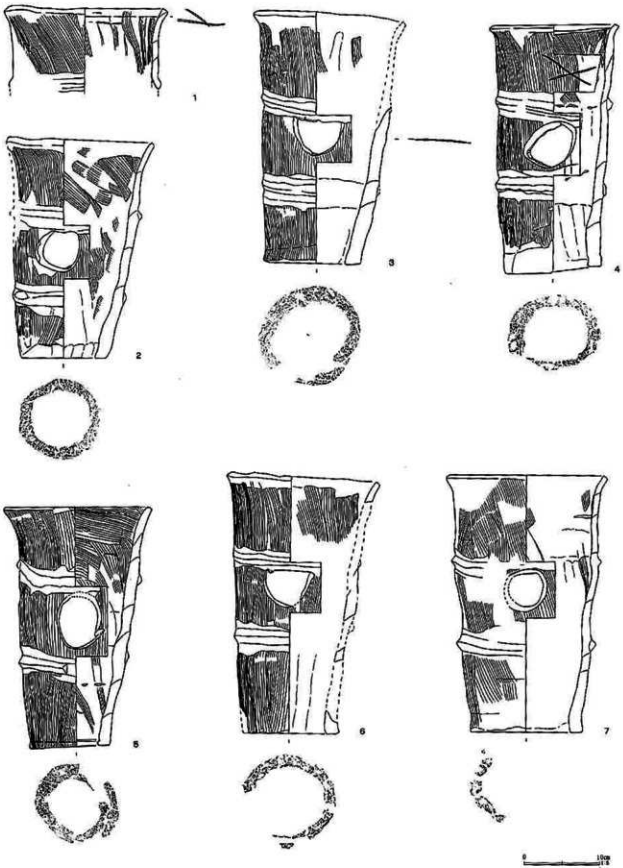
墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。墳丘はほとんどが削平されているが、0.4～0.65 m程の盛り土が確認され、基底部は中央部が沈下していた。墳丘盛り土を平安時代の墳砂の砂脈が切っていた。また、墳丘裾部では東側で、幅0.55～1.10 mのテラスが確認された。

周溝は幅2.2～3.2 mで、調査区範囲内では全周している。確認面から周溝の深さは0.5～0.85 mを測り、逆台形の断面形を呈する。周溝底面は平坦ではなく、深いところと浅いところがある。

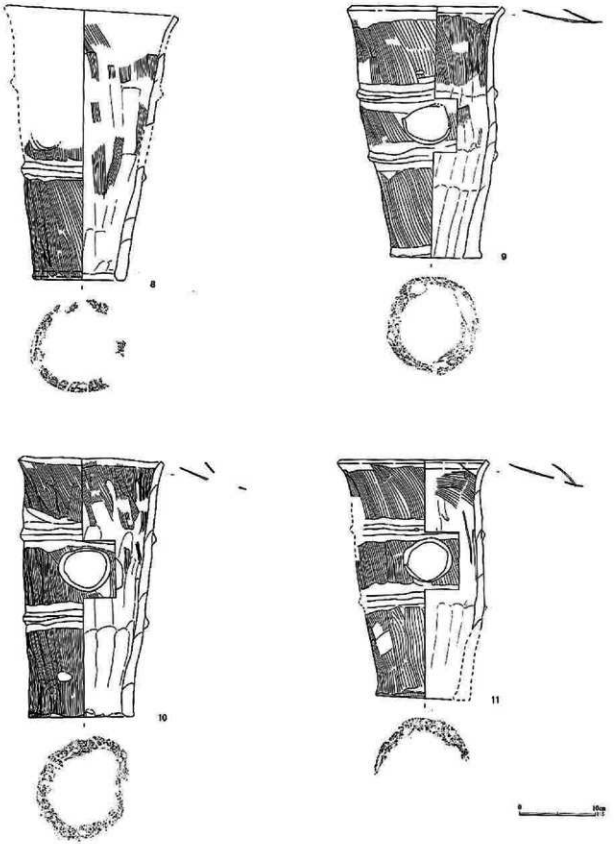
円筒埴輪と朝顔形埴輪が出土し、墳丘東側裾部で確認されたテラス上から南側周溝では、円筒埴輪を樹立した原位置を保ったものも確認された。西側周溝から南側周溝では、墳丘から倒れ落ちた状態で検出された。朝顔形埴輪は、南西側周溝から検出された。周溝内に倒れ落ちたものは、覆土中位より上の層で検出された。甕は東側周溝の覆土上層で検出された。

第７号墳出土埴輪観察表（第312～314図）

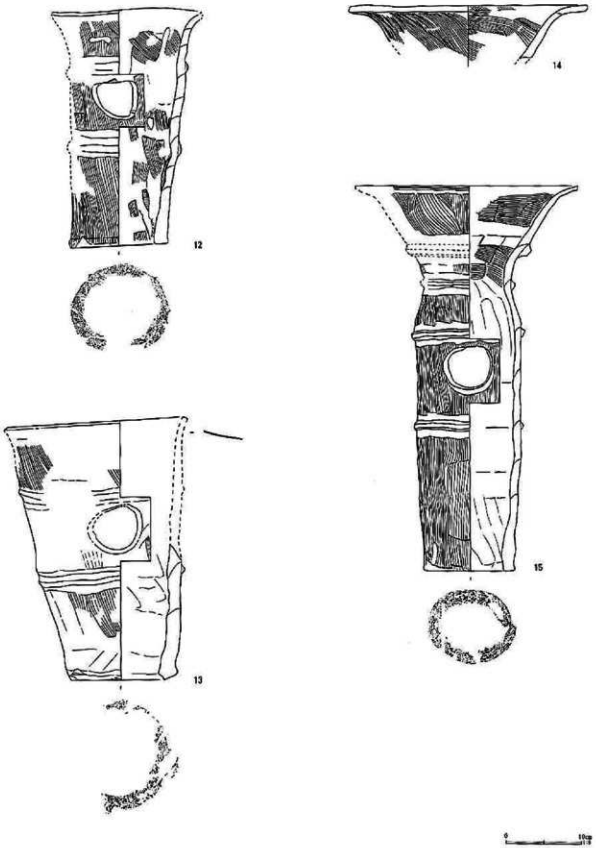
番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
1	円筒	第２突帯～口縁部1/2残	口(22.0) 高（10.6）	①ＡＣＦ ②によい橙 ③普通・普通	低台形	10	外面タテハケ　内面タテハケ及び指タテナデを施す	墳丘南東部裾	口縁部内面に「×」のヘラ描き
2	円筒	第１段　第２段2/3　口縁部1/2残	口(19.6) 高28.8 底10.6～11.2	①ＡＣＦ ②灰白 ③普通・普通	三角形	12	外面タテハケ、下端ヘラナデ　内面ナナメタテハケ及び指タテナデを施す	南側周溝	基部接合不明
3	円筒	第１段一部　口縁部1/4欠	口20.2 高32.7 底13.1～14.0	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ 内面タテハケ・タテ指ナデを施す	西側周溝	外面第２段に「ー」にヘラ描き　基部Ｒ接合
4	円筒	第１段　第２段～口縁部1/2残	口17.2 高33.0 底(10.0)～12.5	①ＡＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	低M字形	10	外面タテハケ下端ヘラナデ　内面ナナメタテハケタテナデを施す	西側周溝	外面第１段1/2器壁剥離 基部接合不明
5	円筒	第２突帯、口縁部一部欠	口19.8～20.5 高31.7 底10.5～11.6	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	6	外面タテハケ　内面ヨコハケ・ナナメタテハケ・タテナデを施す	西側周溝	外面器壁・突帯一部剥離 基部Ｒ接合
6	円筒	第１段～口縁部3/4残	口20.1～21.1 高34.1 底12.0～12.5	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ 内面タテハケ及びタテ指ナデを施す	西側周溝	基部Ｌ接合か 器壁外面1/2剥離著しい
7	円筒	第１段～口縁部1/2残	口(21.2) 高3.4.0 底(14.7)	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	8	外面タテハケ　内面タテハケ及び指タテナデを施す	墳丘南東裾	基部接合不明
8	円筒	第１段　第２段～口縁部1/4残	口(22.9) 高35.7 底12.0～12.7	①ＡＦ ②灰白 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ　内面タテハケと工具ナデ及び指タテナデを施す	墳丘南裾 南側周溝	
9	円筒	口縁一部欠	口20.3～21.0 高33.4 底12.5～13.5	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	低台形 三角形	8	外面タテハケ 内面タテハケ及びタテ指ナデを施す	西側周溝	口縁部内面に「>」のヘラ描き　基部Ｌ接合　外面1/3器壁剥離　基部接合不明
10	円筒	口縁一部欠	口19.5～21.0 高34.3 底12.0～14.0	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形 台形	11	外面タテハケ、内面上位斜めタテハケ　中位以下タテ指ナデを施す	西側周溝	口縁部内面に「×」のヘラ描き　外面1/3器壁剥離 基部Ｒ接合か
11	円筒	第１段1/2 第２段～口縁部4/5残	口19.8～20.5 高31.6 底(12.5)	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ一部ヘラナデ　内面ナナヨコハケ、タテハケ及びタて指ナデ	西側周溝	内面に「×」のヘラ描き 外面器壁1/2剥離 基部接合不明
12	円筒	第１段～口縁部1/4欠　口唇部ほぼ欠	口20.0 高31.7 底12.5～13.0	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ　内面タテハケ　タテ指ナデ　上位ナナメヨコハケを施す	西側周溝	基部Ｌ接合か
13	円筒	第１段2/3 第２段1/2 口縁部1/3残	口(24.1) 高33.5 底14.0	①ＡＣＦＪ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	6	外面タテハケ、一部ナデ 内面ヨコナデを施す	南側周溝	口縁部内面に「ー」のヘラ描き　底面に棒状圧痕 基部接合不明
14	朝顔	朝顔部1/3残	口(31.7) 高（7.8）	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通		10	外面タテハケ 内面ヨコハケを施す	南西側周溝	



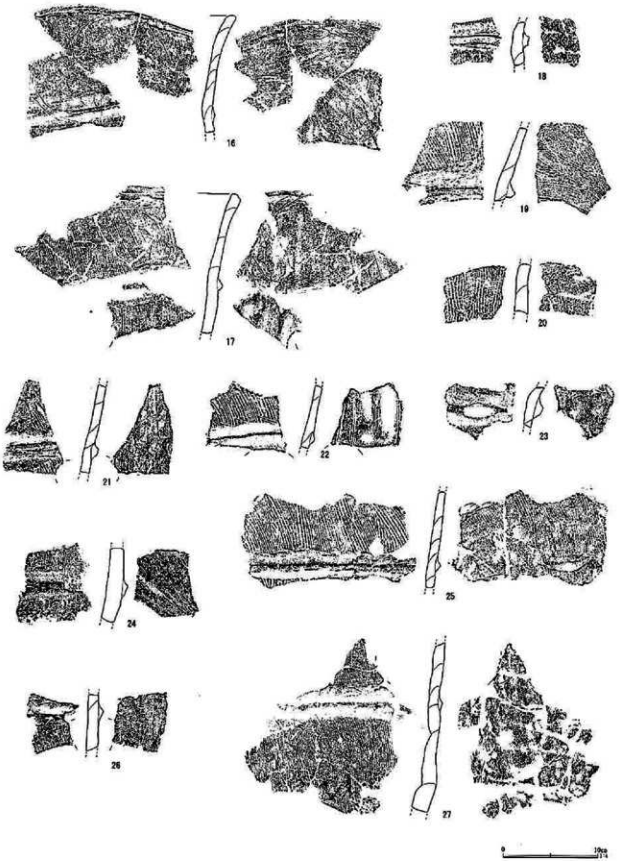
第312図　第7号墳出土円筒埴輪（1）



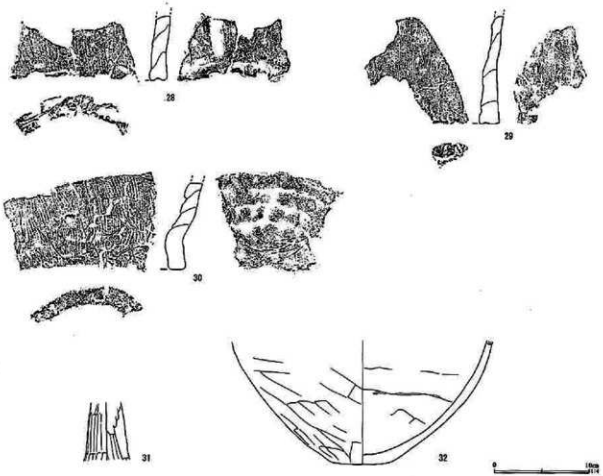
第313図　第7号墳出土円筒埴輪（2）



第314図　第7号墳出土円筒埴輪（3）



第315図　第7号墳出土円筒埴輪（4）



第316図　第７号墳出土円筒埴輪（５）・土器

第７号墳出土埴輪観察表（第314～315図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
15	朝顔	朝顔部のみ 1/2欠	口(29.4) 高51.0 底10.0～11.9	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	台形 M字型	8	外面タテハケ　内面朝顔部ヨコハケ、他鉸方向のナデ	南西側周溝	底面に棒状圧痕 基部接合不明
16	円筒	口縁部片	高（12.2）	①ＡＦ ②にぶい褐 ③普通・普通	三角形	12	外面タテハケ　内面ナナメヨコ　タテハケを施す	南東墳丘裾部	
17	円筒	口縁部片	高（14.7）	①ＡＢＦ ②灰黄褐 ③普通・普通	台形	13	外面タテハケ　内面タテナデ一部ナナメタテハケを施す	南東側周溝	外部口縁部分にヘラ描の一部が残る 透孔あり
18	円筒		高（4.5）	①Ａ②浅黄褐 ③良好・硬質	M字型	10	外面タテハケを施す		
19	円筒		高（7.4）	①ＡＢＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	台形	8	外面タテハケ 内面ナナメハケヨコハケを施す	西側周溝	内面「×」の連続したヘラ描き
20	円筒		高（5.9）	①ＡＧ ②灰黄褐 ③普通・普通		8	外面タテハケ 内面ナナメタテナデを施す		内面輪積み痕顕著
21	円筒	口縁～ 第２段片	高（9.3）	①ＡＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	台形	8	外面タテハケ 内面タテナデ、タテハケを施す		透孔あり

第７号墳出土埴輪観察表（第315・316図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
22	円筒	口縁部～ 第２段片	高（6.6）	①ＡＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	11	外面タテハケ 内面タテハケ後タテナデを施す		外面突帯上にヘラ描き 透孔あり
23	円筒		高（4.3）	①ＡＢＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	台形	9	外面タテハケ 内面ヨコハケとタテナデを施す		
24	円筒			①ＡＢＦＪ②橙③普通普通	低台形		外面タテハケ、ナナメハケ、ナナメナデを施す		
25	円筒		高（10.0）	①ＡＣＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ 内面タテハケを施す	西側周溝	
26	円筒	第１段～ 第２段片	高（5.9）	①ＡＦ ②にぶい橙 ③普通・軟質	三角形	16	外面タテハケ 内面タテハケ後指ナデを施す		透孔あり
27	円筒	第１段～ 第２段片	高（18.0）	①ＡＢＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	低台形	14	外面タテハケ 内面タテハケを施す	南墳丘 裾部	内面輪積み痕顕著 透孔あり
28	円筒	第１段片	高（6.8）	①ＡＦＫ ②にぶい橙 ③普通・普通		11	外面タテハケ 内面板ナデ一部タテハケを施す		
29	円筒	第１段片	高（11.0）	①ＡＦＧ ②にぶい橙 ③普通・普通		12	外面タテハケ 内面タテ指ナデ 下端ヘラナデを施す	東墳丘 裾部	
30	円筒	第１段片	高（10.5）	①ＡＧ②黄灰 ③良好・硬質		7	外面タテハケ、内面一部タテ指ナデを施す	南東側 周溝	内面輪積み痕顕著 歪みあり

第７号墳出土遺物観察表（第316図）

番号	器　種	口　径	器　高	底　径	胎　土	焼成	色　調	残存	出土位置	備　　考
31	高坏				ＦＧＪ	普通	橙	40	墳丘南東裾	脚部外面磨耗タテヘラネデ　内面ヨコヘラナデ
32	土師甕			6.5	ＢＪＫ	普通	淡黄	70	東周溝	体部外面ヘラ削り　内面工具横ナデ

第８号墳（第317図）

調査区南端で東に延びる調査区の西端のＲ－９・10グリッドに位置する南側は調査区域外で周溝一部の検出である。単独墳であるが、第７号墳と２m、第９号墳と2.7mと近接している。第５号土坑・第４号溝と重複し、土坑・溝に周溝外周壁を壊されて

1　暗褐色土　　シルト質　細砂　洗間A・小礫多　粘性あり　締まり弱
2　暗褐色土　　細砂質シルト　焼土・焼土ブロック・炭化物少
3　暗褐色土　　細砂質シルト　浅間B多　焼土小ブロック・炭化物少
4　にぶい黄褐色土　細砂（埋砂）
5　褐色土　　細砂質シルト　鉄斑少　ローム小ブロック多　粘性弱　締まりやや強
6　にぶい黄褐色土　細砂質シルト　ローム小ブロック・マンガン斑多　粘性・締まりあり

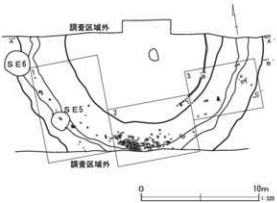
第317図　第８号墳

おり、古墳より新しい。規模は不明であるが円墳と推定される。

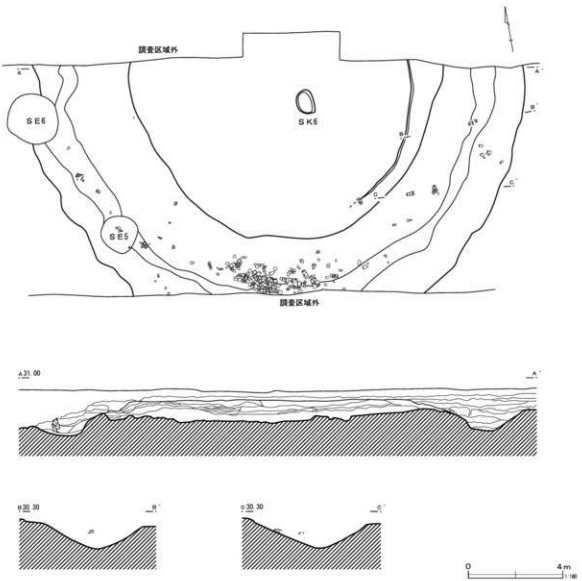
周溝確認面で墳砂が一面に確認できた。

第９号墳（第318～335図）

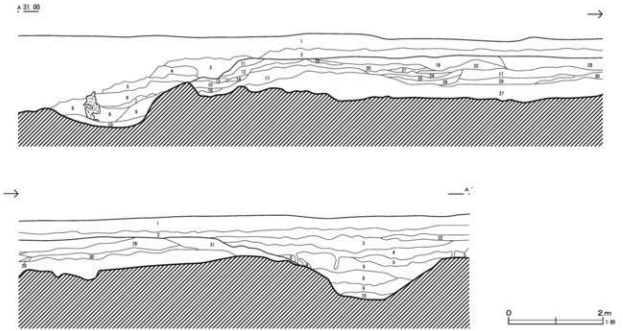
調査区南端で東に延びる調査区西端のＰ－８・９、Ｑ－７・８・９グリッドに位置する。北側及び南側も調査区域外である。単独墳であるが第７号墳と1.2ｍ、第８号墳と2.7ｍ、西方６ｍに第10号墳がある。第５・６号井戸跡と重複し、周溝の一部が壊されていた。



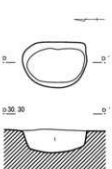
第318図　第９号墳遺物出土状況見取図



第319図　第９号墳（１）

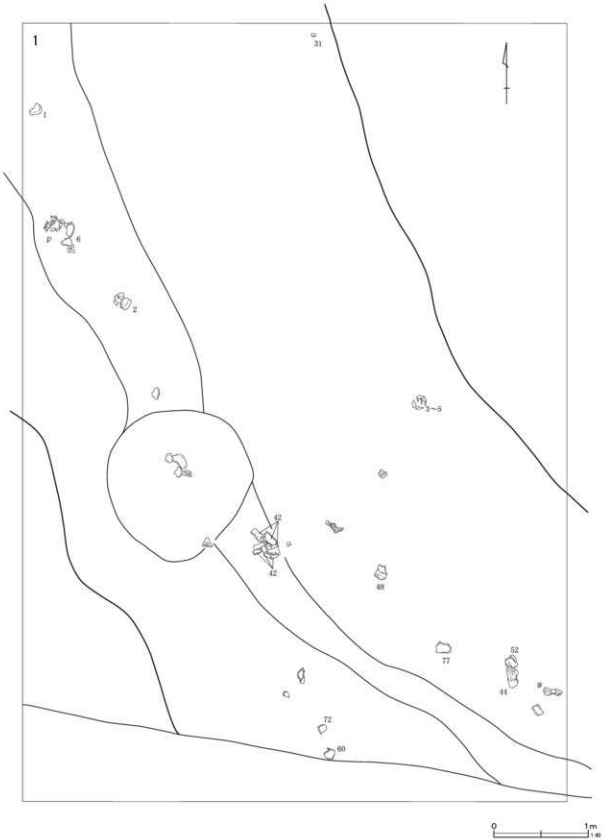


1　暗褐色土　シルト質　細砂　浅間A・小礫多　粘性有り　締まり弱
2　暗褐色土　火山灰シルト　浅間A極多　小礫少　粘性有り　締まりあり
3　暗褐色土　細砂質シルト　浅間B多　焼土小ブロック・炭化物少　粘性有り　締まりやや強
4　にぶい黄褐色土　砂質土
5　褐色土　灰色土・橙色土多　白色微粒子若干含む　締まり強
6　暗褐色土　橙色土・黄褐色土含む　締まり強
7　褐色土　シルト質細砂　ローム対応砂ブロック・シルトブロック多　マンガン斑やや多　粘性弱　締まりあり
8　暗褐色土　灰色シルト・黄褐色土砂質土含む
9　にぶい黄褐色土　砂質土
10　褐色土　細砂　ローム対応砂の崩落層　シルトブロック混入　粘性弱　締まりなし
11　褐色土　シルト質細砂　ローム対応ブロック主体　シルトブロック少　粘性・締まりあり
12　暗褐色土　細砂質シルト　ローム対応ブロック少　シルトブロック主体　粘性あり　締まり強
13　褐色土　細砂質シルト　ローム対応ブロック・シルトブロック多　粘性・締まり強
14　暗褐色土　細砂質シルト　ローム対応ブロック微　シルトブロック主体　粘性・締まりあり
15　褐色土　シルト質細砂　ローム対応ブロック主体　シルトブロックやや多　粘性弱　締まりあり
16　にぶい黄褐色土　細砂質シルト　ローム粒少　シルトブロック主体　粘性・締まりあり
17　暗褐色土　シルト質細砂　ローム対応ブロックやや多　シルトブロック多　粘性あり　締まりやや弱
18　褐色土　シルト質細砂　ロームブロック多　シルトブロック少　粘性弱　締まりあり
19　暗褐色土　シルト質細砂　ロームブロック・シルトブロック少　粘性弱　締まり強
20　褐色土　細砂質シルト　ロームブロック多　シルトブロック少　粘性・締まりあり
21　暗褐色土　細砂質シルト　ロームブロック少　シルトブロック多　粘性・締まりあり
22　褐色土　細砂質シルト　ロームブロック多　シルトブロックやや多　粘性あり　締まりやや弱
23　暗褐色土　細砂質シルト　ロームブロック　シルトブロック主体　粘性あり　締まりやや弱
24　褐色土　シルト質細砂　ロームブロック主体　シルトブロック少　粘性弱　締まりやや弱
25　暗褐色土　細砂質シルト　ロームブロック少　シルトブロック主体　粘性・締まりあり
26　暗褐色土　細砂質シルト　ロームブロック微　シルトブロック主体　粘性やや弱　締まりあり
27　暗褐色土　細砂質シルト　シルトブロック主体　粘性・締まりあり
28　にぶい黄橙色土　シルト質細砂　ロームブロック　粘性あり　締まりややあり
29　暗褐色土　細砂
30　暗褐色土　細砂　黄褐色砂多　締まりややあり
31　褐色土　シルト質　白色微粒子多
32　暗褐色土　細砂質シルト　焼土小ブロック　炭化物微量　粘性有り　締まりやや強　噴砂

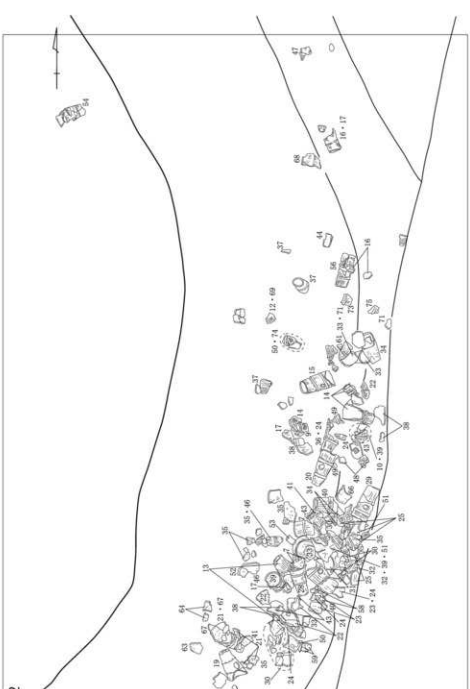


第6号土坑
1　褐色土　褐色シルトブロック・暗灰色シルトブロック少　粘性弱　締まりあり

第320図　第9号墳（2）・第6号土坑



第321図　第９号墳出土遺物状況（１）



第322図　第９号墳出土遺物状況（２）

墳丘東西径13.4ｍ、復元径13.0ｍ、周溝東西径20.8ｍ、復元径20.4ｍを測る大型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳12基中３番目の大きさである。

西側の周溝で平安時代の地震による墳砂の砂脈が確認できた。

墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。墳丘はほとんどが削平されているが、1.0ｍ程の盛り土が確認され、基底部は全体的に沈下していた。また、墳丘裾部の東側で、幅0.6～1.45ｍのテラスが確認できた。

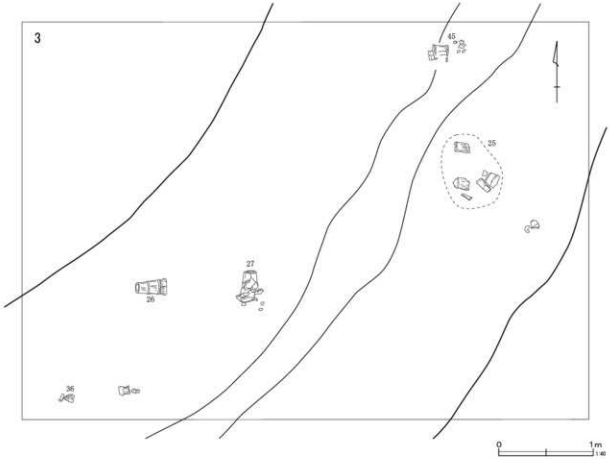
周溝は幅2.4～4.45ｍで、調査区範囲内は全周

している。確認面から周溝の深さは0.7～1.5ｍを測り、南側周溝が他に比べ深く掘り込まれ、逆台形の断面形を呈する。

遺物は、土師器坏・甕と多量の円筒埴輪が出土し、ほとんどが周溝から出土した。土師器は南西側周溝の覆土上層で検出した。円筒埴輪も周溝内からの出土で、多くは南側周溝に集中して覆土上層から出土した。東側周溝と西側周溝出土の埴輪は、墳丘から周溝へ転落したままの状態で出土したと見られる。原位置を保っていたのは、転倒していたが墳丘南東裾部に遺存していた朝顔形埴輪（第331図54）１点のみであった。

第６号土坑（第320・336図）

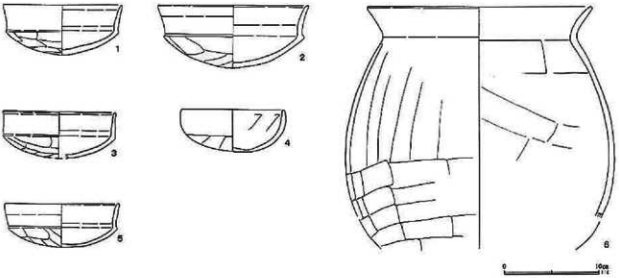
第９号墳の墳丘中央付近に第６号土坑が検出され、主体部であるかは不明である。平面形は、楕円形を呈し、規模は101㎝×72㎝、深さ34㎝を測る。覆土内からは円筒埴輪片が出土した。



第323図　第９号墳出土遺物状況（３）

第９号墳出土遺物観察表（第324図）

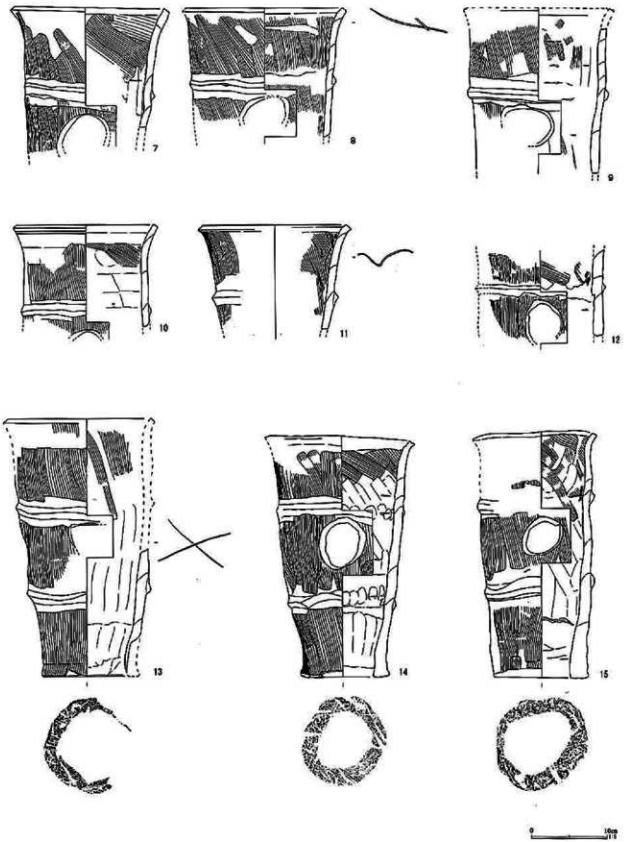
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師坏	12.5	5.3		ＡＦ	普通	にぶい橙	90	西側周溝	口縁部横ナデ
2	土師坏	15.8	6.7		ＡＥ	普通	橙	70	西側周溝	口縁部内外面横ナデ
3	土師坏	11.8	4.9		ＦＧ	普通		50	西側周溝	口縁部内外面横ナデ 上より3･4･5が重なって出土
4	土師坏	10.8	4.5		ＡＦ	普通	橙	98	西側周溝	器壁やや磨耗 口縁部内外面横ナデ 内面工具痕
5	土師坏	12.1	4.6		ＡＦＧ	普通	橙	90	西側周溝	口縁部内外面横ナデ 5の上に4･3が重なって出土
6	土師甕	(23.6)			ＢＦＪ	普通	淡黄	30	西側周溝	外面ヘラ削り　内面ナデ



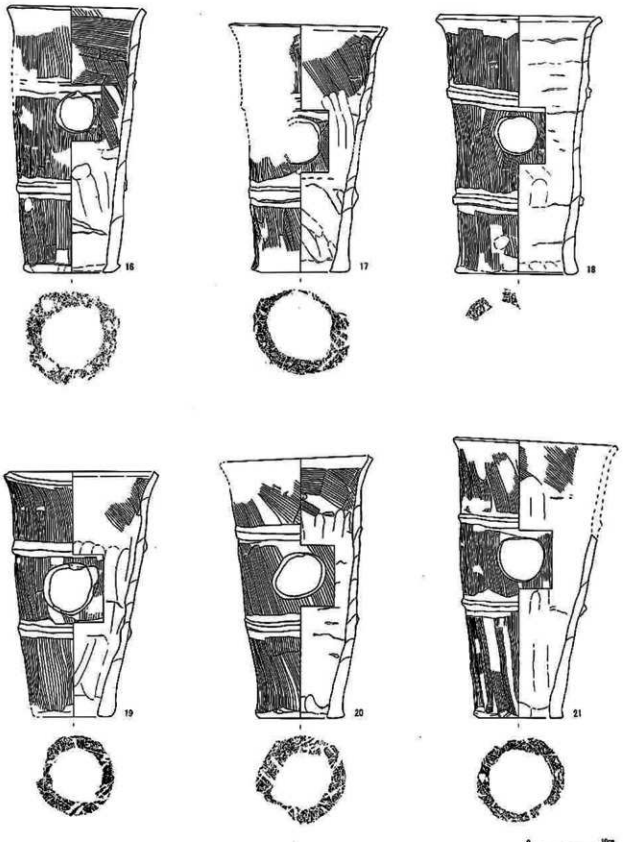
第324図　第９号墳出土遺物

第９号墳出土埴輪観察表（第325・326図）

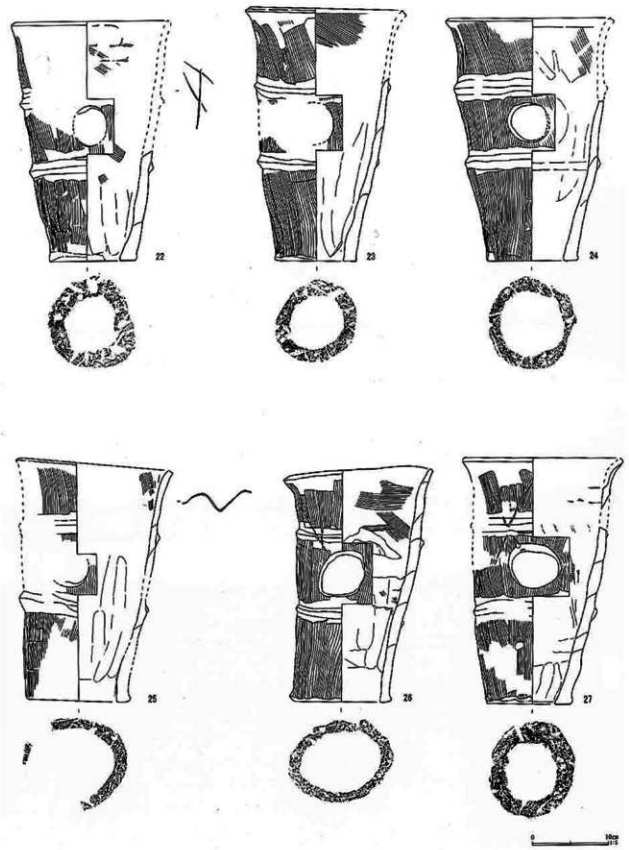
番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
7	円筒	第２段1/2 口縁部3/4残	口20.9 高（19.2）	①ＡＢＣＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形 一部低 台形	7	外面タテハケ、口縁部内外面工具ヨコナデ　内面タテハケ、ナナメハケ、縦方向の指ナデを施す	南側周溝	外面層剥離している。
8	円筒	第２段1/2残 口縁部一部欠	口20.5 高（17.0）	①ＡＣＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	12	外面タテハケ　内面ナナメハケ及びタテハケを施す	東側周溝	口縁部内面「×」のヘラ描き　内面輪積み痕顕著
9	円筒	第２段1/5	高（21.8） 口縁部1/3残	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	低台形	9	外面タテハケ　内面タテハケ及び縦方向の指ナデを施す	南側周溝	内面輪積み痕顕著
10	円筒	第２突帯～口縁部1/3残	口（18.9） 高（14.1）	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	7	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び横ナデを施す	南側周溝	口唇部外面に凹線　内面口縁部横ナデ
11	円筒	第２段～口縁部1/5残	口（20.0） 高（13.8）	①ＣＦＪ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び縦方向のナデを施す	周溝	口縁部内面ヘラ描き　垂孔あり　口唇部内面横ナデ
12	円筒	第２段1/4 口縁部1/6残	高（11.5）	①ＡＣＧ ②褐灰 ③良好・硬質	三角形	9	外面タテハケ　内面ナナメハケ　縦方向のナデを施す	南側周溝	
13	円筒	第１段　第２段1/2　口縁部1/4残	口（19.8） 高34.1 底11.9	①ＡＦＪ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ　口縁部外面工具横ナデ　内面タテハケ及び縦方向指ナデ	南側周溝	外面第２段に「×」のヘラ描き　基部Ｒ接合か
14	円筒	口縁部1/5欠	口19.7 高31.9 底9.2	①ＡＢＦＪ ②にぶい橙 ③良好・普通	三角形	9	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び縦方向のナデを施す	南側周溝	内面ハケメ8本　底面に棒状圧痕　基部Ｒ接合
15	円筒	口縁部1/2欠	高32.5 底11.5～13.0	①ＡＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	第１突帯三角形第２台形	9	外面タテハケ　内面ナナメハケ、斜め方向指ナデ下端工具ナデを施す	南側周溝	基部接合不明　底面に棒状圧痕　第２突帯1/4剥離
16	円筒	第２段～口縁部1/4欠	口18.6～19.0 高35.0 底12.3～12.7	①ＡＪ ②浅黄橙 ③普通・普通	低台形	8	外面タテハケ　内面ヨコハケ、ナナメハケ、縦方向の指ナデを施す	南側周溝	内面ハケメ8本　基部Ｒ接合



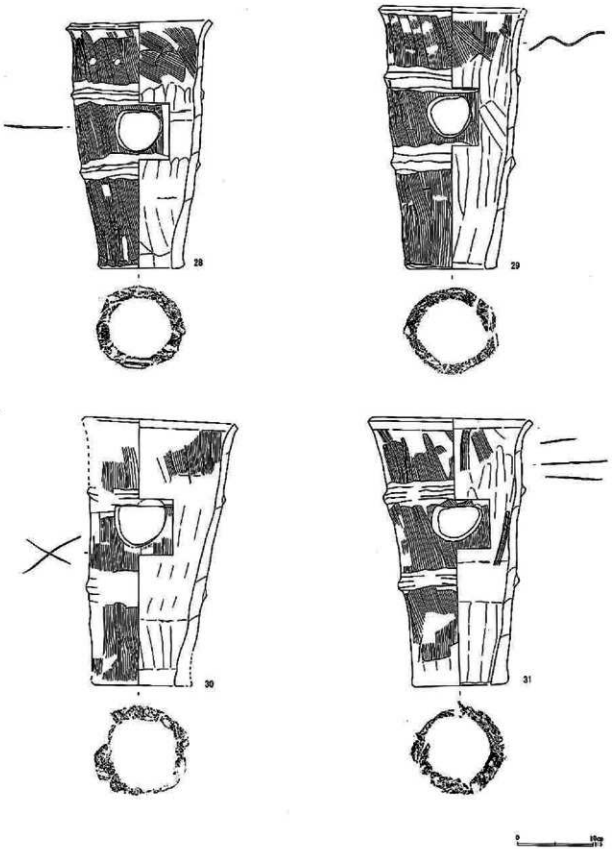
第325図　第9号墳出土円筒埴輪（1）



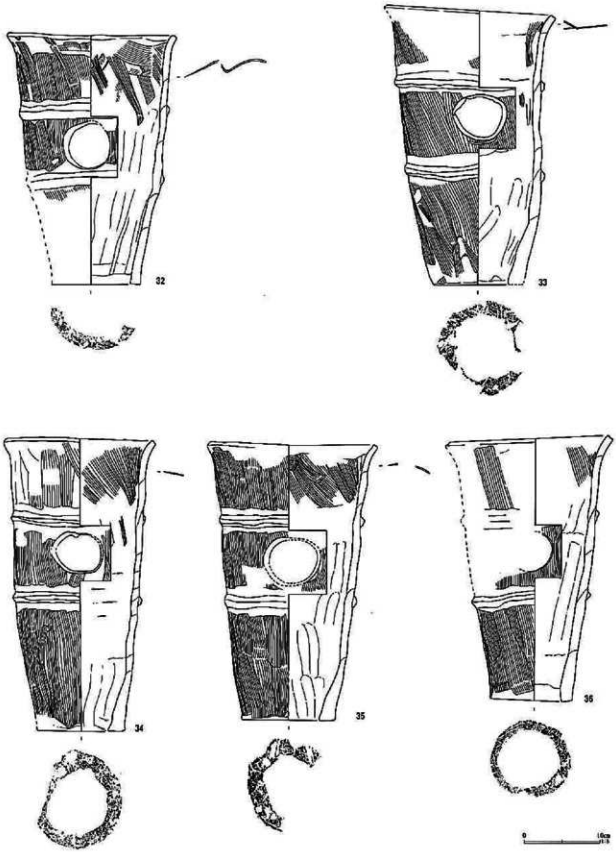
第326図　第9号墳出土円筒埴輪（2）



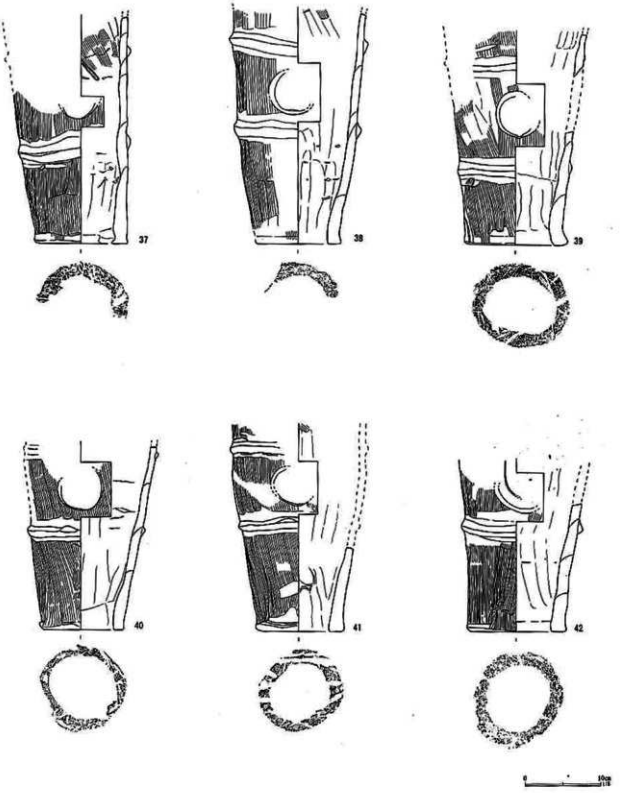
第327図　第9号墳出土円筒埴輪（3）



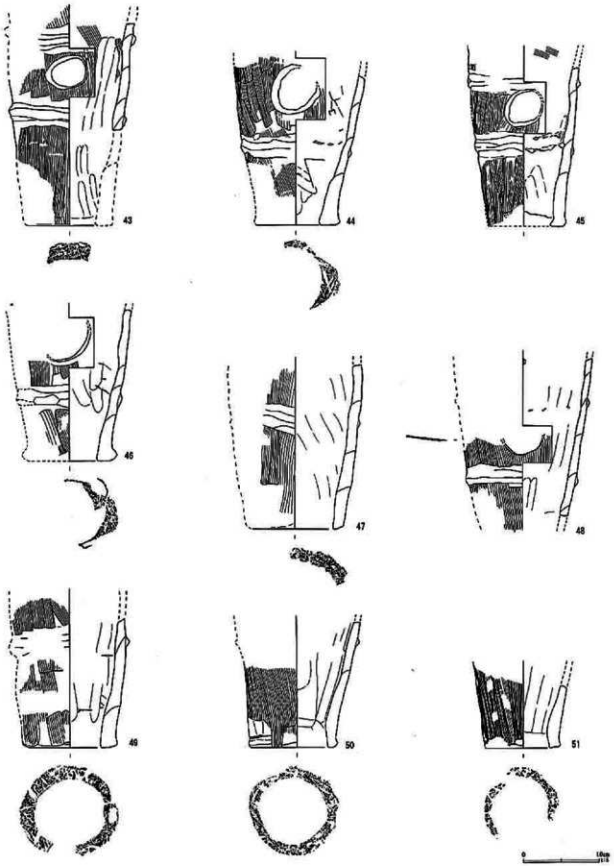
第328図　第9号墳出土円筒埴輪（4）



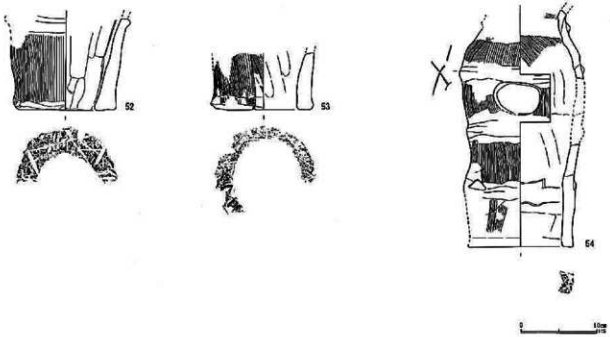
第329図　第9号墳出土円筒埴輪（5）



第330図　第9号墳出土円筒埴輪（6）



第331図　第9号墳出土円筒埴輪（7）



第332図　第９号墳出土円筒埴輪（８）

第９号墳出土埴輪観察表（第326～327図）

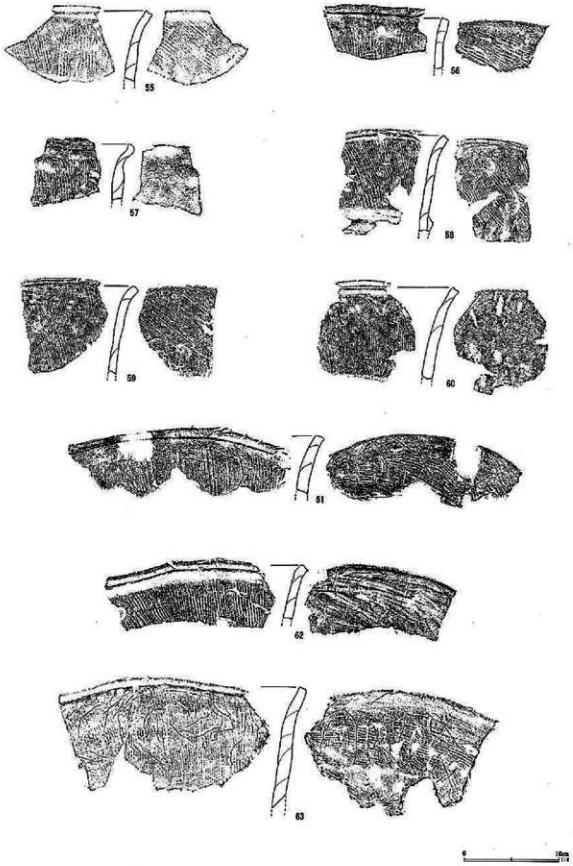
番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備考
17	円筒	第１段一部欠 第２段3/4 口縁部1/2残	⊔(20.8) 高32.8 底12.9	①ＡＣＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形 一部低	7	外面タテハケ　⊔縁部内外面横ナデ　内面口縁部のみヨコハケ、ナナメハケを施し、縦方向のナデを施す	南東側周溝	内面輪積痕顕著 基部Ｒ接合
18	円筒	1/3残	⊓(21.8) 高34.1 底(16.2)	①ＡＧ②橙③良好・硬質	M字型 台形	8	外面タテハケ　内面⊓縁部ヘラナデ、中位斜め方向の工具ナデ　下端ヘラナデ後指押さ	南東側周溝ハ　南側周溝	内面輪積み痕顕著
19	円筒	口縁部のみ 1/3欠	□20.3 高31.3～32.6 底10.5	①ＡＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び縦方向の指ナデ、端部一部ヘラナデ	南側周溝	底面にヘラ痕 基部Ｒ接合
20	円筒	⊓縁部のみ 1/4欠	⊓21.4 高31.8～34.8 底11.3～12.1	①ＡＢＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形 一部低 台形	7	外面タテハケ及びナデ　内面ナナメハケ及び縦方向の指ナデを施す	南側周溝	底面に棒状圧痕 基部Ｒ接合
21	円筒	第１段　第２段2/3　口縁部1/2残	□(21.6) 高37.1 底11.0～11.5	①ＡＦＫ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	12	外面タテハケ　内面ナナメハケ　下半部タテナデ　下端ヘラ削りを施す	南側周溝	基部Ｒ接合
22	円筒	第１段　第２段1/2　口縁部1/4残	⊔(21.0) 高31.7 底11.5～12.5	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び指タテナデを施す	南側周溝	内面に「キ」のヘラ描き 基部Ｒ接合
23	円筒	第１段　第２段1/2　口縁部1/3残	□(20.1) 高34.6 底10.1～11.0	①ＡＧ ②灰白 ③良好・硬質	三角形	11	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び指タテナデを施す	南側周溝	底面に棒状圧痕　基部Ｒ接合
24	円筒	第1段　第２段～⊔縁部1/2残	□(22.0) 高32.2 底11.8～12.5	①ＡＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ　内面ナハケ及び縦方向の指ナデを施す	南側周溝	基部Ｒ接合
25	円筒	第１段　第２段～口縁部1/3残	⊓(20.6) 高30.9～31.8 底12.5～13.7	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び縦方向の指ナデ下端ヘラ削りを施す	南側周溝	⊓縁部内面ヘラ描き　基部接合不明

第９号墳出土埴輪観察表（第 327 ～ 331 図）

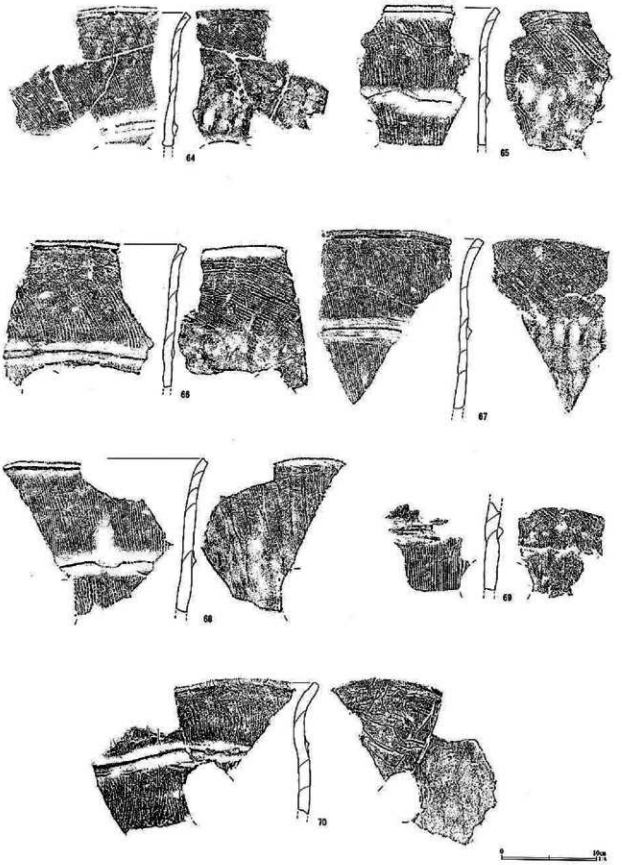
番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
26	円筒	ほぼ完形	口19.7～20.3 高28.9～31.0 底10.5～13.6	①ＡＧ ②灰黄褐 ③良好・硬質	三角形	7	外面タテハケ　内面ヨコハケ、ナナメハケ及び縦方向の指ナデ　端部ヘラ削りを施す	南東側周溝	外面に［×］のヘラ描き　基部Ｒ接合か　内面に他の埴輪基部一部付着
27	円筒	第１段　第２段2/3　口縁部1/2残	高32.8 底11.0～13.0	①ＡＦＪ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	12	外面タテハケ　内面指及び工具縦方向のナデ一部ヨコハケを施す	南東側周溝	外面口縁部～第２段「×」のヘラ描き　底面に棒状圧痕
28	円筒	ほぼ完形	口19.2～23.8 高32.5～33.0 底11.0～11.5	①ＡＪ ②浅黄橙 ③良好・硬質	三角形 一部Ｍ字形	11	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び縦方向の指ナデ、端部ヘラナデ施す	南側周溝	底面に棒状圧痕　基部Ｒ接合 外面に「一」のヘラ描き　口縁部歪み大
29	円筒	ほぼ完形	口20.0 高34.6～34.9 底12.0～12.4	①ＡＣＪ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ　内面ナナメハケ及びタテナデ　端部ヘラ削りを施す	南側周溝	内面ヘラ描き　底面に棒状圧痕　内面ハケメ体本　基部Ｒ接合
30	円筒	第１段、第２段、口縁部一部欠	口20.5 高35.3～35.8 底12.4～13.0	①ＡＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ後ナデ　内面タテハケ後ナデ及び縦方向の指ナデを施す	南側周溝	第２段外面「×」のヘラ描き
31	円筒	口縁部一部欠	口21.1～21.5 高35.3 底12.5	①ＡＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	台形	12	外面タテハケ　内面タテハケ及び縦方向の指ナデを施す	南側周溝	外面横位3本ヘラ描き　基部Ｒ接合
32	円筒	第１段1/2 第２段1/5 口縁部残	口21.8～22.3 高33.0 底(11.6)	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	11	外面タテハケ　内面ヨコ及びタテハケと縦方向指ナデ下端横ナデを施す	南側周溝	口縁部内面ヘラ描き 基部接合不明
33	円筒	第１段～第２段　口縁部1/2残	口(22.5) 高36.3 底12.0～12.5	①ＡＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	低台形	10	外面タテハケ　内面タテハケ及び縦方向の指ナデを施す	南側周溝	内面口縁部ヘラ描き 基部接合不明
34	円筒	第１段　第２段2/3　口縁部1/2残	口(20.0) 高38.5 底12.0～12.5	①ＡＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形 一部低台形	6	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び縦方向の指ナデを施す	南側周溝	口縁部内面にヘラ描き　内面輪積み痕顕著　基部接合不明
35	円筒	第１段　第２段～口縁部1/2残	口(22.3) 高36.5 底12.0	①ＡＦＪ ②浅黄橙 ③普通・普通	低台形 三角形	9	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び縦方向の指ナデを施す	南側周溝	口縁部内面にヘラ描き 基部Ｒ接合
36	円筒	第１段　第２段～口縁部1/3残	高35.4 底10.5～10.8	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	11	外面タテハケ　内面タテハケ及び縦方向の指ナデ　底部寄りヘラ削りを施す	南側周溝	基部Ｌ接合か
37	円筒	第１段2/3 第２段1/2 口縁部1/4残	高(30.0) 底12.0	①ＡＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形 一部低台形	13	外面タテハケ　内面ナナメハケを施す	南側周溝	底面に棒状圧痕　基部Ｒ接合 内面輪積み痕顕著
38	円筒	第１段1/3 第２段1/2　第２突帯1/4残	高(31.6) 底(11.0)	①ＡＦＪ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ第1段外面上半一部横ナデ　内面一部タテハケ縦方向の指ナデ	南側周溝	口縁部ヘラ描き
39	円筒	第１段、第２段2/3　第２突帯1/3残	高(28.6) 底11.0～13.2	①ＡＣＦＪ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	8	外面タテハケ　内面縦方向指ナデを施す	南側周溝	基部Ｒ接合
40	円筒	第１段　第２段1/2残	高(30.2) 底11.1～11.6	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	12	外面タテハケ　内面縦方向指ナデ、低端部横方向へラ削りを施す	南側周溝	基部Ｒ接合　底面に棒状圧痕
41	円筒	第１段ほぼ残 第２段～第２突帯1/4残	高(33.0) 底10.1～11.6	①ＡＣＦＪ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	11	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び縦方向の指ナデを施す	南側周溝	底面に棒状圧痕　基部接合不明
42	円筒	第１段　第２段2/3残	高(23.1) 底11.6～13.0	①ＡＣＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	14	外面タテハケ　内面縦方向の指ナデを施す	南西側周溝	基部接合不明
43	円筒	第１段1/4 第２段～第２突帯1/2残	高(29.3) 底(11.5)	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	Ｍ字型	8	外面タテハケ　内面タテハケ及び縦方向の指ナデを施す	南側周溝	
44	円筒	第１段1/2 第２段2/3残	高(22.4) 底(11.2)	①ＡＣＦ ②にぶい橙 ③良好・普通	三角形	9	外面タテハケ　内面縦方向、斜め方向の指ナデを施す	南側周溝	基部Ｒ接合　突帯直上もしくは直下に横方向のヘラナデを施す

第９号墳出土埴輪観察表（第 331 ～ 334 図）

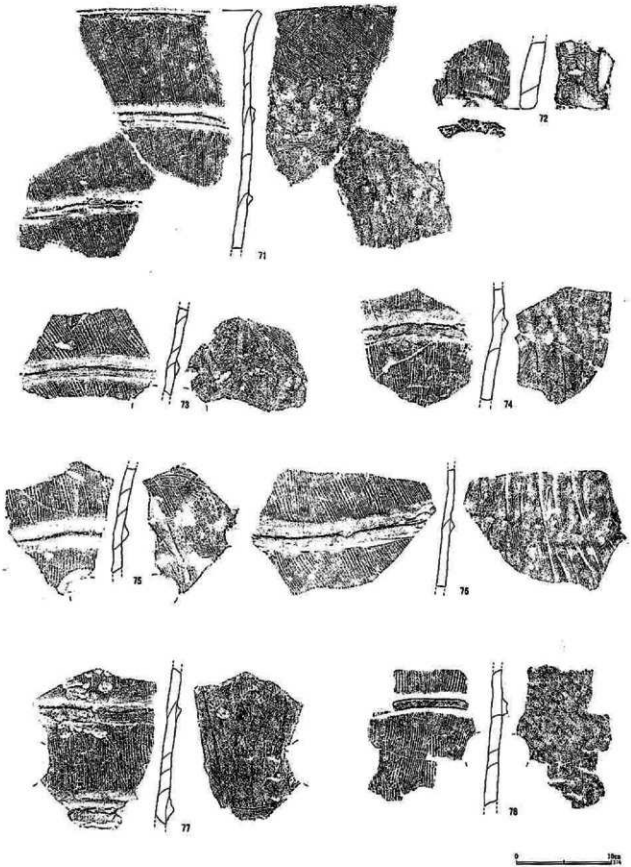
番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
45	円筒	第１段ほぼ残 第２段～第２突帯2/3残	高（24.0） 底(9.0～10.3)	①ＡＦＧ ②にぶい赤褐 ③普通・軟質	三角形一部低台形	10	外面タテハケ　内面タテナデ　口縁部～第２段一部ヨコハケを施す	東側周溝	第１段外面1/4器壁剥離　内面輪積み痕顕著
46	円筒	第１段1/2 第２段1/3残	高（20.0） 底(12.0)	①ＡＢＦ ②にぶい黄橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ　内面縦方向のナデを施す	南側周溝	底面に指頭圧痕　基部Ｒ接合
47	円筒	第１段1/4 第２段1/10残	高（21.8） 底(12.8)	①ＡＧ②灰白 ③良好・硬質	三角形	8	外面タテハケ　内面縦方向の指ナデを施す	南東側周溝	基部Ｒ接合
48	円筒	第１段1/6 第２段1/4 口縁部一部残	高（23.0）	①ＡＢＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	11	外面タテハケ　内面一部ヨコハケ及び縦方向の指ナデを施す	南側・南西側周溝	第２段外面にヘラ描き
49	円筒	第１段2/3 第２段一部残	底12.3～13.0	①ＡＦＪ ②淡黄 ③普通・普通	三角形	7	外面タテハケ　内面縦方向の指ナデ内面下端ヘラ削りを施す	南側周溝	底面に棒状圧痕　基部Ｒ接合
50	円筒	第１段1/8欠 第２段一部残	底10.3～10.7	①ＡＢＦＪ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ　内面縦方向の指ナデ　端部ヘラ削りを施す	南側周溝	基部接合痕不明
51	円筒	第１段1/2残	高（11.5） 底10.0	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通		12	外面タテハケ　内面縦方向のナデ　下端に横方向のヘラ削りを施す	南側周溝	基部Ｒ接合　底面に棒状圧痕
52	円筒	第１段1/2残	高（13.1） 底　13.4	①ＡＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ内面縦方向の指ナデ及び工具ナデ一部タテハケ後ナデを施す	南南西側周溝	底面に棒状圧痕　基部接合不明
53	円筒	第１段2/3残	高（7.5） 底(13.5)	①ＡＦ ②にぶい黄橙 ③普通・普通		8	外面タテハケ　内面タテナデ　下端ヨコナデを施す	南側周溝	基部接合不明
54	朝顔	第1段1/3　第２段～肩部残	高「32.0」 底(13.9)	①ＡＢＦ ②浅黄橙 ③普通・普通	三角形一部低台形	10	外面タテハケ　内面ナナメハケ及び縦方向の指ナデ、端部ヘラ削り施す	墳丘南東裾	外面に「×」のヘラ描き 基部接合不明
55	円筒	口縁部片	高（7.5）	①ＡＢＣＦ ②にぶい橙 ③普通・普通		8	外面タテハケ 内面ナナメハケを施す	周溝	
56	円筒	口縁部片	高（5.2）	①ＡＦＧ ②にぶい橙 ③良好・硬質		9	外面タテハケ 内面ヨコハケを施す	周溝	
57	円筒	口縁部片	高（5.8）	①ＡＢＦ ②にぶい橙 ③普通・普通		12	外面タテハケ 内面縦方向の指ナデを施す	周溝	
58	円筒	第２突帯～口縁部片	高（10.1）	①ＡＢＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ 内面ナナメタテハケを施す	南側周溝	
59	円筒	口縁部片	高（9.3）	①ＡＦＧ ②にぶい橙 ③良好・硬質		12	外面タテハケ 内面ナナメハケ縦方向の指ナデを施す	南側周溝	
60	円筒	口縁部片	高（9.5）	①ＡＢＦＪ ②にぶい黄橙 ③普通・普通		13	外面タテハケ 内面ナナメヨコハケを施す	南南西側周溝	
61	円筒	口縁部片	高（6.1）	①ＧＪ ②にぶい赤褐 ③良好・硬質		8	外面タテハケ 内面ナナメヨコハケを施す	南側周溝	
62	円筒	口縁部片	高（5.6）	①ＡＧ ②にぶい橙 ③良好・硬質		8	外面タテハケ 内面ヘラ横ナデを施す	南側周溝	
63	円筒	口縁部片	高（12.7）	①ＡＣ ②にぶい橙 ③普通・普通		10	外面タテハケ 内面ヨコハケを施す	南側周溝	内面輪積み痕顕著
64	円筒	第２段～口縁部片	高（14.2）	①ＡＦＧ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	12	面タテハケ 内面ナナメハケ縦方向の指ナデを施す	南側周溝	透孔あり



第333図　第9号墳出土円筒埴輪（9）



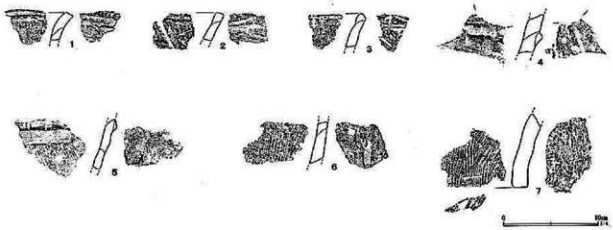
第334図　第9号墳出土円筒埴輪（10）



第335図　第9号墳出土円筒埴輪（11）

第９号墳出土埴輪観察表（第334・335図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備考
65	円筒	第２段～ 口縁部片	高〈14.4〉	①ＡＦ ②橙 ③良好・硬質	三角形	9	外面タテハケ内面ナナメハケ・ヨコハケ縦方向の指ナデを施す	周溝	内面ヘラ描あり 透孔あり
66	円筒	第２段～ 口縁部片	高〈16.1〉	①ＡＢＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ 内面ヨコハケを施す	南側周溝	透孔あり
67	円筒	第２段～ 口縁部片	高〈17.9〉	①ＡＦＣ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	12	外面タテハケ内面ナナメハケ・ヨコハケ縦方向の指ナデを施す	南側周溝	
68	円筒	第２段～ 口縁部片	高〈15.9〉	①ＡＢＣＦＧ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ 内面タテハケ縦方向の指デを施す	南側周溝	透孔あり
69	円筒	第２突帯～ 第２段片	高〈9.3〉	①ＡＧＪＫ ②にぶい褐 ③良好・硬質	三角形	9	外面タテハケ 内面ナナメハケ縦方向の指ナデを施す	周溝	内面輪積み痕顕著 透孔あり
70	円筒	第２段～ 口縁部片	高〈13.8〉	①ＡＧ ②にぶい橙 ③良好・硬質	三角形	8	外面タテハケ 内面ヨコハケ縦方向の指ナデを施す	No.206 周溝	透孔あり
71	円筒	第１段～ 口縁部片	高〈25.1〉	①ＡＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形 一部 M字型	12	外面タテハケ 内面ナナメハケ縦方向の指ナデを施す	南側周溝	内面輪積み痕顕著 透孔２ヶ所あり
72	円筒	第１段片	高〈7.0〉	①ＡＦＪ ②にぶい橙 ③普通・普通		12	外面タテハケ 内面縦方向指ナデ、下端横方向ヘラ削りを施す	南側周溝	
73	円筒	口縁部～ 第２段片	高〈9.0〉	①ＡＣＦ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	9	外面タテハケ 内面ナナメハケ縦方向の指ナデを施す	南側周溝	透孔あり
74	円筒	第２段～ 第１段片	高〈11.6〉	①ＡＦＪ ②にぶい橙 ③普通・普通	三角形	11	外面タテハケ 内面縦方向の指ナデを施す	南側周溝	
75	円筒	口縁部～ 第２段片	高〈12.9〉	①ＡＦ ②にぶい黄橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ 内面ナナメハケを施す	南側周溝	内面輪積み痕顕著 透孔あり
76	円筒		高〈12.8〉	①ＡＣＦＪ ②橙 ③良好・硬質	三角形	10	外面タテハケ 内面タテハケを施す	周溝	
77	円筒	第１突帯～ 口縁部片	高〈16.5〉	①ＡＦ ②にぶい黄橙 ③普通・普通	三角形	8	外面タテハケ 内面タテハケ、縦方向の指ナデを施す	南側周溝	内面輪積み痕残る 透孔あり
78	円筒	第２段～ 第３段片	高〈14.5〉	①ＡＧ ②にぶい橙 ③良好・硬質	M字型	10	外面タテハケ 内面ナナメ・横方向ナデを施	南側周溝	内面輪積み痕顕著 透孔あり



第336図　第6号土坑出土遺物

第6号土坑出土埴輪観察表（第336図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
1	円筒	口縁片	高（2.9）	①ACFJ ②浅黄橙 ③普通・普通		8	外面タテハケ　内面工具ヨコナデを施す	覆土	
2	円筒	口縁片	高（3.0）	①ABF ②浅黄橙 ③普通・普通			内面指工具ヨコナデを施す	覆土	
3	円筒	口縁片	高（3.5）	①AFJ ②浅黄橙 ③普通・普通			内面工具ヨコナデを施す	覆土	
4	円筒	第1突帯破片	高（4.0）	①AF ②橙 ③普通・普通	三角形		外面タテハケ　内面工具タテナデを施す	覆土	透孔有り
5	円筒	破片	高（5.3）	①ABF ②赤橙 ③普通・普通	三角形	10	外面タテハケ　内面タテハケ及びタテナデを施す	覆土	
6	円筒	破片	高（4.5）	①AFG②橙 ③普通・普通		8	外面タテハケ　内面タテナデを施す	覆土	
7	円筒	第1段片	高（7.7）	①AG ②にぶい黄橙 ③普通・普通		9	外面タテハケ　内面タテナデを施す	覆土	

第10号墳（第337～343図）

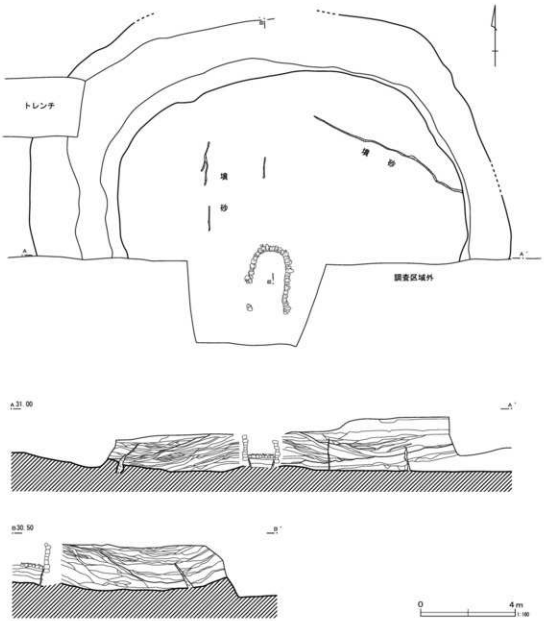
調査区南端の西寄りのP・Q－5～7グリッドに位置する。南側は調査区域外であるが、主体部が検出できた。単独墳で、東方6mに第9号墳、西方14mに第11号墳、北方11mに第14号墳が位置する。第6号溝と重複し、北側は一部不明である。

墳丘東西径14.7m、周溝東西径20.4mを測る大型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳12基中2番目の大きさである。

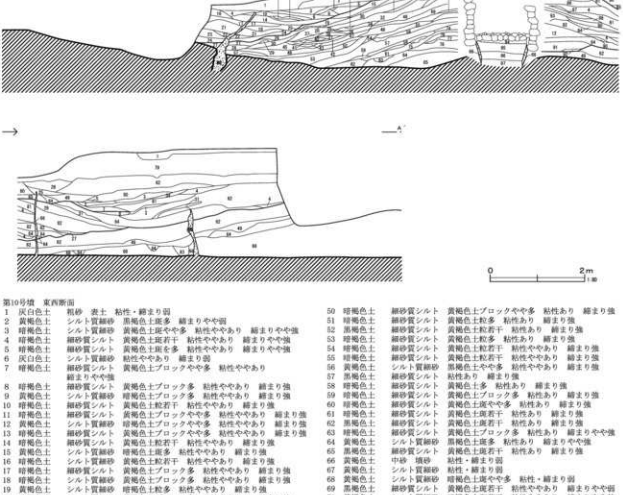
墳丘盛り土内で地震による墳砂の砂脈が確認できた。

墳丘部の平面形は、やや歪んだ円形を呈する。墳丘は上部が削平されているが、0.7～0.8m程の盛り土が確認された。基底部は全体的に沈下し、主体部が最も深く沈下していた。

周溝は明確なものは確認できなかった。周溝外周



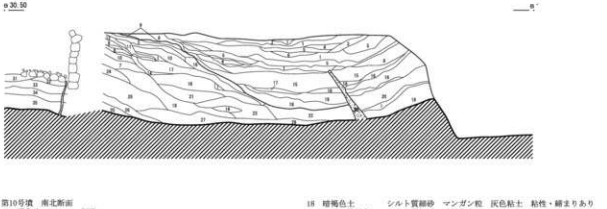
第337図　第10号墳（1）



第10号墳　東西断面

1　灰白色土　粘砂　表土　粘性・締まり弱
2　黄褐色土　シルト質細砂　黒褐色土斑多　締まりやや弱
3　暗褐色土　シルト質細砂　黄褐色土斑やや多　粘性ややあり　締まりやや強
4　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑若干　粘性ややあり　締まりやや強
5　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑多多　粘性ややあり　締まりやや強
6　灰白色土　シルト質細砂　粘性ややあり　締まり弱
7　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土ブロックやや多　粘性ややあり　締まりやや強
8　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土ブロック多　粘性ややあり　締まり強
9　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土ブロック多　粘性ややあり　締まり強
10　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒若干　粘性ややあり　締まり強
11　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土ブロックやや多　粘性ややあり　締まり強
12　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土ブロックやや多　粘性ややあり　締まり強
13　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土ブロックやや多　粘性ややあり　締まり強
14　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒若干　粘性ややあり　締まり強
15　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土斑多　粘性ややあり　締まり強
16　暗褐色土　シルト質細砂　黄褐色土粒若干　粘性ややあり　締まり強
17　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土ブロック多　粘性ややあり　締まり強
18　暗褐色土　シルト質細砂　黄褐色土ブロック多　粘性ややあり　締まり強
19　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土粒多　粘性ややあり　締まり強
20　暗褐色土　シルト質細砂　黄褐色土ブロック多　粘性ややあり　締まり強
21　暗褐色土　シルト質細砂　黄褐色土ブロック多　粘性ややあり　締まり強
22　暗褐色土　シルト質細砂　黄褐色土粒若干　粘性ややあり　締まり強
23　暗褐色土　シルト質細砂　黄褐色土粒やや多　粘性ややあり　締まり強
24　黒褐色土　細砂質シルト　灰色土　黄褐色土多　粘性あり　締まり強
25　黒褐色土　細砂質シルト　灰色土　砂分若干　粘性あり　締まり強
26　黒褐色土　細砂質シルト　灰色土　黄色土若干　粘性あり　締まり強
27　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑・灰色土・砂分やや多
28　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑多　粘性あり　締まり強
29　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐若干　粘性ややあり　締まり強
30　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑多　粘性ややあり　締まり強
31　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑やや多　粘性ややあり　締まり強
32　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐若干　粘性ややあり　締まり強
33　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑多　粘性ややあり　締まり強
34　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑やや多　粘性ややあり　締まり強
35　黄褐色土　細砂質シルト　暗褐色土斑若干　粘性ややあり　締まり強
36　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒多　粘性ややあり　締まり強
37　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒若干　粘性ややあり　締まり強
38　黄褐色土　シルト質細砂　黄褐色土粒やや多　粘性ややあり　締まり強
39　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒多　粘性ややあり　締まり強
40　黄褐色土　シルト質細砂　黒褐色土粒多　粘性ややあり　締まり強
41　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒やや多　粘性ややあり　締まり強
42　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土ブロック多　粘性ややあり　締まり強
43　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土粒やや多　粘性ややあり　締まり強
43　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土粒やや多　粘性ややあり　締まり強
44　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒若干　粘性あり　締まり強
45　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒多　粘性あり　締まり強
46　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒若干　粘性ややあり　締まり強
47　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒やや多　粘性ややあり　締まり強
48　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土多　粘性ややあり　締まり強
49　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土ブロック若干　粘性あり　締まり強
50　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土ブロックやや多　粘性あり　締まり強
51　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒多　粘性あり　締まり強
52　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒若干　粘性あり　締まり強
53　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒多　粘性あり　締まり強
54　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒若干　粘性ややあり　締まり強
55　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土粒やや多　粘性ややあり　締まり強
56　黄褐色土　シルト質細砂　黒褐色土やや多　粘性ややあり　締まり強
57　黒褐色土　細砂質シルト　粘性あり　締まり強
58　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土多　粘性あり　締まり強
59　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土ブロック多　粘性あり　締まり強
60　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑やや多　粘性あり　締まり強
61　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑若干　粘性あり　締まり強
62　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑若干　粘性あり　締まり強
63　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土ブロック多　粘性あり　締まりやや強
64　黄褐色土　シルト質細砂　黒褐色土斑多　粘性あり　締まりやや強
65　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑若干　粘性あり　締まり強
66　黄褐色土　中砂　焼砂　粘性・締まり弱
67　黄褐色土　シルト質細砂　粘性・締まり弱
68　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土斑やや多　粘性・締まり弱
69　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑若干　粘性ややあり　締まりやや弱
70　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土斑若干　粘性ややあり　締まりやや強
71　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑若干　粘性ややあり　締まりやや強
72　暗褐色土　細砂質シルト　粘性ややあり　締まり強
73　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土斑若干　粘性ややあり　締まりやや強
74　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土斑やや多　粘性ややあり　締まりやや強
75　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑若干　粘性あり　締まり強
76　黄褐色土　シルト質細砂　黒褐色土斑若干　粘性ややあり　締まりやや強
77　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑若干　粘性あり　締まり強
78　黄褐色土　シルト質細砂　黒褐色土斑若干　粘性ややあり　締まりやや強
79　灰白色土　粘砂　火山灰（浅間A）多　粘性・締まり弱
80　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑多　角安礫片若干　粘性あり　締まりやや強
81　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑・角安礫片若干　粘性あり　締まりやや強
82　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑多　粘性あり　締まりやや強
83　黄褐色土　細砂　黒褐色土ブロック多　粘性あり　締まり弱
84　黄褐色土　細砂　黒褐色土ブロックやや多　粘性あり　締まり弱
85　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑多　粘性・締まり弱
86　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑やや多　粘性・締まり弱
87　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土斑やや多　粘性・締まり弱
88　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土若干　粘性・締まりややあり
89　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土やや多　粘性ややあり　締まり弱
90　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土若干　粘性・締まりあり
91　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土若干　粘性・締まりあり
92　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土やや多　粘性・締まりあり
93　黄褐色土　シルト質細砂　暗褐色土若干　粘性あり　締まり弱
94　黒褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑若干　粘性・締まり強
95　暗褐色土　細砂質シルト　黄褐色土斑若干　粘性・締まり強
96　黒褐色土　細砂質シルト　粘性有り　締まり強
97　黒褐色土　シルト　粘性有り　締まり強

第338図　第10号墳（2）



第10号墳　南北断面

1	褐色土	細砂	
2	暗褐色土	シルト質細砂	粘性・締まり強
3	にぶい黄褐色土	シルト質細砂	黄褐色土ブロック　白色粒子微　締まり強
4	褐色土	細砂質シルト	白色微粒子
5	褐色土	細砂質シルト	白色微粒子　ロームブロック　締まり強
6	褐色土	細砂質シルト	
7	暗褐色土	シルト質細砂	粘性・締まりあり
8	褐色土	細砂質シルト	締まりなし
9	にぶい黄褐色土	細砂質シルト	
10	暗褐色土	シルト質細砂	ロームブロック極多　締まり強
11	暗褐色土	シルト質細砂	ロームブロック若干
12	褐色土	シルト質細砂	締まり強い
13	褐色土	細砂質シルト	ロームブロック　締まりなし
14	暗褐色土	シルト質細砂	暗褐色土多　粘性・締まりあり
15	にぶい黄褐色土	細砂	
16	黒褐色土	シルト質細砂	褐色細砂ブロック　粘性・締まりあり
17	褐色土	シルト質細砂	黒褐色土　褐色土　締まりあり
18	暗褐色土	シルト質細砂	マンガン粒　灰色粘土　粘性・締まりあり
19	にぶい黄褐色	シルト質細砂	暗褐色土
20	褐色土	細砂質シルト	灰色シルト　粘性・締まり強
21	にぶい黄褐色土	黒褐色土	灰色シルト　粘性・締まり強
22	灰黄褐色土	シルト質細砂	マンガン斑多　粘性強
23	褐色土	シルト質細砂	マンガン斑　暗褐色土
24	褐色土	シルト質細砂	角閃石安山岩若干　締まり強
25	暗褐色土	マンガン斑多	粘性・締まり強
26	褐色土	細砂質シルト	
27	暗褐色土	細砂質シルト	粘性・締まり有りあり
28	黒褐色土	シルト　粘性強	
29	暗褐色土	シルト　粘性強	
30	黄褐色	細砂（褐砂）	
31	黒褐色土	細砂質シルト	黄褐色土斑やや多　粘性・締まり強
32	黒褐色土	細砂質シルト	黄褐色土斑若干　粘性・締まり強
33	暗褐色土	細砂質シルト	黄褐色土斑若干　粘性・締まり強
34	黒褐色土	細砂質シルト	粘性あり　締まり強
35	黒褐色土	シルト　粘性あり	締まり強

第339図　第10号墳（3）

は緩やかな傾斜で1.8～3.8mで、調査区範囲内は全周している。確認面から周溝の深さは0.6～1.15mを測り、全体に浅く掘り込まれていた。

墳丘部上部は削平されているが、主体部が検出された。石室は、角閃石安山岩の転石で構築された横穴式石室である。主軸方位は、N－12°－Eで南方向に開口する。

石室は西壁が一部欠損し、玄室前部より前は近世の備前渠開削により壊されている。玄室の長さは正確な規模はつかめないが、根石や敷石残存範囲から確認できた玄室の遺存長2.54m、幅は最大幅が1.47m、奥壁が1.24m、玄門寄り幅1.46mを測る。

石室構造は、第4号墳と同じ構築法で、根石で平面形を規定し、2段目で玄室内に角閃石安山岩転石を敷き詰め、更にその上に川原石小礫を敷き、棺床面としている。

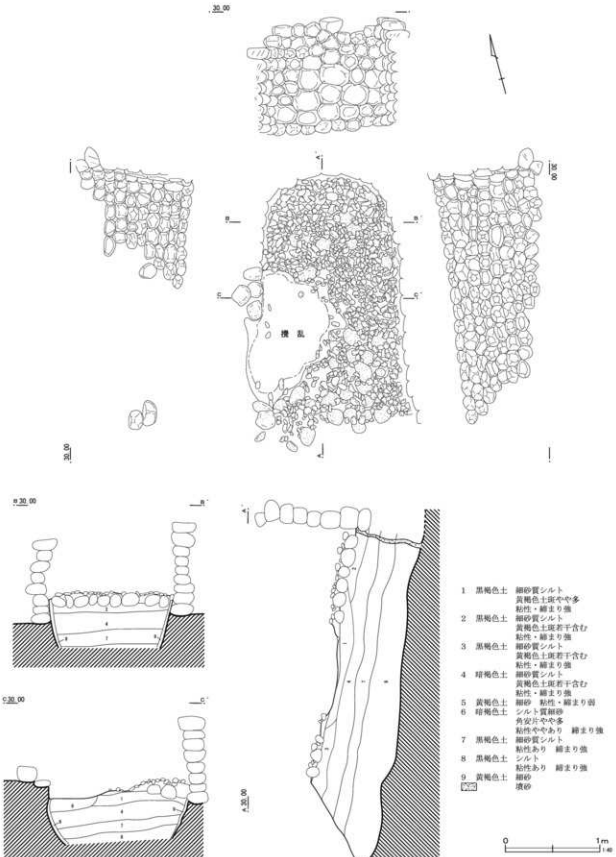
奥壁は直線的でなく湾曲している。奥壁は棺床面から壁高90cm程が遺存していた。奥壁は中央部に大きめの石を用い、他は側壁と同じ程度の石を使用している。中央部は5段積みで、他は7段積みとなっている。また、中央部に限っては、根石上の棺床面下の石も大型の石を使用している。

側壁の西壁側は攪乱を受けており、長さ100cm程が確認できたのみで、東壁は2.40m程が確認できた。側壁は奥壁寄りで棺床面から壁高85cm程が遺存していた。同程度の大きさの石で6～8段積みである。

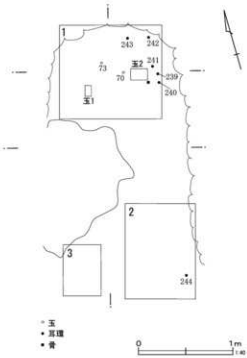
玄室内の棺床面は平坦ではなく、奥壁から玄室前方へと上がっており、前方が30cm程高くなっている。

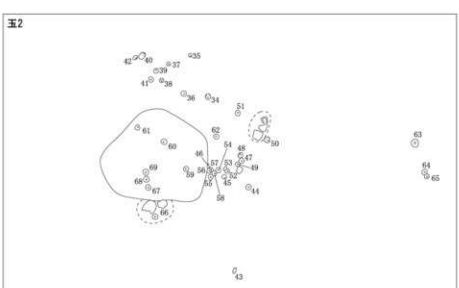
奥壁・側壁ともに積み石は上面を削り積み上げており、玄室内の奥壁・側壁内面とも一部の石は削りが施されていた。

遺物は、円筒埴輪片1点の他は石室内の副葬品で、ガラス小玉236個・耳環6点、鉄鏃4点・鉄刀片1点・鉄製延板状品1点が副葬され、人骨片・歯等も出土した。

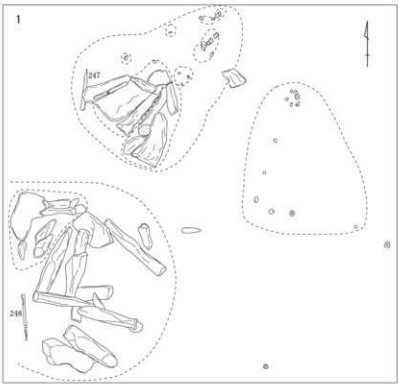


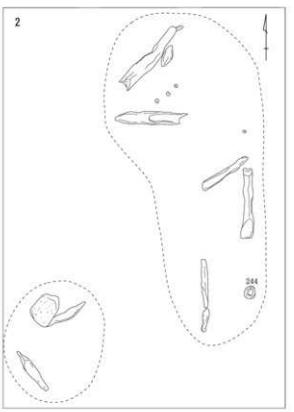
第340図　第10号墳石室

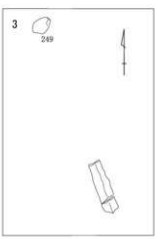




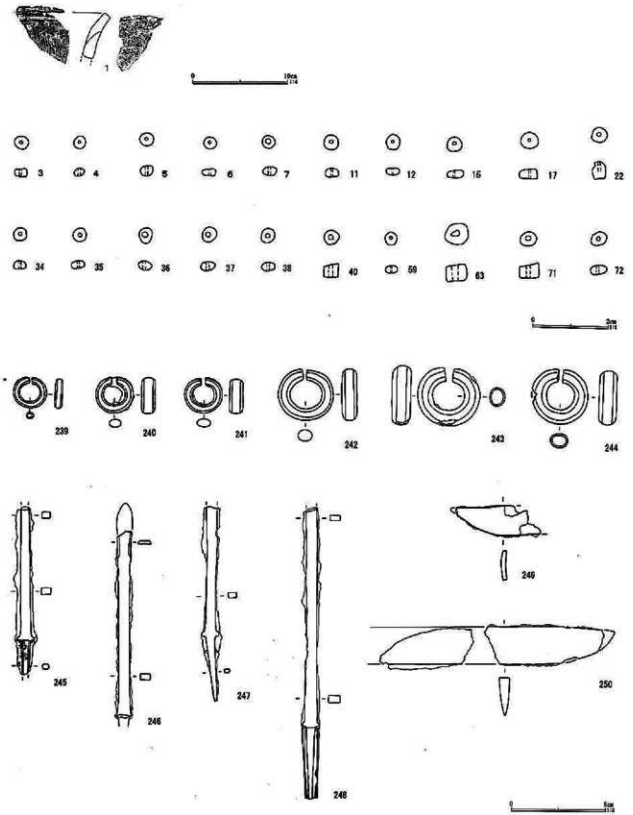
第341図　第10号墳石室内遺物出土状況見取図・遺物出土状況（1）







第342図　第10号墳遺物出土状況（2）



第343図　第10号墳出土遺物

第10号墳出土埴輪観察表（第343図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
1	円筒	口縁片	高（5.5）	①ＡＣＦ ②にぶい橙 ③良好・硬質		12	口縁部内外面ヨコナデ 外面タテハケ、内面ナナメタテハケを施す		

第10号墳石室出土ガラス小玉（玉１）計測表（第343図）

番号	径	高さ	色　調
2	(3.3)	1.7	水
3	3.6～3.8	2.6	コバルトブルー
4	3.8	2.8	暗青緑色
5	3.6～3.8	2.8	暗青緑色
6	3.3～3.4	2.0	暗青緑色
7	3.6	2.6	コバルトブルー
8	3.7	2.2	コバルトブルー
9	3.7	2.2	コバルトブルー
10	3.8～3.9	2.8	暗青緑色
11	4.0	2.8	暗青緑色
12	4.0～4.2	2.5	コバルトブルー
13	3.9	2.1	白
14	3.8	1.8	白
15	3.7～3.9	2.0	白
16	2.7～2.9	1.7	コバルトブルー
17	4.5～4.6	2.5	白
18	3.7～3.9	1.8	白
19	4.0～4.2	2.1	コバルトブルー
20	3.4～3.5	2.2	コバルトブルー
21	3.5～3.7	2.3	コバルトブルー
22	3.4～4.0	4.6	白
23	3.7～3.8	2.9	コバルトブルー
24	3.3～3.7	1.9	白
25	4.0	2.5	暗青緑色
26	3.7～3.8	2.3	コバルトブルー
27	3.8～4.2	2.3	白
28	3.8～4.0	2.3	白
29	4.1～4.3	2.3	白
30	3.8～4.3	2.1	白
31	3.5～3.6	2.2	コバルトブルー
32	3.8	2.2	暗青緑色
33	4.0～4.8	4.4	白

第10号墳石室出土ガラス小玉（玉２）計測表（図版71）

34	3.6	2.1	暗青緑色
35	3.7	1.9	暗青緑色
36	3.7～4.0	2.4	暗青緑色
37	3.9	2.3	暗青緑色
38	3.9～4.0	2.3	暗青緑色
39	3.7～3.8	2.0	コバルトブルー
40	4.1～4.3	3.7	エメラルドグリーン
41	3.8	2.2	コバルトブルー
42	4.1～4.3	3.1	濃暗青緑色
43	3.8	2.3	暗青緑色
44	4.1	2.5	暗青緑色
45	3.5～3.8	2.1	暗青緑色
46	3.9～4.0	2.1	暗青緑色
47	3.8	2.3	暗青緑色
48	3.8	2.2	暗青緑色
49	3.8	2.4	暗青緑色
50	3.7	2.3	暗青緑色
51	3.3～3.7	1.9	暗青緑色
52	3.7	2.3	暗青緑色
53	3.8～3.9	2.2	暗青緑色
54	4.1	2.3	暗青緑色
55	3.6～3.7	2.5	暗青緑色
56	3.7	2.1	暗青緑色
57	3.8～3.9	1.9	暗青緑色
58	3.7	2.1	暗青緑色
59	3.6	2.3	コバルトブルー
60	4.0	2.3	濃暗青緑色
61	3.7～3.9	2.2	暗青緑色
62	3.8	2.2	暗青緑色
63	5.5～5.9	4.5	エメラルドグリーン
64	3.9	2.5	暗青緑色
65	4.0	2.5	暗青緑色
66	3.8	2.2	暗青緑色
67	3.7～3.8	2.4	暗青緑色
68	3.8～4.0	2.5	暗青緑色
69	3.7～3.8	2.4	暗青緑色
70	3.9	2.1	暗青緑色
71	3.9～4.3	3.3	エメラルドグリーン
72	4.1～4.3	2.8	エメラルドグリーン
73	3.1～3.21	1.3	白

第10号墳石室一括出土ガラス小玉計測表（図版71）

番号	径	高さ	色　調
74	4.2～4.5	2.5	淡青緑色
75	4.0	2.4	暗青緑色
76	3.6～3.8	2.3	暗青緑色
77	3.8	2	暗青緑色
78	3.4～3.5	2	コバルトブルー
79	3.7～3.8	2.2	暗青緑色
80	3.7～4.0	2.3	暗青緑色
81	3.6～3.7	2.1	暗青緑色
82	3.9～4.1	2.3	暗青緑色
83	3.8～3.9	2.5	暗青緑色
84	4.1	2.5	暗青緑色
85	3.3	2.0	白
86	3.5～3.6	2.0	白
87	3.7	2.4	暗青緑色
88	3.7	1.9	暗青緑色
89	3.5	2.0	暗青緑色
90	4.0	2.3	暗青緑色
91	3.9	2.1	暗青緑色
92	4.1	2.4	暗青緑色
93	3.6	1.9	暗青緑色
94	3.7～4.3	2.3	暗青緑色
95	4.0	2.5	暗青緑色
96	4.3～4.6	2.9	黄
97	3.9～4.0	2.4	暗青緑色
98	3.9	2.5	コバルトブルー
99	4.1～4.3	2.8	コバルトブルー
100	4.1	2.1	スカイブルー
101	3.7	2.3	コバルトブルー
102	4.2～4.4	2.5	黄
103	3.3～3.4	1.9	コバルトブルー
104	3.6	2.4	コバルトブルー
105	3.6～3.7	2.0	コバルトブルー
106	3.5～3.6	3.2	コバルトブルー
107	4.2	2.7	コバルトブルー
108	3.7～3.8	2.0	白
109	3.8	2.0	白
110	4.2～4.3	2.9	白
111	4.1	2.7	白
112	4.0～4.3	3.4	白
113	4.4	2.3	白
114	3.6～4.1	2.8	コバルトブルー
115	3.8	2.2	コバルトブルー
116	3.8～4.0	1.9	水
117	3.6	2.4	コバルトブルー

番号	径	高さ	色　調
118	3.6	1.7	コバルトブルー
119	4.4	2.6	黄
120	3.8～3.9	2.2	白
121	3.9～4.1	2.3	白
122	3.3～3.5	2.2	白
123	3.9～4.0	2.2	白
124	3.5	2.1	白
125	3.5	1.8	白
126	3.8	2.0	コバルトブルー
127	3.7～3.9	2.8	コバルトブルー
128	3.8	2.1	コバルトブルー
129	4.0	2.8	コバルトブルー
130	3.4～3.6	2.6	スカイブルー
131	4.0～4.1	2.5	コバルトブルー
132	4.1～4.2	2.1	白
133	3.9～4.1	2.4	白
134	3.6～3.8	2.1	コバルトブルー
135	3.4～3.5	2.3	暗青緑色
136	3.6	2.3	コバルトブルー
137	3.5	2.4	暗青緑色
138	3.8	2.0	コバルトブルー
139	3.9～4.0	2.7	コバルトブルー
140	3.7～3.8	2.1	コバルトブルー
141	3.8	2.5	暗青緑色
142	3.8～3.9	2.6	コバルトブルー
143	3.9	2.2	コバルトブルー
144	4.1～4.3	1.9	暗青緑色
145	3.8～4.0	1.9	白
146	4.0～4.2	2.4	白
147	4.1～4.2	2.9	コバルトブルー
148	3.8	2.0	暗青緑色
149	4.0	2.4	暗青緑色
150	3.9	2.2	暗青緑色
151	3.9	2.4	コバルトブルー
152	3.8	2.0	コバルトブルー
153	4.0～4.1	2.6	暗青緑色
154	3.9	2.0	暗青緑色
155	3.7	2.5	暗青緑色
156	4.1	2.9	黄
157	3.6～3.7	2.0	コバルトブルー
158	3.6～4.0	2.3	コバルトブルー
159	3.8	2.8	暗青緑色
160	3.7	2.1	コバルトブルー
161	3.8	2.2	暗青緑色

第10号墳石室一括出土ガラス小玉計測表（図版71）

番号	径	高さ	色　調
162	3.7	2.0	暗青緑色
163	3.8	2.3	暗青緑色
164	3.7	2.0	暗青緑色
165	3.5	1.7	コバルトブルー
166	3.8～3.9	2.2	暗青緑色
167	3.8	2.1	暗青緑色
168	3.7	2.5	暗青緑色
169	3.7	2.0	暗青緑色
170	3.6	1.9	暗青緑色
171	3.5～3.6	2.1	暗青緑色
172	2.4～2.6	1.3	コバルトブルー
173	3.8	2.1	暗青緑色
174	3.7～3.8	2.3	暗青緑色
175	4.0～4.1	2.3	コバルトブルー
176	3.6～3.7	2.4	暗青緑色
177	3.7	2.4	暗青緑色
178	3.8	2.1	暗青緑色
179	3.4～3.5	1.2	白
180	3.7～4.1	2.2	暗青緑色
181	3.5	2.0	暗青緑色
182	3.5～3.7	2.5	暗青緑色
183	3.6～3.7	2.0	コバルトブルー
184	4.0	2.3	暗青緑色
185	4.1	2.5	暗青緑色
186	4.3～4.5	2.7	白
187	3.5～3.6	2.3	コバルトブルー
188	3.7～3.8	2.4	暗青緑色
189	3.5～3.7	2.8	コバルトブルー
190	3.5～3.6	2.0	暗青緑色
191	3.8	2.1	暗青緑色
192	3.5	2.0	暗青緑色
193	3.5～3.6	2.1	コバルトブルー
194	3.7～3.8	2.0	暗青緑色
195	3.7	2.0	スカイブルー
196	3.7	2.5	暗青緑色
197	3.6～3.7	2.0	暗青緑色
198	3.8	2.4	暗青緑色
199	4.1	2.3	暗青緑色
200	2.4～2.6	1.7	スカイブルー

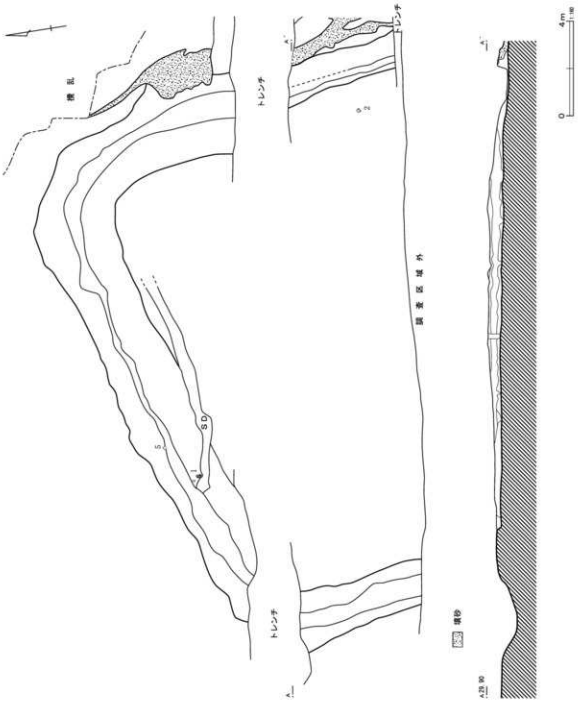
番号	径	高さ	色　調
201	3.6～3.7	2.5	暗青緑色
202	3.6	2.8	青
203	3.9～4.0	2.3	暗青緑色
204	3.8～3.9	2.2	暗青緑色
205	3.7	2.4	暗青緑色
206	3.6	2.2	コバルトブルー
207	3.4	1.3	白
208	3.7～3.9	2.0	暗青緑色
209	3.8～4.2	2.4	コバルトブルー
210	3.7～3.8	2.2	暗青緑色
211	3.7～3.8	3.0	暗青緑色
212	3.6	1.7	暗青緑色
213	3.4～3.5	2.2	コバルトブルー
214	3.6～3.9	1.9	白
215	3.7～4.1	2.1	コバルトブルー
216	4.2～4.3	2.7	暗青緑色
217	3.8	2.2	暗青緑色
218	3.8～3.9	2.5	暗青緑色
219	3.7～3.8	2.4	暗青緑色
220	3.6	2.8	コバルトブルー
221	3.3～3.6	2.0	水
222	3.8～3.9	2.3	暗青緑色
223	3.7	2.3	暗青緑色
224	4.0	2.5	暗青緑色
225	3.7～3.8	2.2	暗青緑色
226	3.7～3.8	2.1	暗青緑色
227	3.4～3.5	2.0	暗青緑色
228	2.5～2.8	1.9	コバルトブルー
229	3.9	2.3	暗青緑色
230	3.7	2.0	暗青緑色
231	3.7	2.2	暗青緑色
232	4.1～4.2	3.2	暗青緑色
233	3.7	2.5	コバルトブルー
234	3.7～4.2	2.3	暗青緑色
235	4.0	2.5	暗青緑色
236	3.7	2.4	コバルトブルー
237	(4.4)	(2.2)	暗青緑色
238	(3.5)	(2.3)	暗青緑色

第10号墳出土遺物観察表（第343図）

番号	器　種	計　測　値	出土位置	備　考
239	耳環	大きさ1.6×1.7cm　環体0.3×0.3cm　重さ1.9g	石室	金銅製　鍍金部分的に残る　中空
240	耳環	大きさ1.8×2.0cm　環体0.4×0.6cm　重さ6.8g	石室	金銅製　鍍金部分的に残る　中実　239とセット
241	耳環	大きさ1.8×2.0cm　環体0.4×0.6cm　重さ6.6g	石室	金銅製　鍍金部分的に残る　中実　240とセット
242	耳環	大きさ2.6×2.9cm　環体0.6×0.7cm　重さ19.7g	石室	金銅製　鍍金大半はがれている　中実
243	耳環	大きさ3.1×3.3cm　環体0.8×1.0cm　重さ5.9g	石室	金銅製　鍍金大半剥落　中空

第10号墳出土遺物観察表（第343図）

番号	器　種	計　測　値	出土位置	備　　考
244	耳環	大きさ2.9×3.0cm　環体0.7×0.9cm　重さ4.4g	石室	金銅製　鍍金大半剥落　中空
245	鉄鏃	長さ [9.0] cm　茎部長 [1.8] cm　頸部幅0.6×0.3cm	石室	長頸鏃
246	鉄鏃	長さ [9.9] cm　鏃身長 [1.5] cm　鏃身幅0.7cm　頸部幅0.6×0.3	石室	長頸鏃　切刃造　三角形鏃
247	鉄鏃	長さ [10.3] cm　茎部長3.4cm　幅0.5×0.3cm	石室	
248	鉄鏃	長さ [15.5] cm　茎部長3.8cm　幅0.5～0.6×0.3～0.4cm	石室	長頸鏃　鏃身部欠
249	延板状製品	長さ [4.6] cm　幅1.5cm　厚さ0.2cm	石室	用途不明
250	鉄刀	長さ [6.2]+[5.0] cm　刃幅2.0cm　背幅0.5cm	石室	2片同一個体　接合せず　切先先端欠



第344図　第11号墳（1）

第11号墳（第344～346図）

調査区側の南西端のO・P－1～3グリッドに位置し、南側は調査区域外である。単独墳であるが北東に第21号墳が隣接し、東方11mに第10号墳が位置する。

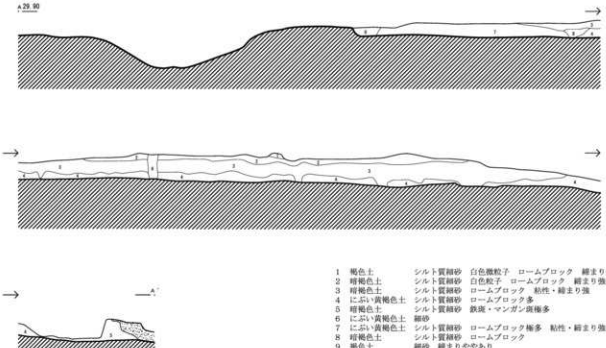
古墳群中4基の方墳のうちの1基で、東西墳丘長19.2m、東西周溝長23.7mを測る方墳で、第16号墳より一回り小さい。

東辺の周溝外周部に墳砂が確認できた。

墳丘部の平面形は、概ね形の整った方形を呈する。墳丘はほとんどが削平されているが、0.6m程の盛り土が確認され、基底部は東側が沈下していた。

周溝は幅1.95～3.00mで、調査区範囲内は全周している。確認面から周溝の深さは0.5～0.8mを測り、全体に浅く掘り込まれていた。

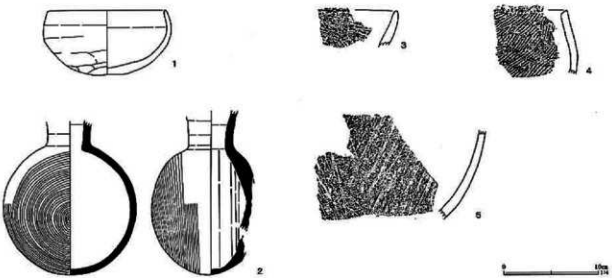
遺物は、土師器坏、須恵器提瓶、弥生土器片が出土した。土師器坏は周溝覆土中位、須恵器提瓶は遺存墳丘より上位、弥生土器片（5）は周溝上であるが確認面より上位で検出されている。



第345図 第11号墳（2）

第11号墳出土遺物観察表（第346図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師坏	12.4	6.9		EK	普通	浅黄橙	85	北辺周溝	
2	須恵提瓶				AK	良好	灰	90	東辺墳丘	平坦側外面剥離



第346図　第11号墳出土遺物

第12号墳（第347図）

調査区北側のH・I－6・7グリッドに位置する。単独墳であるが北側に0.5mに第13号墳がり近接する。

墳丘東西径6.0m、南北径6.64m、周溝東西径7.6m、南北径8.2mを測る小型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳で最も小型の古墳である。

墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。墳丘はすべて削平されており、周溝のみの検出である。

周溝は幅0.67～0.87mで、調査区範囲内は全周している。確認面から周溝の深さは0.20～0.42mを測る。

遺物は、円筒埴輪片が出土した。

第13号墳（第348図）

調査区北側のG・H－7グリッドに位置し、東側は調査区域外である。第26・33号土坑と重複し、古墳より土坑は新しい。すぐ南に第12号墳が位置する。

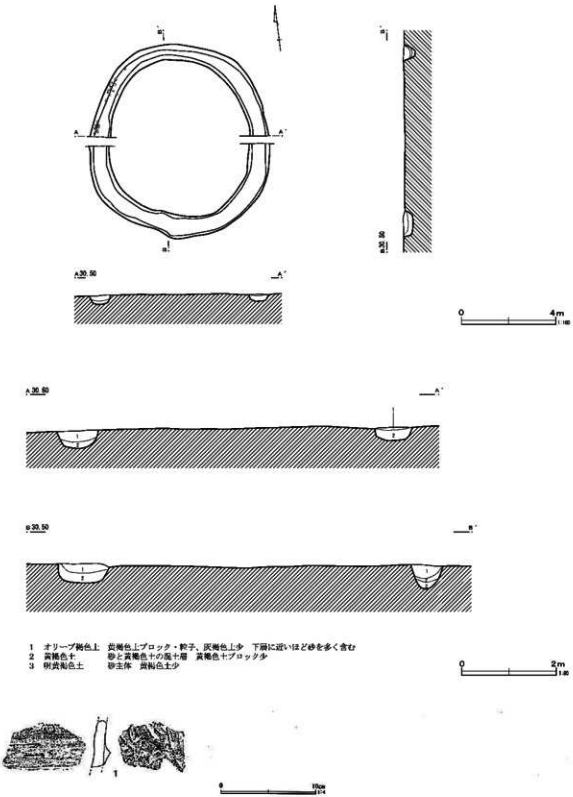
墳丘東西径9.6m、復元径9.4m、周溝東西径11.72m、復元径12.1mを測る中型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳11基中10番目の大きさである。

墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。墳丘はすべて削平されており、周溝のみの検出である。

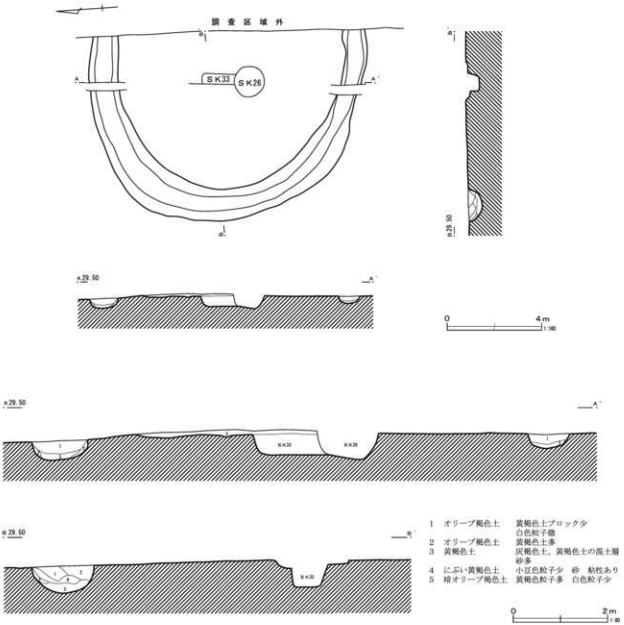
周溝は幅0.85～1.80mで、調査区範囲内は全周している。確認面から周溝の深さは0.30～0.54mを測る。

第12号墳出土埴輪観察表（第347図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
1	円筒	破片	高（4.5）	①AFJK ②橙 ③良好・硬質	低台形		外面不明 内面ナナメナデを施す		



第347図 第12号墳・出土遺物



第348図 第13号墳

第14号墳（第349～352図）

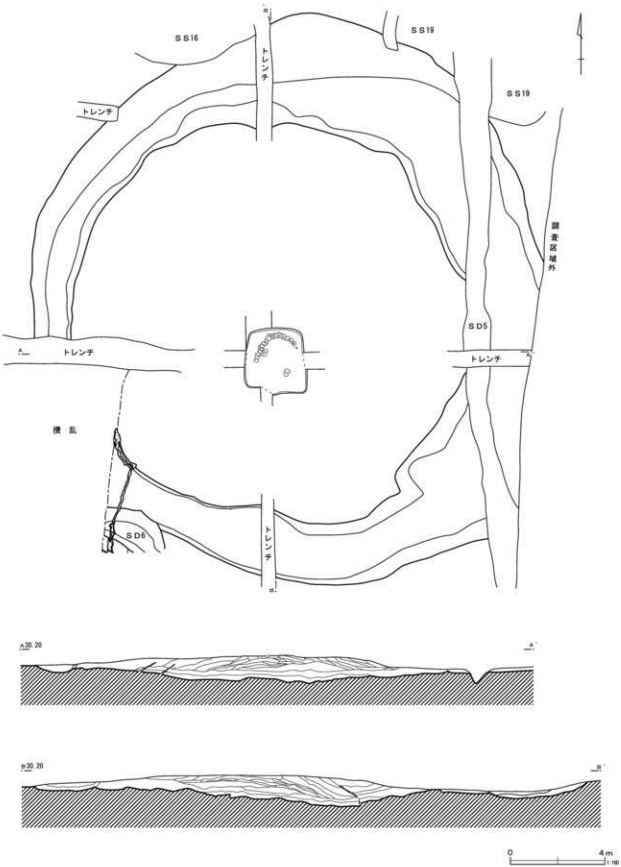
調査区中央のやや南寄りのL～O－5～7グリッドに位置し、東側は調査区域外で、南西部は攪乱をされている。第16号墳、第5・6号溝と重複し、古墳・溝に周溝外周を壊され、第5号溝は東側を縦断しており、いずれも古墳より新しい。

墳丘径16.0m、周溝南北径24.1m、東西径21.7mを測る大型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳12基中最も大きい。

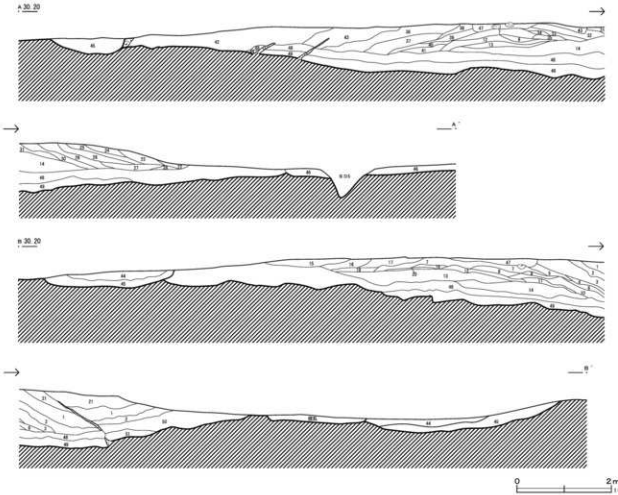
墳丘内やや南寄りに主体部が検出された。

墳丘盛り土内に地震による墳砂の砂脈がみられ、墳丘北側では不整合面が確認できた。

墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。墳丘はほとんどが削平されているが、1.2m程の盛り土が確認され、基底部は全体的に沈下し、主体部東側と南側の沈下が大きかった。

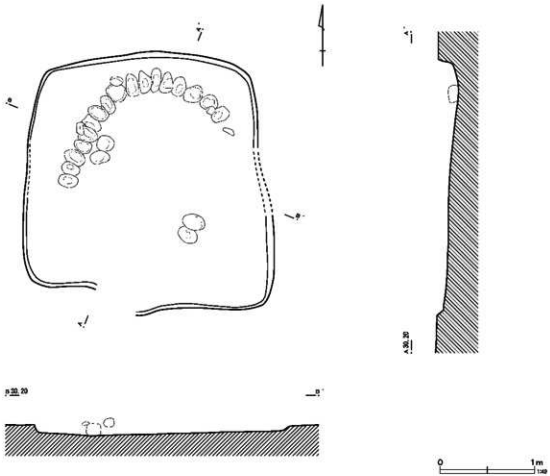


第349図　第14号墳（1）

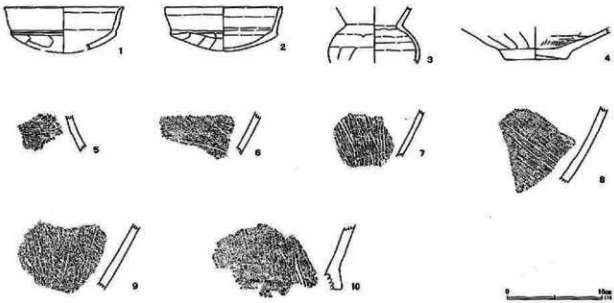


1　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多　白色火山灰少
　　炭化物粒子
2　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック極多　褐色土粒子少
3　褐色土　褐色土主体　暗褐色土少
4　黒褐色土　黄褐色土粒子・白色火山灰少
5　褐色土　暗褐色土の混入は2層より少ない
6　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多　白色火山灰少
7　褐色土　褐色土主体　暗褐色土多　炭化物粒子少
8　暗褐色土　黄褐色土粒子多　白色火山灰・炭化物粒子微
9　暗褐色土　黄褐色ブロック極多　炭化物粒子・白色火山灰少
10　褐色土　褐色土主体　暗褐色土多　炭化物粒子・白色火山灰微
11　暗褐色土　黄褐色土粒子多　炭化物粒子少
12　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック・炭化物粒子・
　　白色火山灰少
13　黒褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土小ブロック少
　　炭化物粒子・白色火山灰微
14　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック少　炭化物粒子
　　白色火山灰
15　黒褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多　白色火山灰微
16　黒褐色土　黄褐色土粒子・白色火山灰微
17　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多　白色火山灰微
18　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多
　　白色火山灰・炭化物粒子微
19　褐色土　褐色土・褐色土ブロック主体　暗褐色土多　白色火山灰微
20　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック少
　　白色火山灰・炭化物粒子微
21　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック少　白色火山灰微
22　暗褐色土　黄褐色土粒子多　白色火山灰微
23　暗褐色土　黄褐色土粒子少
24　暗褐色土　黄褐色土粒子少　白色火山灰微
25　黒褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多
　　白色火山灰・炭化物粒子少
26　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック少
　　白色火山灰・炭化物粒子微
27　褐色土　褐色土・褐色土ブロック主体　暗褐色土多　白色火山灰微
28　暗褐色土　黄褐色土粒子・白色火山灰微
29　褐色土　褐色土主体　暗褐色土多　角閃石安山岩片微
30　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック・白色火山灰微
　　角閃石安山岩片
31　褐色土　褐色土主体　暗褐色土多　白色火山灰少
32　黒褐色土　黄褐色土粒子少　白色火山灰微
33　褐色土　褐色土・褐色土ブロック主体　暗褐色土多　白色火山灰少
34　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック極多　白色火山灰少
35　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック少
36　褐色土　褐色土・褐色土ブロック主体　暗褐色土多
　　白色火山灰・角閃石安山岩片少
37　褐色土　暗褐色土少
38　褐色土　暗褐色土やや多
39　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多　白色火山灰少
40　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック少
　　白色火山灰・炭化物粒子少
41　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック少
42　暗褐色土　黄褐色土粒子多　白色火山灰少
43　にぶい黄褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多
　　白色火山灰・炭化物粒子少
44　暗褐色土　炭褐色土粒子多　黄褐色土ブロック少　炭化物粒子
　　火山灰　粘性強
45　褐色砂質土　黄褐色土粒子多　火山灰少　砂質やや強
46　にぶい黄褐色土　黄褐色土粒子多　暗褐色土粒子　火山灰少　粘性強
47　暗褐色土　角閃石安山岩小片・細片・小礫多　黄褐色土粒子　粘性なし
　　締まり強
48　暗褐色土　黄褐色土粒子多　白色火山灰・炭化物粒子少　締まり強
49　暗褐色土　黄褐色土粒子多　黄褐色土ブロック少　炭化物粒子
　　締まり強
　　噴砂

第350図　第14号墳（2）



第351図　第14号墳石室



第352図　第14号墳出土遺物

第14号墳出土遺物観察表（第352図）

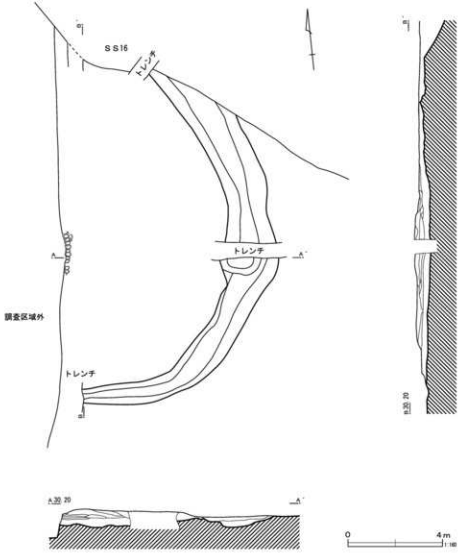
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師坏	(12.5)			AF	普通	橙	25	墳丘	
2	土師坏	12.4	4.6		AF	良好	にぶい橙	75	墳丘	口縁部内外面横ナデ
3	土師坩				AF	良好	にぶい黄褐	60	墳丘	ウンド内・墳丘下
4	土師甕			6.4	AC	良好	にぶい黄橙	70	墳丘下	内面ヘラ痕

周溝は幅1.85～3.20mで、調査区範囲内は全周している。確認面から周溝の深さは0.3～0.45mを測り、全体に浅く掘り込まれ皿状の断面形を呈する。

墳丘部はほとんど削平されているが、主体部が検出された。角閃石安山岩の転石で構築された胴張り形横穴式石室である。主軸方位は、N－24°－Eを指す。

石室は、2.40～2.67m×2.20～2.65mの不整方形の浅く掘り窪められた土坑内に構築されているが、根石の一部が遺存していただけであった。遺存玄室規模は、長さ1.28m、奥壁幅0.8m、幅1.20mを測る。

遺物は、土師器坏・坩・甕底部、弥生破片は墳丘から出土した。



第353図　第15号墳

第15号墳（第353～355図）

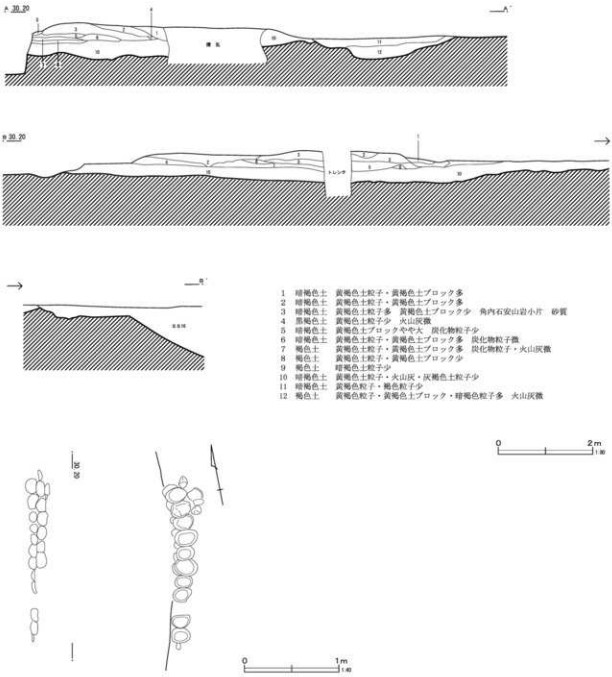
調査区南西側のＬ・Ｍ－４・５グリッドに位置する。西側は調査区域外であるが、主体部の一部が検出できた。第16号墳と重複し、壊されており、第16号墳より古い。

墳丘復元径14.6ｍ、周溝復元径15.2ｍを測る中型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳12基中７番目の大きさである。

墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。墳丘はほとんどが削平されているが、0.3ｍ程の盛り土が確認され、基底部は中心に向かって傾斜し沈下していた。

周溝は幅0.6～1.8ｍで、調査区範囲内は全周している。確認面から周溝の深さは0.2ｍを測る。

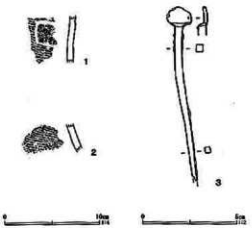
墳丘部は削平されているが、主体部の一部が検出された。角閃石安山岩の転石で構築された横穴式石



第354図　第15号墳・石室

室である。東壁の根石と棺床面下の敷石が検出されたのみであった。

遺物は、墳丘から弥生土器片、銅製の釘が出土した。



第355図　第15号墳出土遺物

第15号墳出土遺物観察表（第355図）

番号	器種	計測値	出土位置	備考
3	銅製釘	長さ[9.2]cm 頭幅0.9×1.3cm 脚幅0.3～0.4cm		

第16号墳（第356～358図）

調査区ほぼ中央のⅠ－5、J－4～6、K－4～7、L－4～6グリッドに位置する。第14・15・18号墳と重複し、18号墳が新しく、第14・15号墳が古い。

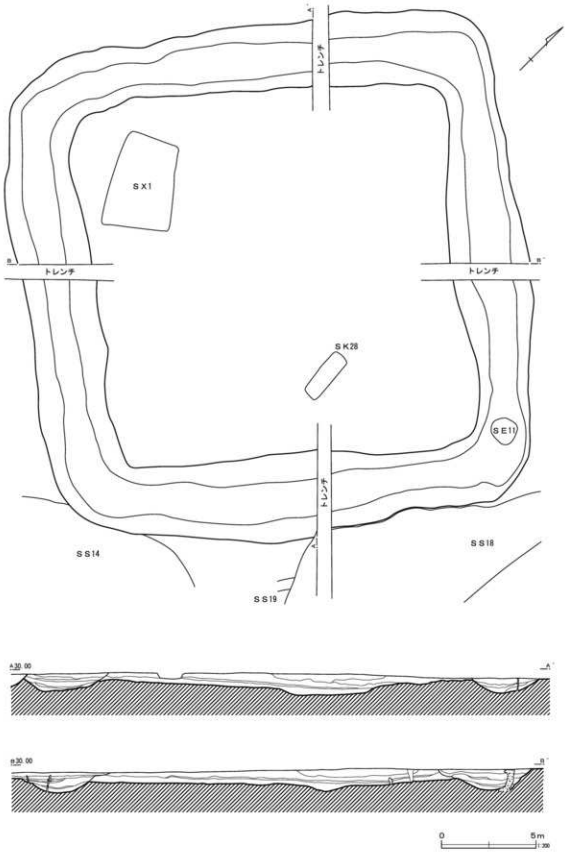
墳丘北東辺26.0m、南西辺25.5m、北西辺25.8m、南東辺25.2mの方墳である。群中の規模が最も大きい古墳である。

周溝及び墳丘盛り土で、地震による墳砂の砂脈が確認できた。

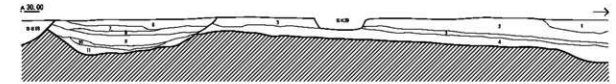
墳丘部の平面形は、概ね整った方形を呈する。墳丘はほとんどが削平されているが、1.0m程の盛り土が確認され、基底部は北東側が沈下していた。

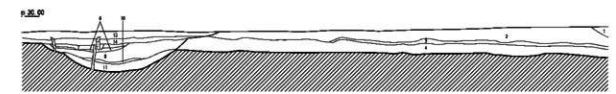
周溝は幅2.55～4.15mで、調査区範囲内は全周している。確認面から周溝の深さは0.75～1.15mを測り、全体に皿状の断面形を呈する。

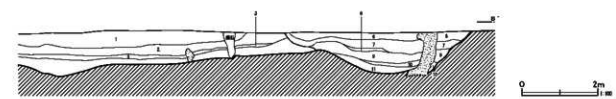
遺物は、周溝から土師器坏、出土位置は不明であるが円筒埴輪片と馬形埴輪の鈴が出土した。



第356図　第16号墳（1）

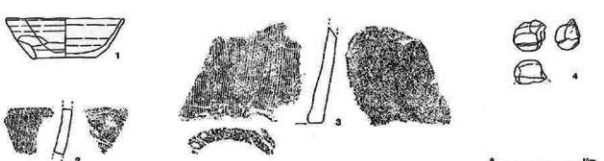






1　褐色土　褐色土砂礫多　火山灰少　やや砂質
2　にぶい黄褐色土　黄褐色土粒子・炭化物粒子微　粘性強
3　暗褐色土　黄褐色土粒子・炭化物粒子少　粘性強
4　暗褐色土　褐色土粒子極多　炭化物粒子少　粘性強
5　にぶい黄褐色土　黄褐色上粒子多
6　暗褐色土　灰褐色土粒子・褐色土粒子・火山灰多
7　にぶい黄褐色土　黄褐色土粒子・暗赤褐色土粒子(鉄分)多　火山灰少　粘性弱
8　黒褐色土　黄褐色土粒子・灰褐色土粒子多　火山灰・炭化物粒子少　粘性やや強
9　暗褐色土　灰褐色土粒子・黄褐色土粒子多　火山灰極少　粘性やや強
10　黒褐色上　黄褐色上粒子多　炭化物粒子やや多　粘性強
11　にぶい黄褐色土　暗褐色土粒子少　炭化物粒子極少　粘性強
12　褐色上　黄褐色上粒子極多　炭化物粒子極少　やや砂質
13　褐色土　灰褐色土粒子多　赤褐色土粒子(鉄分)・火山灰少
14　灰黄褐色上　黄褐色上粒子・赤褐色上粒子(鉄分)多　火山灰少　粘砂
25　

第357図　第16号墳（2）



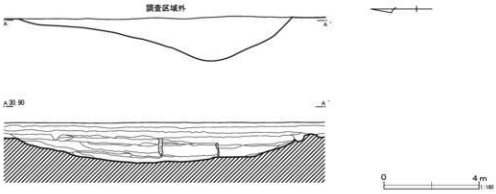
第358図　第16号墳出土遺物

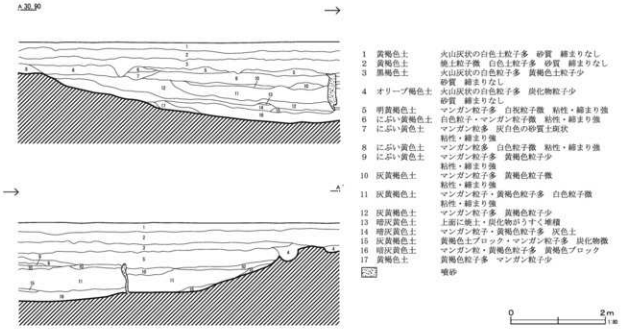
第16号墳出土遺物観察表（第358図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師坏	12.3	4.3	6.8	ACF	良好	橙	95	周溝	底部内面外周木口ナデ　底部外面静止ヘラ削り 黒色土器

第16号墳出土埴輪観察表（第358図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備考
2	円筒	破片	高（5.0）	①AF②明赤褐③良好硬質		20	外面タテハケを施す		
3	円筒	第1段片	高（10.5）	①AFJK ②浅黄橙 ③普通・普通		8	外面タテハケ 内面タテナデを施す	トレンチ	
4	形象	鈴		①AFJ ②黄橙③普通					尻繋鈴





1　黄褐色土　火山灰状の白色土粒子多　砂質　締まりなし
2　黄褐色土　焼土粒子微　白色土粒子多　砂質　締まりなし
3　黒褐色土　火山灰状の白色粒子多　黄褐色土粒子少　砂質　締まりなし
4　オリーブ褐色土　火山灰状の白色粒子多　炭化物粒子少　砂質　締まりなし
5　明黄褐色土　マンガン粒子多　白灰粒子微　粘性・締まり強
6　にぶい黄褐色土　白色粒子・マンガン粒子微　粘性・締まり強
7　にぶい黄色土　マンガン粒多　灰白色の砂質土斑状　粘性・締まり強
8　にぶい黄色土　マンガン粒多　白色粒子微　粘性・締まり強
9　にぶい黄色土　マンガン粒子多　黄褐色粒子少　粘性・締まり強
10　灰黄褐色土　マンガン粒子多　黄褐色粒子微　粘性・締まり強
11　灰黄褐色土　マンガン粒子・黄褐色粒子多　白色粒子微　粘性・締まり強
12　灰黄褐色土　マンガン粒子多　黄褐色粒子少
13　暗灰黄色土　上面に焼土・炭化物ふうすく堆積
14　暗灰黄色土　マンガン粒子・黄褐色粒子多　灰色土
15　灰黄褐色土　黄褐色土ブロック・マンガン粒子多　炭化物微
16　暗灰黄色土　マンガン粒・黄褐色粒子多　黄褐色ブロック
17　黄褐色土　黄褐色粒子多　マンガン粒子少
SS2　噴砂

第359図　第17号墳

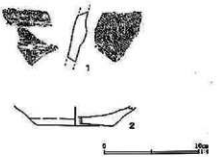
第17号墳（第359・360図）

調査区北側東端のＩ・Ｊ－７グリッドに位置する。東側は調査区域外で周溝外周の一部が検出された。第12号墳とは0.7ｍ程しか離れていない。

墳形・規模ともに不明である。

周溝内には、地震による墳砂の砂脈が確認できた。

遺物は、弥生壺底部と円筒埴輪片が出土した。



第360図　第17号墳出土遺物

第17号墳出土埴輪観察表（第360図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
1	円筒	破片	高〈5.8〉	①ＡＦＧＫ ②橙 ③良好・硬質	低台形	10	外面タテハケ 内面タテ・ナナメタテハケを施す		

第17号墳出土遺物観察表（第360図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備　　考
2	弥生壺	(8.0)			ＡＦ	良好	にぶい橙	40		体部外面ヘラナデ

第18号墳（第361・362図）

調査区中央東端のＫ－７、Ｌ－６・７グリッドに位置する。西側周溝の一部が検出されたのみで、東側は調査区域外である。第16号墳と重複し、第16号墳の周溝外周の一部を壊している。

ほとんどが調査区域外に拡がっているため規模等は不明であるが、方墳と推定される。墳丘はほとんどが削平されているが、1.0～1.2ｍ程の盛り土が確認され、基底部は全体的に沈下していた。

確認できた墳丘北西辺は8.4ｍ、周溝辺は14・0ｍ、深さ0.45～0.50ｍを測る。

遺物は、円筒埴輪片が出土した。

第19号墳（第363図）

調査区中央東端のＬ・Ｍ－６・７グリッドに位置する。東側は調査区域外である。第14・18号墳、第5号溝に切られている。

墳丘は全て削平され周溝のみの確認であるが方墳と推定され、墳丘規模は南西辺側で6.7ｍ、周溝南西辺で8.0ｍを測る。

周溝は幅0.55～0.80ｍで、確認面からの深さ6～10㎝を測る。

第21号墳（第364・365図）

調査区南側の東端のＮ・Ｏ－４グリッドに位置する。西半は撹乱され不明である。第6号溝と一部重複し、溝に南東側の周溝が壊されている。

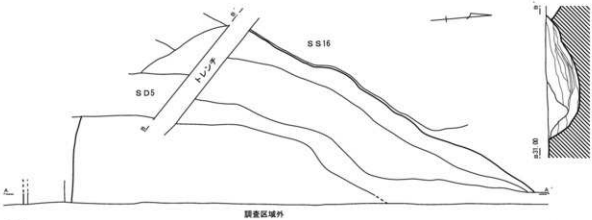
墳丘復元径10ｍ、周溝復元径15.8ｍを測る小型の円墳である。群中の規模が確認できた円墳12基中９番目の大きさである。

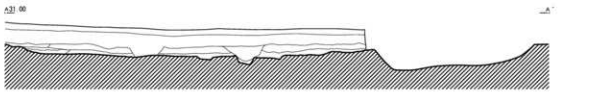
墳丘部の平面形は、概ね形の整った円形を呈する。墳丘はすべて削平され周溝のみの確認であった。

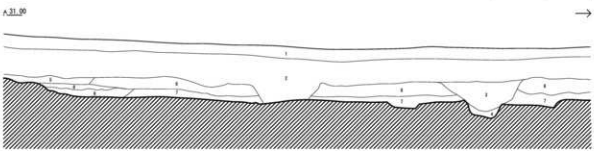
周溝は幅0.9～2.6ｍで、調査区範囲内は全周している。確認面から周溝の深さは0.25～0.5ｍを測り、全体に浅く掘り込まれている。

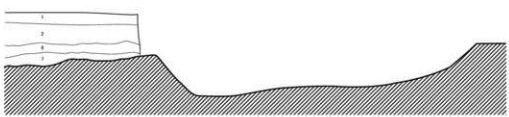
主体部は、墳丘中央に土坑が検出された。西半は撹乱され、全体の形は不明であるが、平面形は長方形と推定される。規模は、確認できた主軸長1.78ｍと幅1.37ｍ、深さ0.47ｍを測る。主軸方向は、Ｎ－90°－Ｅを指す。

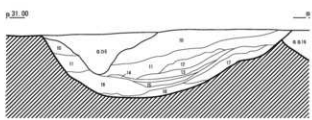
土坑内より、土師器坏が出土した。







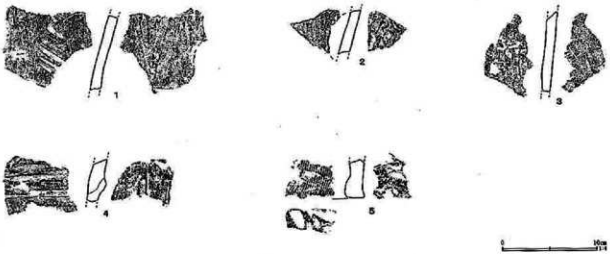




1　灰黄色土
2　黄灰色土　　黄褐色土ブロック・白色粒子多　焼土・炭化物粒子微
3　黄灰色土　　白色粒子・マンガン粒多
4　黄褐色土　　砂層
5　黄褐色土　　白色粒子少　マンガン粒多
6　オリーブ褐色土　白色粒子・炭化粒微　マンガン粒少
7　暗灰黄色土　　マンガン粒・黄褐色ブロック多　砂質
8　明オリーブ褐色土　白色粒子微　マンガン粒多(マンガン主体層)
9　暗灰黄色土　　マンガン粒・黄褐色ブロック多
10　にぶい黄褐色土　マンガン粒　火山灰多　炭化物粒少
11　灰黄褐色土　　マンガン粒多　火山灰　炭化物粒少
12　暗褐色土　　マンガン粒多　火山灰少
13　黒褐色土　　マンガン粒・灰色粘土多　炭化物粒少
14　褐灰色土　　灰色粘土極多　炭化物粒・マンガン粒多　粘性強
15　暗褐色土　　灰色粘土・黄褐色土粒・炭化物粒多
16　暗褐色土　　黄褐色粒極多　灰色粘土多　炭化物粒少
17　褐色土　　黄褐色土粒極多　灰色粘土多
18　にぶい黄褐色土　黄褐色土粒極多　灰色粘土多　炭化物粒少

0　2m
1:80

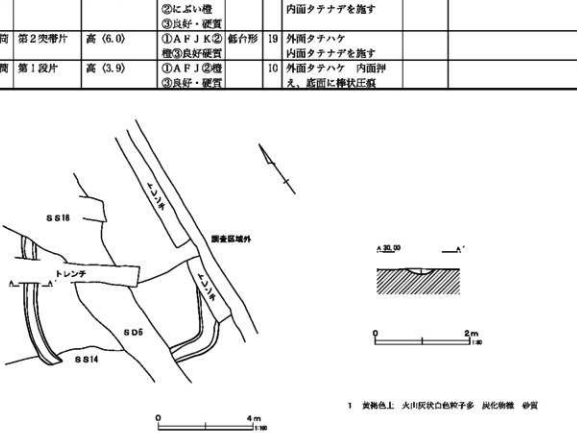
第361図　第18号墳



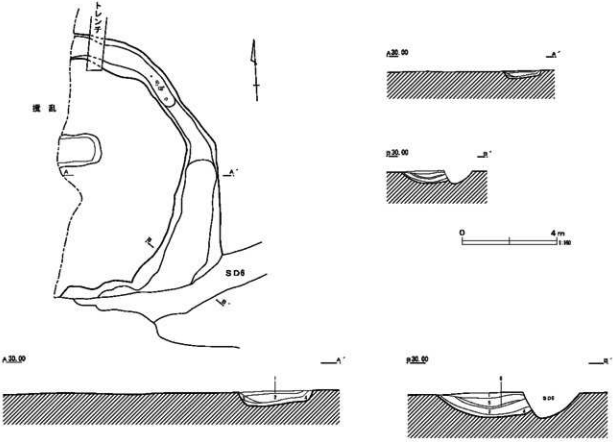
第362図　第18号墳出土円筒埴輪

第18号墳出土埴輪観察表（第362図）

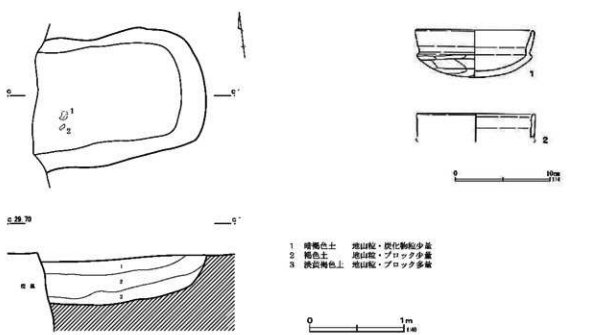
番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
1	円筒	第2段片	高〈9.0〉	①AFJ②橙 ③良好・硬質		20	外面タテハケ 内面タテナデを施す	透孔あり	
2	円筒	第2段片	高〈4.5〉	①AFJK② 橙③良好硬質		22	外面タテハケ 内面タテナデを施す	透孔あり	
3	円筒	破片	高〈7.9〉	①AFJ ②によい橙 ③良好・硬質		18	外面タテハケ 内面タテナデを施す		
4	円筒	第2突帯片	高〈6.0〉	①AFJK② 橙③良好硬質	低台形	19	外面タテハケ 内面タテナデを施す		
5	円筒	第1段片	高〈3.9〉	①AFJ②橙 ③良好・硬質		10	外面タテハケ　内面押 え、底面に棒状圧痕		



第363図　第19号墳



第364図　第21号墳



第365図　第21号墳主体部・出土遺物

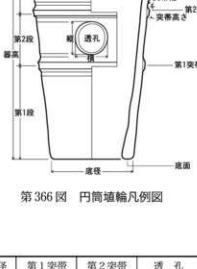
第21号墳出土遺物観察表（第365図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師坏	(12.4)	5.0		AFG	普通	橙	50	覆土	口縁部内外面横ナデ
2	土師坏	(12.3)			A	良好	橙	20	覆土	内外面横ナデ

円筒埴輪計測表

ここで扱う円筒埴輪とは、普通円筒埴輪と朝顔形円筒埴輪の総称である。

円筒埴輪の各部名称、計測部位は右図に示したとおりである。計測表の遺物番号は挿図中の番号に対応している。以下に、第7号墳と第9号墳の円筒埴輪の計測結果を示す。



第366図　円筒埴輪凡例図

第7号墳円筒埴輪計測表（第312～314図）

番号	口径	器高	底径	第1段長	第2段長	口縁長	1段／器高	2段／器高	口縁長／器高	底径／口径	第1突帯 幅	第1突帯 高さ	第2突帯 幅	第2突帯 高さ	透孔 縦×横	備考
1	(22.0)	<10.6>				10.0										
2	(19.6)	28.8	10.9	8.1	10.2	10.5	28.10%	35.40%	36.50%	55.60%	0.4	1.7	0.5	1.5	5.3×6.2	
3	20.2	33.4	13.6	10.5	11.5	11.4	31.50%	34.40%	34.10%	67.30%	0.4	1.6	0.3		5.4×5.8	
4	17.2	33.2	11.3	11.4	11.6	10.2	34.30%	34.90%	30.70%	65.70%	0.4	1.9	0.7	1.8	6.0×6.9	
5	20.1	31.7	11.0	10.3	12.2	9.2	32.50%	38.50%	29.00%	54.70%	0.5	2.2	0.6	1.7	(7.5×6.4)	
6	20.6	34.1	12.3	12.8	9.9	11.4	37.50%	29.00%	33.40%	59.70%	0.6	1.5	0.3	1.1	5.0×6.6	
7	(21.2)	34.0	(14.7)	10.7	11.4	11.9	31.50%	33.50%	35.00%	69.30%	0.9	1.7	0.4	1.4	(5.6×5.6)	
8	(22.9)	35.7	12.4	14.2			39.80%			54.10%	0.5	1.5	0.6	1.8		
9	20.7	33.3	13.0	13.4	8.1	11.8	40.20%	24.30%	35.40%	62.80%	0.4	1.8	0.4	1.6	5.4×6.5	
10	20.3	34.3	13	13.3	10.9	10.1	38.80%	38.80%	31.80%	64.00%	0.6	1.7	0.5	1.8	5.8×6.4	
11	20.1	31.6	(12.5)	13.2	9.1	9.3	41.80%	28.80%	29.40%	62.20%	0.3	1.1	0.4	1.7	5.8×6.4	
12	20	31.1	12.8	13.2	10	7.9	42.40%	32.20%	25.40%	64.00%	0.4	2.4	0.3	1.8	5.1×6.1	
13	(24.1)	34.3	14.0	13.8	10.3	10.2	40.20%	30.00%	29.70%	58.10%	0.5	1.3	0.3	1.2	6.6×7.2	
14	(31.7)	<7.8>														朝顔形
15	(29.4)	51.0	11.0	19.1	12.3		37.50%	24.10%			0.4	1.1	0.5	0.8	6.3×6.7	朝顔形
				6.6	4.4	8.6	12.90%	8.60%	16.90%	37.40%	0.6	1.6	1.9	2.6		第3•4段

第９号墳円筒埴輪計測表（第 325 ～ 332 図）

番号	口径	器高	底径	第１段長	第２段長	口縁長	１段／器高	２段／器高	口縁長／器高	底径／口径	第１突帯 幅	第１突帯 高さ	第２突帯 幅	第２突帯 高さ	透孔 縦×横	備考
7	20.9	<19.2>				11.2							0.5	1.8		
8	20.5	<17.0>				10.5							0.5	1.7		
9		<21.8>											0.5	1.7		
10	(18.9)	<14.8>				11.4							0.3	1.2		
11	(20.0)	<13.8>											0.6	1.9		
12		<11.5>											0.5	1.4		
13	(19.8)	34.2	11.9	11.0	10.6	12.6	32.20%	31.00%	36.80%	60.10%	0.7	2.7	0.4	1.5		
14	19.7	31.9	9.2	10.2	12.0	9.7	32.00%	37.60%	30.40%	46.70%	0.4	1.9	0.3	1.4	7.0×6.3	
15	(16.3)	32.6	12.3	11.6			35.60%			75.50%	0.5	2.2	0.6	2.1	5.1×5.4	
16	18.8	35.2	12.5	10.8	13.6	10.8	30.70%	38.60%	30.70%	66.50%	0.4	1.1	0.4	1.3	5.6×5.3	
17	(20.8)	32.8	12.9	10.3	11.9	10.6	31.40%	36.30%	32.30%	62.00%	0.8	3.1	0.5	2.4		
18	(21.8)	34.1	(16.2)	8.9	13.6	11.6	26.10%	39.90%	34.00%	74.30%	0.6	1.4	0.7	1.6	5.2×5.8	
19	20.3	32.4	10.5	11.1	10.8	10.5	34.30%	33.30%	32.40%	51.70%	0.4	2.1	0.4	1.7	7.0×7.4	
20	21.4	34.3	11.7	12.3	12.0	10.0	35.90%	35.00%	29.10%	54.70%	0.3	1.5	0.2	1.4	6.1×7.2	
21	(21.6)	36.7	11.3	14.7	11.1	10.9	40.10%	30.20%	29.30%	52.30%	0.6	1.8	0.3	1.3	5.9×6.3	
22	(21.0)	31.7	12.0	12.6			39.70%			57.10%	0.6	2.1	0.5	1.4	(5.4×4.4)	
23	(20.1)	34.6	10.6	12.8	9.5	11.3	37.00%	28.30%	33.60%	52.70%	0.3	1.4	0.4	1.5		
24	(22.0)	32.2	12.2	13.5	9.7	9.0	41.90%	30.10%	28.00%	55.50%	0.4	1.9	0.4	1.6	(5.3×5.5)	
25	(20.6)	31.7	13.1	12.2	11.3	8.2	38.50%	35.60%	25.90%	63.60%	0.3	1.0	0.6	2.0		
26	20	30.7	12.1	11.9	9.8	9.0	38.80%	31.90%	29.30%	60.50%	0.4	1.3	0.5	1.6	6.1×6.2	
27	(21.1)	32.7	12.0	12.7	11.3	8.7	38.80%	34.60%	26.60%	56.90%	0.5	1.8	0.3	0.9	6.0×6.8	
28	21.5	32.7	11.3	13.4	9.6	9.7	41.00%	29.40%	29.70%	52.60%	0.5	1.6	0.4	1.4	5.5×6.2	
29	20.0	34.7	12.2	14.2	10.8	9.7	40.90%	31.10%	28.00%	61.00%	0.6	2.6	0.4	1.8	5.6×5.9	
30	20.5	35.3	12.7			10.5			29.70%	62.00%	0.4	2.2	0.4	1.5	5.5×6.8	
31	21.3	35.3	12.5	13.7	11.9	9.7		33.70%	27.50%	58.70%	0.7	2.1	0.5	1.8	5.6×6.7	
32	22.1	32.9	(11.6)	14.3	8.6	10	43.50%	26.10%	30.40%	52.50%	0.4	1.8	0.4	1.6	6.4×6.2	
33	(22.5)	36.3	12.3	15.0	11.5	9.8	41.30%	31.70%	27.00%	54.70%	0.6	2.0	0.6	1.6	6.1×7.2	
34	(20.0)	38.5	12.3	17.2	10.7	10.4	44.70%	27.80%	27.00%	61.50%						
35	(22.3)	36.5	12.0	15.6	10.4	10.5	42.70%	29.30%	27.70%	53.80%	0.6	1.8	0.6	1.4	(6.5×7.5)	
36		34.7	10.7	14.0			40.30%				0.5	1.3	0.5	1.8		
37		<30.0>	12	12.8							0.5	2.5	0.5	1.7		
38		<31.6>	(11.0)	15.1	11.0						0.6	2.3	0.5	2.3		
39		<28.6>	12.1	9.7	14.3						0.4	2.1	0.2	1.2		
40		<30.2>	11.4	13.2							0.4	1.4	0.4	1.0		
41		<33.0>	10.9	14.5							0.4	1.1	0.4	1.6		
42		<23.1>	12.3	13.2							0.6	2.2				
43		<29.3>	(11.5)	14.4	10.2						0.4	1.7	0.4	1.7	4.5×5.5	
44	(20.0)	38.7	12.3	17.5	10.1	11.1	45.20%	26.10%	28.70%	61.50%	0.5	1.3	0.3	1.3	5.5×6.8	
44		<22.4>	(11.2)										0.4	1.6	6.6×6.6	
45		<24.0>	9.7	10.9		8.1					0.3	1.7	0.5	1.2	5.1×5.1	
46		<20.0>	(12.0)	8.3							0.5	2.3				
47		<21.8>	(12.8)	14.1							0.3	1.1				
48		<23.0>									0.3	2.0	0.4	1.6		
49		<19.7>	12.7								0.4	1.5				
50		<16.6>	10.5								0.5	1.3				
51		<11.5>	10.0													
52		<13.1>	13.4										0.4	1.2		
53		< 7.5>	13.5)													
54		<32.0>	(13.9)	8.2	7.1						0.3	1.4	0.4	1.8	4.3×6.4	朝顔形
				8.1	5.4						0.3	1.4	0.5	1.8		第3･4段

（2）土坑

土坑は35基検出された。欠番の第34号土坑から第37号土坑は、第3次調査の県道の発掘調査区内にあり、当事業団報告書第317集「飯塚古墳群Ⅰ」に掲載されている。また、第6号土坑は第9号墳墳丘内にあり、第9号墳とともに報告した。第40号土坑は第21号墳の主体部である。

第1号土坑（第367図）

R－13グリッドに位置する。第4号墳と重複し、第4号墳が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、124㎝×60㎝、深さ7㎝を測る。主軸方位は、N－1°－Wを指す。

第2号土坑（第367図）

R－13グリッドに位置する。第3号井戸と重複し、井戸が新しい。平面形は、長方形を呈すると推定される。規模は、114㎝以上×120㎝、深さ58㎝を測る。主軸方位は、N－72°－Wを指す。

第3号土坑（第367図）

R－12グリッドに位置する。第3・5号墳と重複し、第5号墳が古い。平面形は、不整長方形を呈する。規模は、110㎝×71㎝、深さ18㎝を測る。主軸方位は、N－6°－Eを指す。

第4号土坑（第367図）

R－13・14グリッドに位置する。南側は調査区域外となり、第3号井戸と重複し重複し、井戸跡が新しい。平面形は、不整形形を呈する。規模は、195㎝以上×135㎝、深さ58㎝を測る。主軸方位は、N－60°－Eを指す。

第5号土坑

Q・R－9グリッドに位置する。南側一部は調査区域外となる。第3・4号溝、第8号墳と重複し、両溝ともに新しく、第8号墳が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、236㎝×160㎝、深さ35㎝を測る。主軸方位は、N－24°－Wを指す。

第7号土坑

G－7グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、220㎝×73㎝、深さ18㎝を測る。主軸方位は、N－14°－Wを指す。

第8号土坑

G－6グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、265㎝×82㎝、深さ14㎝を測る。主軸方位は、N－12°－Wを指す。

第9号土坑

I－6・7グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、172㎝×43㎝、深さ17㎝を測る。主軸方位は、N－15°－Wを指す。

第10号土坑

I－6グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。規模は、径124㎝×127㎝、深さ30㎝を測る。主軸方位は、N－3°－Wを指す。

第11号土坑

I－6グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。規模は、径135㎝×126㎝、深さ16㎝を測る。主軸方位は、N－37°－Wを指す。

第12号土坑

I－6グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、172㎝×87㎝、深さ25㎝を測る。主軸方位は、N－60°－Wを指す。

第13号土坑（第367図）

I－6グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。規模は、径135㎝×130㎝、深さ56㎝を測る。主軸方位は、N－90°－Eを指す。

第14号土坑

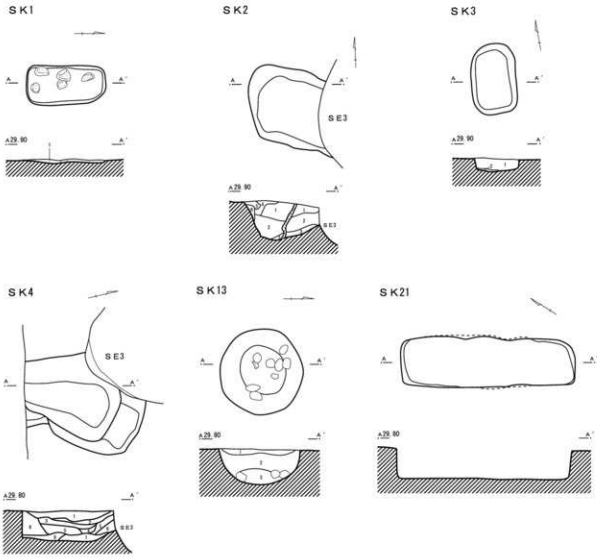
I・J－6グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、119㎝×56㎝、深さ45㎝を測る。主軸方位は、N－29°－Wを指す。

第15号土坑

I－5グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、142㎝×92㎝、深さ26㎝を測る。主軸方位は、N－6°－Wを指す。

第16号土坑

H－4グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、168㎝×96㎝、深さ15㎝を測る。



第1号土坑
1　暗褐色土　　シルトブロック・細砂（噴砂）による埋土
　　炭化物少量　粘性弱　締まりなし

第2号土坑
1　にぶい黄褐色土　締まり強
2　暗褐色土　　締まり強
3　暗褐色土　　にぶい黄褐色土多量
4　暗褐色土　　白色微粒子多量
5　褐色土
6　にぶい黄褐色土

第3号土坑
1　暗褐色土　　細砂質シルト　ローム小ブロック・シルトブロック・
　　マンガン斑少　白色粒　粘性やや強　締まり有り
　　埋め戻しか
2　暗褐色土　　細砂質シルト　ローム小ブロックやや多
　　マンガン斑・シルトブロック少量　粘性やや強
　　締まり弱

第4号土坑
1　にぶい黄褐色土　締まり強
2　暗褐色土
3　暗褐色土　　焼土・白色粘土多量
4　にぶい黄褐色土　白色粘土若干含む
5　にぶい黄褐色土
6　灰黄褐色土
7　にぶい黄褐色土　粘質
8　にぶい黄褐色土　締まり強
9　灰黄褐色土　　粘性有り

第13号土坑
1　暗褐色土　　黄褐色土粒子・白色火山灰多量
2　暗褐色土　　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック・
　　白色火山灰多量
3　褐色土　　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック主体
　　暗褐色土粒子多量

0　2m
1:80

第367図　土坑（1）

主軸方位は、N－8°－Wを指す。

第17号土坑

Ⅰ－6グリッドに位置する。第18号土坑と重複し、第18号土坑が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、185㎝×85㎝、深さ27㎝を測る。主軸方位は、N－12°－Wを指す。

第18号土坑

Ⅰ－6グリッドに位置する。第17号土坑と重複し、第17号土坑が新しい。平面形は、円形を呈すると推定される。規模は、径75㎝以上×95㎝、深さ11㎝を測る。主軸方位は、N－12°－Wを指す。

第19号土坑

Ⅰ－4・5グリッドに位置する。第27号土坑と重複し、第27号土坑が新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、3.45㎝×91㎝、深さ23㎝を測る。主軸方位は、N－86°－Eを指す。

第20号土坑

Ⅰ－5・6グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、249㎝×91㎝、深さ19㎝を測る。主軸方位は、N－82°－Eを指す。

第21号土坑（第367図）

Ⅰ－6グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、277㎝×85㎝、深さ52㎝を測る。主軸方位は、N－28°－Wを指す。

遺物は、図示できなかったが須恵器小片が出土した。

第22号土坑（第368図）

Ⅰ－5グリッドに位置する。第23号土坑と重複し、第23号土坑が新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、336㎝×90㎝、深さ18㎝を測る。主軸方位は、N－20°－Wを指す。

第23号土坑（第368図）

Ⅰ－5グリッドに位置する。第22・24号土坑と重複し、第22・24号土坑が古い。平面形は、長方形形を呈する。規模は263㎝×102㎝、深さ32㎝を測る。主軸方位は、N－24°－Wを指す。

第24号土坑（第368図）

Ⅰ－5グリッドに位置する。第23号土坑と重複し、第23号土坑が新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、245㎝×89㎝、深さ41㎝を測る。主軸方位は、N－22°－Wを指す。

第25号土坑（第368図）

Ⅰ－5グリッドに位置する。第12号井戸と重複し、切られている。平面形は、長楕円形を呈する。規模は確認できた主軸は213㎝、幅85㎝、深さ14㎝を測る。主軸方位は、N－20°－Wを指す。

遺物は、図示できなかったが須恵器坏細片、埴輪細片が出土した。

第26号土坑

H－7グリッドに位置する。第33号土坑・第13号と重複し、土坑・古墳ともに古い。平面形は、円形を呈する。規模は、径133㎝×124㎝、深さ57㎝を測る。主軸方位は、N－81°－Wを指す。

第27号土坑（第368図）

Ⅰ－4グリッドに位置する。第19号土坑と重複し、第19号土坑が古い。平面形は、円形を呈する。規模は、径182㎝×165㎝、深さ97㎝を測る。主軸方位は、N－2°－Wを指す。

第28号土坑

K－6グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、271㎝×91㎝、深さ34㎝を測る。主軸方位は、N－6°－Wを指す。

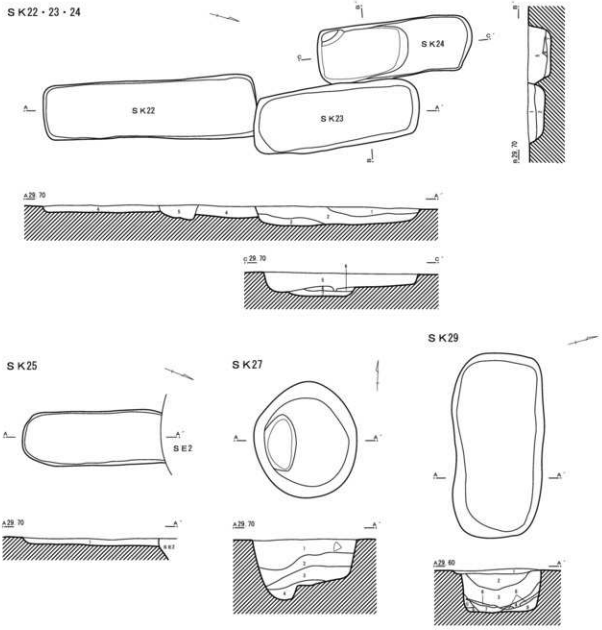
第29号土坑（第368図）

Ⅰ・J－7グリッドに位置する。平面形は、不整長方形を呈する。規模は、290㎝×141㎝、深さ80㎝を測る。主軸方位は、N－72°－を指す。

第30号土坑（第369図）

H・Ⅰ－5グリッドに位置する。第31号土坑と重複し、第31号土坑が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は301㎝×81㎝、深さ51㎝を測る。主軸方位は、N－17°－Wを指す。

遺物は、埴輪細片と人骨片が出土した。



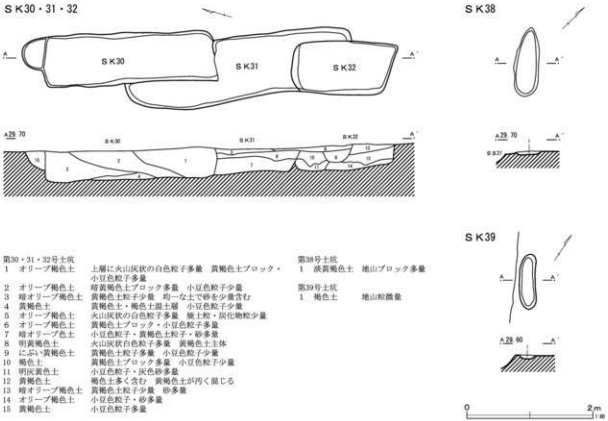
第22・23・24号土坑
1　褐色土　　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック極多量　白色火山灰多量
2　暗褐色土　　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多量　白色火山灰少量
3　黒褐色土　　黄褐色土粒子少量
4　暗褐色土　　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック極多量　白色火山灰少量
5　暗褐色土　　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多量　白色火山灰少量
6　灰黄褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック少量
7　暗褐色土　　黄褐色粒子・黄褐色土ブロック少量

第25号土坑
1　にぶい黄褐色土　白色火山灰多量　橙色土粒子・炭化物粒子微量

第27号土坑
1　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック・白色火山灰多量
2　褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック主体　暗褐色土粒子多量
3　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多量　炭化物粒子微量
4　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック少量

第29号土坑
1　黄褐色土　　火山灰状白色粒子少量　小豆色粒子多量
2　オリーブ褐色土　火山灰状白色粒子・黄褐色土粒子少量　小豆色粒子多量
3　暗灰黄色土　　火山灰状白色粒子少量　小豆色粒子・黄褐色土粒子多量
4　オリーブ色土　　黄褐色土主体　灰褐色土少量　小豆色土粒子多量
5　オリーブ黄色土　小豆色土粒子・黄褐色土ブロック多量　粘性強
6　浅黄色土　　砂層
7　オリーブ黄色土　5層に似るが砂を多く含む
8　オリーブ色土　　黄褐色土主体　灰褐色土・灰色砂を斑点状に含む
9　オリーブ黄色土　小豆色土多量　砂主体

第368図　土坑（2）



第369図 土坑（3）

第31号土坑（第369図）

Ⅰ－5グリッドに位置する。第30・32号土坑と重複し、第30号土坑が新しく、第32号土坑が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、365㎝×98㎝、深さ44㎝を測る。主軸方位は、N－17°－Wを指す。

第32号土坑（第369図）

Ⅰ－5グリッドに位置する。第31号土坑と重複し、第31号土坑が新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、159㎝×84㎝、深さ42㎝を測る。主軸方位は、N－13°－Wを指す。

第33号土坑

H－7グリッドに位置する。第26号土坑・第13号墳と重複し、土坑は新しく古墳は不明である。平面形は、長方形を呈すると推定される。規模は、135㎝以上×40㎝以上、深さ50㎝を測る。主軸方位は、N－10°－Eを指す。

第38号土坑（第369図）

N－4グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、109㎝×39㎝、深さ11㎝を測る。主軸方位は、N－42°－Wを指す。

第39号土坑（第369図）

N－4グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、86㎝×26㎝、深さ7㎝を測る。主軸方位は、N－39°－Wを指す。

（3）井戸跡

第１号井戸跡（第370図）

Ｒ－13・14グリッドに位置する。第１号墳の周溝と重複し、壊している。平面形は、円形を呈する。径118～127㎝、深さ108㎝以上を測る。

第２号井戸跡（第370図）

Ｑ・Ｒ－14グリッドに位置する。第１号墳の周溝外周と重複し、壊している。平面形は、円形を呈する。径113～115㎝、深さ87㎝を測る。

第３号井戸跡（第370図）

Ｒ－13グリッドに位置する。第２・４号土坑と重複し、壊している。平面形は、楕円形を呈する。234㎝×190㎝、深さ140㎝を測る。主軸方位は、Ｎ－３°－Ｅを指す。

第４号井戸跡（第370図）

Ｒ－14グリッドに位置する。北側の一部は調査区域外で、第１号墳と重複し墳丘部を壊している。平面形は、円形を呈する。径118センチ以上～154㎝、深さ66㎝以上を測る。

第５号井戸跡

Ｑ－７・８グリッドに位置する。第９号墳と重複し周溝部を壊している。平面形は、円形を呈する。径145～158㎝を測る。湧水のため上面プランを確認できただけであった。

第６号井戸跡

Ｐ・Ｑ－７グリッドに位置する。第９号墳と重複し、周溝外周と周溝を壊している。平面形は、円形を呈する。径203～223㎝を測る。湧水のため上面プランを確認できただけであった。

第７号井戸跡

Ｆ－６グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。径110～113㎝、深さ90㎝以上を測る。

第８号井戸跡

Ｈ－４・５グリッドに位置する。平面形は、やや歪んだ円形を呈する。径142～155㎝、深さ145㎝以上を測る。

第９号井戸跡（第370図）

Ｉ－５グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。径78～83㎝、深さ75㎝以上を測る。

第10号井戸跡（第371図）

Ｊ－７グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。径144～150㎝、深さ101㎝以上を測る。

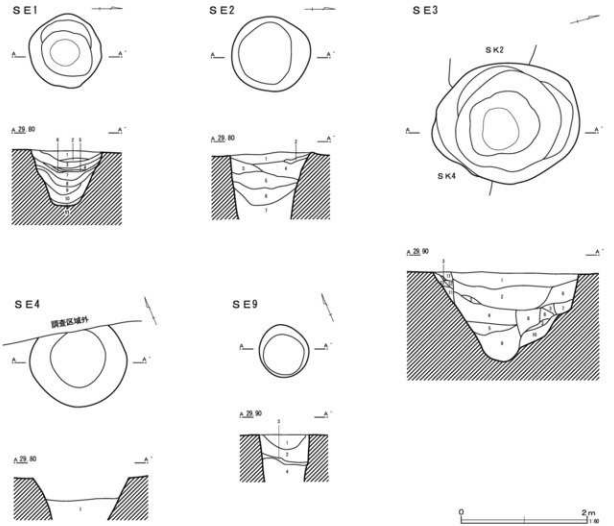
第11号井戸跡（第371・372図）

Ｋ－７グリッドに位置する。第16号墳の周溝と重複し、周溝を壊している。平面形は、円形を呈する。径140～145㎝、深さ135㎝を測る。

遺物は、円筒埴輪片が出土した。

第12号井戸跡（第371図）

Ｉ－４・５グリッドに位置する。第25号土坑と重複し、北側を壊している。平面形は、円形を呈する。径238～263㎝、深さ141㎝以上を測る。



第1号井戸
1 にぶい黄褐色土 細砂質シルト 壁砂少ブロック多量 白色粒やや多 粘性有り 締まりやや強
2 褐色土 シルト シルトブロック主体 粘性強 締まり弱
3 暗褐色土 炭化物ブロック多量 焼土小ブロック少量
4 暗褐色土 シルト質細砂 陶片のいし 粘性有り 締まり弱
5 黒褐色土 細砂 炭化物と細砂の層 粘性なし 締まりなし
6 暗褐色土 シルト質細砂 褐色シルトブロック多量 粘性弱 締まりなし
7 暗褐色土 シルト質細砂 褐色シルトブロック・褐色砂ブロックの層 粘性弱 締まりなし
8 黒褐色土 シルト質細砂 褐色シルトブロック・褐色ブロックやや多 粘性なし 締まりなし
9 暗褐色土 細砂に褐色砂混じる 粘性なし 締まりなし
10 暗褐色土 シルト質細砂 9層より褐色砂ブロック多 粘性なし 締まりなし
11 暗褐色土 細砂 褐色ローム小ブロック少量 粘性あり 締まりなし

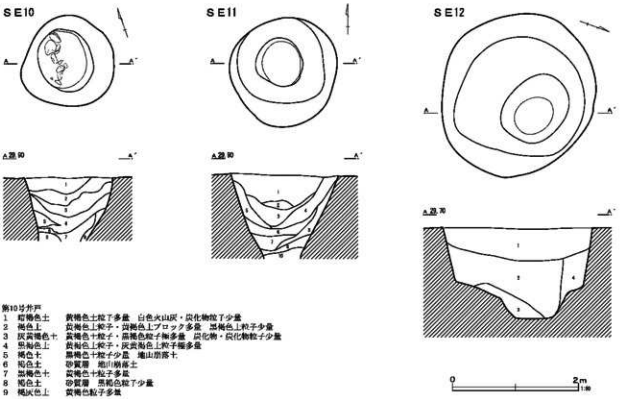
第2号井戸
1 にぶい黄褐色土 橙色土粒子・白色微粒子多量 締まり強
2 褐色土 炭化物粒子・ロームブロック含む 砂質
3 暗褐色土 炭化物粒子・ロームブロック含む 締まり強 粘質
4 暗褐色土 炭化物粒子・ロームブロック多量 砂質
5 暗褐色土 黄褐色土多量 砂質土
6 暗褐色土 黄褐色土若干含む 砂質土
7 暗褐色土

第3号井戸
1 にぶい黄褐色土 白色微粒子多量 橙色土粒子若干含む 締まり強 砂質
2 暗褐色土 黄褐色土ブロック多量 砂質土
3 褐色土 砂質土
4 暗褐色土 やや細まりあり
5 黒褐色土
6 黒褐色土 褐色砂質土含む
7 黒褐色土 褐色砂質土含む やや砂質
8 黒褐色土 褐色砂質土多量 砂質
9 黒褐色土 マンガン斑多量 シルト質細砂
10 褐色土 ローム壁崩落土
11 褐色土 締まり強
12 暗褐色土 締まり強 褐色土多く含む
13 暗褐色土 締まり強

第4号井戸
1 褐色土 シルト ロームブロック主体 シルト小ブロックが混じる 焼土片少含む 粘性やや強 締まりあり

第9号井戸
1 褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土ブロックを主体 暗褐色土粒子多量 白色火山灰少量
2 暗褐色土 黄褐色土粒子多量 白色火山灰極多量
3 褐色土 1層に似るが、白色火山灰の混入が少ない
4 暗褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック少量

第370図 井戸跡（1）

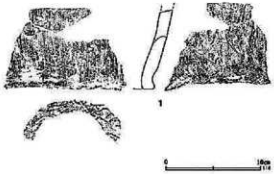


第10号井戸
1　灰褐色土　　黄褐色土粒子多量　白色火山灰・炭化物粒子少量
2　褐色土　　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多量　黒褐色土粒子少量
3　灰黄褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色粒子極多量　炭化物・炭化物粒子少量
4　黒褐色土　黄褐色土粒子・炭黄褐色土粒子極多量
5　褐色土　　黒褐色土粒子少量　地山崩落土
6　褐色土　　砂質層　地山崩落土
7　黒褐色土　黄褐色土粒子多量
8　褐色土　　砂質層　黒褐色粒子少量
9　褐灰色土　黄褐色粒子多量

第11号井戸
1　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック・白色火山灰多量
2　灰黄褐色土　黄褐色粒子多量
3　黄灰色土　黄褐色粒子多量　炭化物・炭化物粒子少量
4　褐灰色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多量
5　暗褐色土　黄褐色土粒子極多量
6　黒褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多量
7　黒褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック多量
8　暗褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色土ブロック極多量
9　黒褐色土　黄褐色土粒子少量　粘性強
10　黄灰色土　黒褐色土粒子多量　粘性強

第12号井戸
1　暗褐色土　黄褐色粒子・黄褐色ブロック・白色火山灰多量　炭化物少量　堆土
2　暗褐色土　黄褐色粒子・黄褐色ブロック多量　炭化物少量　堆土
3　褐色土　　黄褐色粒子・黄褐色ブロック多量　堆土
4　褐色土　　黄褐色粒子・黄褐色ブロック少量　粘り方を細胴線、壁状に貼り付けたか

第371図　井戸跡（2）



第372図　第11号井戸跡出土遺物

第11号井戸出土埴輪観察表（第372図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	色調	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備考
1	円筒	第1段片	高（8.5）	①胎土 ②色調 ③焼成 ①ＡＦＪ②橙 ③良好・硬質		18	外面タテハケ 内面指工具タテナデを施す	覆土	

(4) 溝跡

第1号溝

調査区南端で東に延びる調査区の東端のR・S－15グリッドに位置し、南北に延びる。第2号墳の周溝上に延びるが、重複はしていない。土層から中近世以降と見られる。

規模は、確認できた全長7.65 m、幅1.15～1.90 m、深さ13～26 cmを測る。

第2号溝

調査区南端で東に延びる調査区の西側のQ・R－10グリッドに位置し、北西から南東に延びる。

規模は、全長3.05 m、幅31～45 cm、深さ4～7 cmを測る。

第3号溝

調査区南端で東に延びる調査区の西側のQ・R－9グリッドに位置し、東西に延びる。第5号土坑と重複し、土坑を壊している。

規模は、確認できた全長3.30 m、幅27～34 cm、深さ3～10 cmを測る。

第4号溝

調査区南端で東に延びる調査区の西側のR－9・10グリッドに位置し、東西に延びる。第8号墳、第5号土坑と重複し、両遺構を壊している。

規模は、全長3.70 m、幅33～53 cm、深さ7 cmを測る。

第5号溝

調査区中央東端のL・M・N－6・7、O－7グリッドに位置し、南北に延びる。

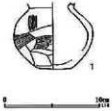
規模は、確認できた全長31 m、幅0.7～1.7 m、深さ23～85 cmを測る。

第6号溝（第373～375図）

調査区の南側のO－4～6、P－5・6グリッドに位置し、東西にクランク状に延びる。第10・14・21号墳と重複し、いずれの古墳とも壊している。数箇所で地震による砂脈が確認できた。

規模は、確認できた全長32 m、幅1.48～2.28 m、深さ50～60 cmを測る。

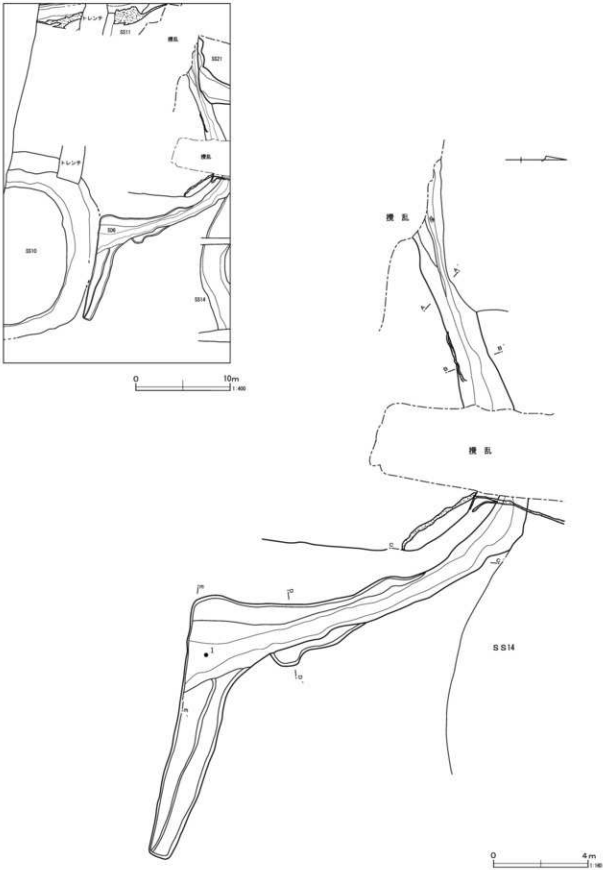
遺物は、土師器坩が出土した。



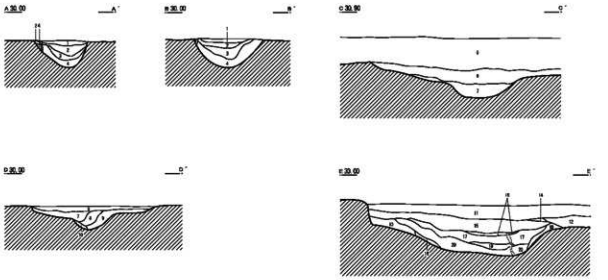
第373図　第6号溝出土遺物

第6号溝跡出土遺物観察表（第373図）

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師小型坩			3.5	ACFJ	普通	にぶい橙	80	覆土	頸部外面横下横ナデ 胴部外面上半横ナデ及びタテハケ 胴部外面下半ヨコハケ及びヘラ削り


トレンチ
SD11
撹乱
SD21
トレンチ
撹乱
SD10
SD14
0
10m
1:400
撹乱
撹乱
SS14
0
4m
1:160

第374図　第6号溝（1）



第6号溝
1 暗褐色土　地山粒　白色粒子少
2 茶褐色土　地山粒　地山ブロック微
3 暗褐色土　地山粒　地山ブロック少　砂質
4 淡黄色土　地山ブロック多　砂質
5 褐色土
6 暗灰黄色土　火山灰状の白色粒子・マンガン粒子多　炭化粒子微　砂質
7 黄褐色土　マンガン粒子・砂質の黄褐色ブロック多　砂質
8 灰黄褐色土　黄褐色土・マンガン粒子少
9 灰黄褐色土　黄褐色土少　マンガン粒子多(小白色粒子)
10 暗灰黄色土　黄褐色ブロック多　マンガン粒子少　砂質
11 オリーブ褐色土　火山灰状の白色粒子・マンガン粒子・黄褐色土粒子多　炭化粒子微
12 暗オリーブ褐色土　火山灰状の白色粒子少　マンガン粒子・黄褐色ブロック少
13 黄褐色土　暗褐色ブロック多　マンガン粒子少　締まりなし
14 褐色土　マンガン粒子多・白色粒子多
15 茶褐色土　マンガン粒子・黄褐色土粒子多　灰褐色の粘質土ブロック少
16 黒褐色土　黄褐色土粒子・黄褐色ブロック多
17 黒色土　黄褐色土粒子多　炭化粒子微
18 褐色土　黄褐色ブロック・マンガン粒子多
19 黒褐色土　黄褐色土粒子多　炭化物・炭化粒子多　粘性強
20 黄褐色土　マンガン粒子少　砂多
SG 砂

0　2m

第375図　第6号溝（2）

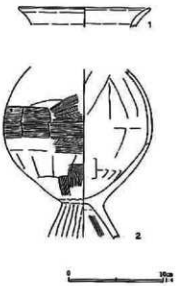
（5）性格不明遺構

第1号性格不明遺構（ＳＸ１）（第376・377図）

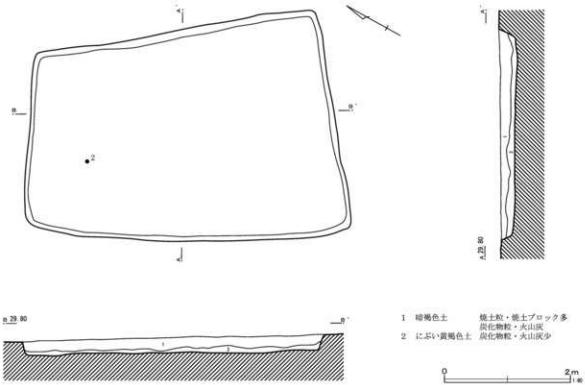
Ｋ－４・５グリッドに位置する。第16号墳の西隅の墳丘上で検出された。平面形は、台形を呈している。

規模は、長軸4.85ｍ、短辺2.65ｍ、長辺3.56ｍ、深さ15～25㎝を測る。主軸方位は、Ｎ－33°－Ｗを指す。

遺物は、土師器台付甕が出土した。



第376図　第1号性格不明遺構出土遺物



第377図　第1号性格不明遺構

第1号性格不明遺構出土遺物観察表（第376図）

番号	器　種	口　径	器　高	底　径	胎　土	焼成	色　調	残存	出土位置	備　　考
1	土師台付甕				ＡＢＦＪ	不良	にぶい黄橙	35	ほぼ床	２と同一固体
2	土師台付甕				ＡＢＦＪ	不良	にぶい橙	70	ほぼ床	１と同一固体 外面ヨコナデ・ヨコハケ・タテハケ・ヘラナデ　内面タテ及び横ナデ

（6）グリッド出土・表採遺物（第378・379図）

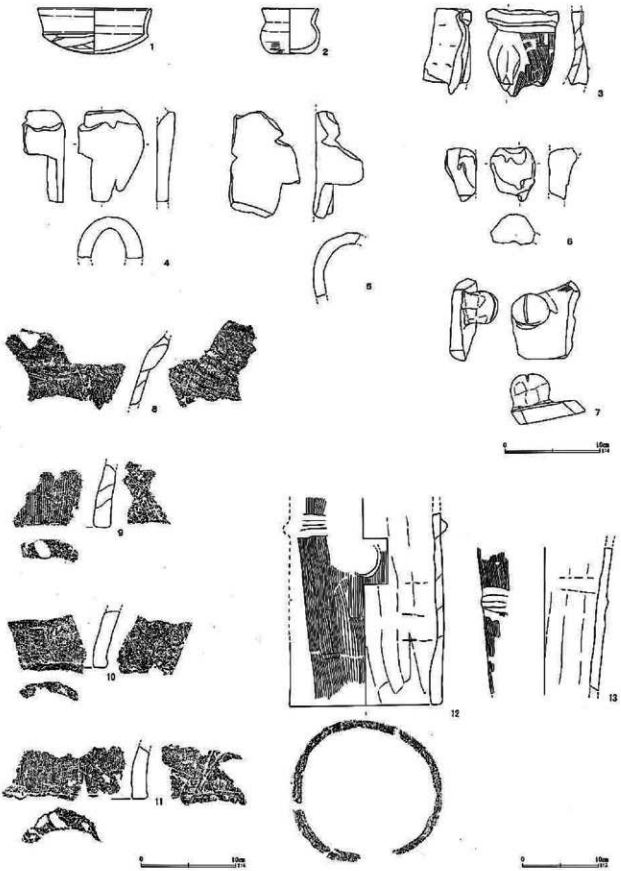
グリッド出土及び表採遺物は土師器坏、ミニチュア壺の他に埴輪、鉄製品がある。埴輪は人物埴輪の美豆良がある男性左側頭部片、人物や動物埴輪の足や脚、馬形埴輪の尻繋部の鈴の他、円筒埴輪などがある。また、12は試掘時の出土遺物で、形象埴輪の基台部とみられる。

グリッド出土・表採遺物観察表（第378図）

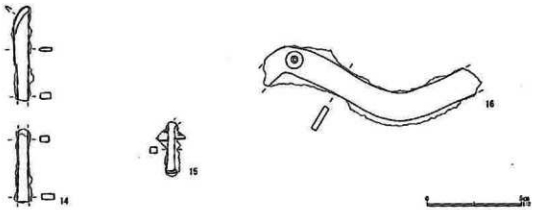
番号	器　種	口　径	器　高	底　径	胎　土	焼成	色　調	残存	出土位置	備　　考
1	土師坏	11.8	4.9		ＡＣＦ	普通	橙	100	表採	口縁部内外面横ナデ
2	ミニチュア壺	(5.8)	4.8	4.0	ＡＦ	普通	浅黄橙	70	Ｏ－５Ｇ	

グリッド出土・表採埴輪観察表（第378図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
3	形象 人物 (男)	頭部1/3		①ＡＣＦＧＪ ②橙 ③硬質・良好				Ｌ－６Ｇ	左側頭部から後頭部にかけての破片　左側の美豆良が残るが先端は欠損している



第378図　グリッド出土・表採遺物（1）



第379図　グリッド出土・表採遺物（2）

グリッド出土・表採埴輪観察表（第378図）

番号	器種	残存状態	法量（cm）	①胎土 ②色調 ③焼成	突帯	ハケメ	成・整形の特徴	出土位置	備　　考
4	形象 動物 (脚)			①ＡＦＪ ②明黄褐 ③普通・普通				Ｉ－６Ｇ	
5	形象 馬 (脚)			①ＡＦＪＫ ②橙 ③普通・普通				Ｌ-５・６Ｇ	
6	形象 人物 (足)			①ＡＢＦ ②橙 ③普通・普通				Ｏ－７Ｇ	
7	形象 馬 (鈴)		径　3.3×4.0 長さ3.6	①ＡＢＦＪ ②浅黄橙 ③普通・普通			中実　側面ナデ 内外面一部ハケメも施す	表採	尻繋部
8	形象	基台部1/2	底径	①ＡＦＧ ②橙 ③硬質・良好		13	外面タテハケ 内面ヨコナデを施す	Ｌ－７Ｇ	
9	円筒	第１段片	高（6.6）	①ＡＪ ②橙 ③硬質・良		9	外面タテハケ 内面タテハケ・ナデを施す	Ｊ－７Ｇ	底部に棒状圧痕
10	円筒	第１段片	高（6.0）	①ＡＧＦＪ ②橙 ③硬質・良好		18	外面タテハケ 面ナナメナデ	Ｌ－６Ｇ	
11	円筒	第１段片	高（5.5）	①ＡＦＪ ②橙 ③普通・普通		18	外面タテハケ 内面ヨコハケ・ナナメナデ 端部ヨコナデ	Ｌ－６Ｇ	底部に棒状圧痕
12	形象	第１段2/3残 基台部	底径　20.3	①ＡＦＫ ②橙 ③普通	台形	8	外面タテハケ 内面縦方向の指ナデを施す	表採	
13	円筒	第１段1/5 第２段2/5		①ＡＦＪＫ ②橙 ③良好・硬質	M字形	21	外面縦ハケ 内面縦方向のナデ一部 横方向のナデを施す	Ｌ－６Ｇ	

グリッド出土・表採遺物観察表（第379図）

番号	器　種	計　測　値	出土位置	備　　考
14	鉄鏃	長さ[5.0]＋[3.8] cm　鏃身長3.0cm　鏃身幅0.8cm	表採	
15	鉄釘	長さ[2.6] cm　頭幅0.5cm　脚幅0.4×0.4cm	Ｑ－11Ｇ	
16	用途不明品	長さ[12.7] cm　幅1.4cm　厚さ0.3cm	ＳＳ10	古墳に伴うものではなく現代か

Ⅵ まとめ

飯塚北遺跡の集落は、奈良時代から平安時代に亘る掘立柱建物跡を伴う集落である。出土した古代の土器は、土師器・須恵器・灰釉陶器・緑釉陶器等である。特に当地の一般集落では稀な東海地方で生産された灰釉陶器・緑釉陶器等が出土したことは特筆できよう。

以下、多くの住居跡が須恵器を共伴することから須恵器編年を参考にして編年作業を行う。

第Ⅰ期（第380図）

飯塚北遺跡の出現期で、機種構成は、須恵器坏と椀と土師器坏・台付甕・甕・壺がある。

須恵器坏は、底部が平底で体部から口縁部にかけて斜め上方に延びる扁平なものである。口径は15.0㎝を最大に14㎝台～15㎝にまとまる。底部調整は糸切り後全面ヘラケズリ調整の坏Ａ１類と糸切り後周辺ヘラケズリの坏Ｂ１類が混在する。

蓋は良好な資料が少ないが、かえり蓋は無く、すべて無かえり蓋である。つまみは環状の蓋Ｂ類がある。高台付椀のＡ１類は、若干腰が突き出し体部は直線的に立ち上がる深身のものである。

土師器坏は口縁部が小さく内屈または内湾する丸底の北武蔵型坏の系譜を引くものである。底部は弱い丸底で口縁部が直立する坏Ａ類は口径12.6～13.7㎝に分布し、また口縁部が開き気味の坏Ｂ類は口径13.2～13.6㎝、内湾しながら立ち上がり口縁部のみが内屈する坏Ｃ１類の口径は12.8～14.0㎝に分布し口径15.5㎝の大型のものもある。外面のケズリは口縁直下に及ぶものはなくヘラケズリの範囲は縮小している。平底風の暗文坏の器形で暗文がみられないものに口縁部直下までヘラケズリされている。

暗文坏は弱い丸底で体部は内湾気味に立ち上がる暗文坏Ａ類、平底風の暗文坏Ｂ類があり深身と浅身がある。内面には放射状暗文と螺旋状暗文が施文される。浅身のものは放射状暗文が施文、深身の29は螺旋状暗文が施文され底部がヘラケズリされ体部も口縁直下までヘラ磨き調整されている。

土師器甕は、口縁部は「く」の字に外反する甕Ａ類が主体であるが若干緩やかな甕Ｂ類も含まれる。胴部上位に膨らみを持ちやや短胴化している。胴部は斜めケズリの甕もが多く、一部は胴部上位がヨコケズリ、以下が斜めケズリ調整でいわゆる武蔵型甕の特徴を備えている。

台付甕は胴部中位に最大径をもち、台部も大きく開く（台付甕Ａ）。壺は球胴形態を呈する。

第Ⅱ期（第381・382図）

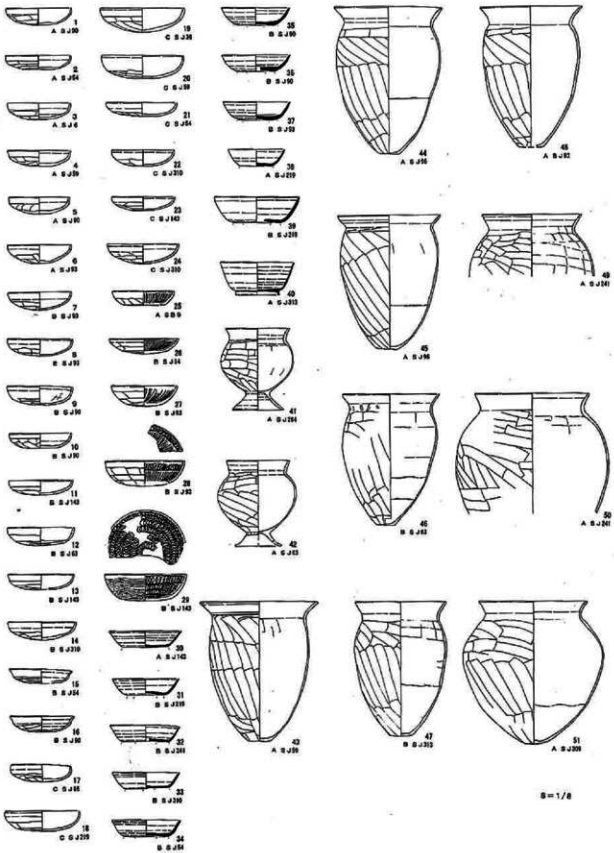
須恵器坏は、Ａ１・Ｂ１類はなくなり、口径が縮小し小型化する。底部調整全面ヘラケズリの坏Ａ２類と周辺ヘラケズリの坏Ｂ２類が出現する。Ａ２類は口径11.9～13.8㎝、器高3.0～3.7㎝で口径12㎝台後半から13㎝台後半が主体である。Ｂ２類は口径11.9～13.4㎝、器高3.1～4.0㎝で器高は3.5㎝前後が主体である。

高台付椀のＡ２類は、高台部横の体部の腰の張りがなくなる。大型のものと小型のものがある。高台部から直線的に立ち上がり、大型のものは前期より小型化する。

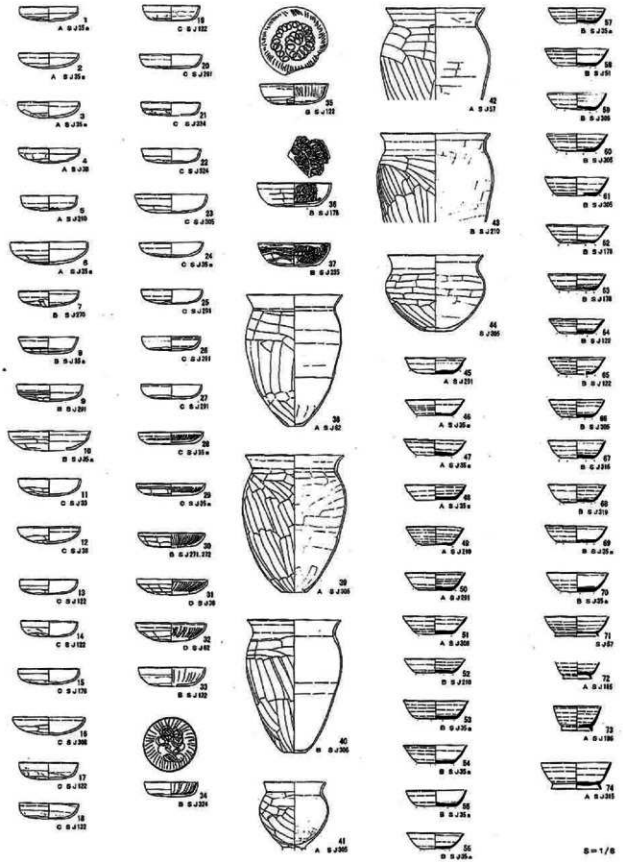
蓋は口径13.4～18.0㎝でつまみが凝宝珠・環状・ボタン状の蓋がある。この他に、短頸壺蓋・佐波理椀・高盤脚・水滴・円面硯片がある。

土師器坏は弱い丸底形態のものが残り、平底風のものもみられる。坏Ａ・坏Ｂ・坏Ｃ１類のほか、新たに弱い丸底から内湾気味に立ち上がるＣ２類と平底風底部から内湾気味に立ち上がるＣ３類と平底風底部から直線的に立ち上がるＣ４類が出現する。Ｃ２類の口径は13.3～14.4㎝、器高3.0～3.5㎝、Ｃ３類の口径は12.2～13.4㎝、器高2.8～3.8㎝、Ｃ４類の口径は13.0～14.0㎝、器高は3.0～3.7㎝に分布する。また、口径が15.0～17.3㎝と大型のものがあり、Ａ類・Ｂ類・Ｃ２類の特徴を有する。

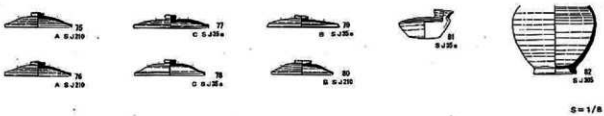
暗文坏は口径11.6～15.6㎝で浅身と深身がある。暗文坏Ａ・Ｂ類と平底で器高2.6㎝と極浅身で口縁



第380図　飯塚北遺跡第Ⅰ期の土器



第381図　飯塚北遺跡第Ⅱ期の土器（1）



第382図　飯塚北遺跡第Ⅱ期の土器（2）

部に稜を有し放射状暗文を施す暗文坏C類、浅身で口縁部が直立する暗文坏D類がある。暗文坏B類は浅身と深身があり深身で螺旋状暗文を施す。暗文土器の最終段階である。

土師器甕は、口縁部の「く」の字に外反が前期より緩やかになり、胴部は上位がヨコケズリ、以下が斜めケズリ調整。台付甕は前期より胴部最大径が頸部寄りになっている

第Ⅲ期（第383図）

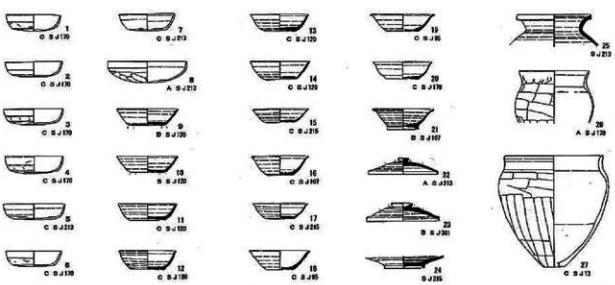
須恵器坏は、B２類は減少し、底部調整が底部糸切り後無調整の坏C類が出現する。口径12.0～14.0㎝で、器高は3.5～4.1㎝、底径6.1～7.4㎝である。体部は直線的及び内湾気味に立ち上がり、一部のものは口縁部が外反している。口径底径比が1/２超のC１類、１/２程度のC２類がみられる。

高台付埦は口径13㎝前後で、器高も4.4～4.9㎝と低く、口縁部は僅かに外反する。

蓋は口径14.7～17.2㎝で、つまみはボタン状のもの、ボタン状が崩れたものがある。酸化焔焼成の高台付埦がみられる他、いわゆるロクロ土師器・羽釜も出現している。

土師器坏は大型にA類があり、他にC３・C４類がある。C３が主体である。口径は、11.6～14.0㎝で12～13㎝が主体で、器高2.8～3.7㎝で３㎝台前半が主体である。土師器高台付埦は口径13㎝前後で器高4.4～4.9㎝で口縁部は外反する。

灰釉陶器は本段階から伴い、24は段皿で猿投産K－14号窯式並行である。



第383図　飯塚北遺跡第Ⅲ期の土器

第Ⅳ期（第384図）

須恵器坏はC類のみで、C２類とC３類が主体となる。C２類の口径は11.7～13.9㎝、底径6.0～7.1㎝、C３類では口径11.5㎝～13.0㎝、底径5.1～5.8㎝に分布する。

高台付埦は、口径は13.2㎝～14.5㎝、器高5.0㎝～5.9㎝と口径14.9㎝、器高7.0㎝と大型もある。口縁部は外反する。

皿は本段階から出現し、無台皿（A類）は口径11.9～12.4㎝、器高2.0～2.5㎝と14.0～16.0㎝、器高2.5～2.6㎝のものと高台皿（B類）は口径12.8～14.3㎝、器高2.9～3.5㎝がある。口縁部は大きく外反するものが主体である。

土師器坏は、新たにC５類が出現する。C４類より器高・体部の開きが大きくなる。また、体部が緩やかなS字状を呈し外面下半をヘラケズリしている。しかし、C４類が主体でC５類は少量である。

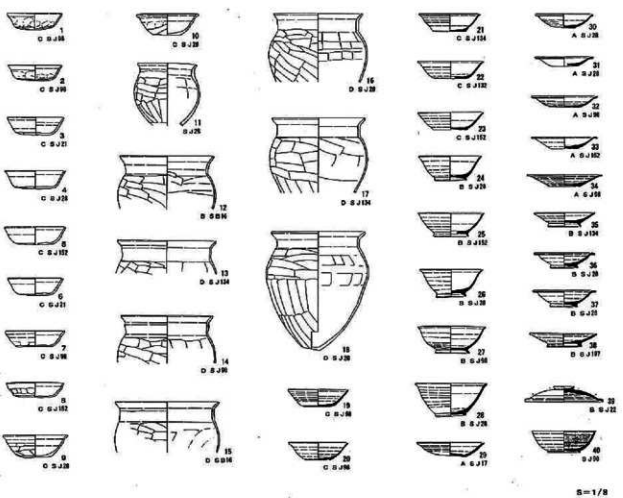
甕はコの字状口縁（D類）のものが主体となる。

灰釉陶器は当期からみられ、40の灰釉陶器埦はK－14号窯式並行とみられる。

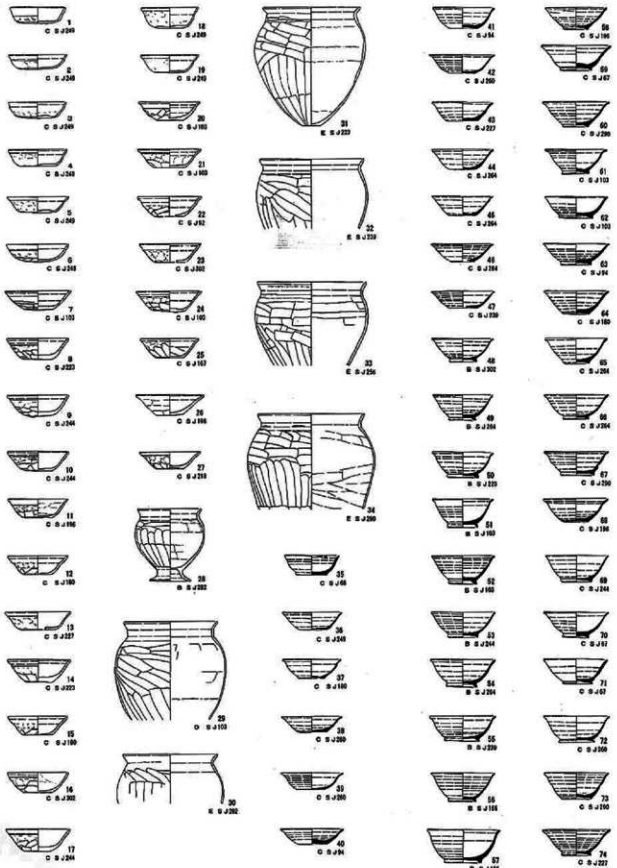
第Ⅴ期（第385・386図）

須恵器坏ではC１類は35の１点で灯明皿としたもので、基本的にはC３類のみとなり口縁部は外反する。口径は12.4㎝～13.6㎝、底径5.5㎝～6.4㎝で前期とほぼ同じである。

高台付埦が多くなり、口径13～15㎝で13～14㎝が主体である。前期とほぼ同じであるが、C類として高台径が小さくなり高台が簡略・形骸化したも



第384図　飯塚北遺跡第Ⅳ期の土器



第385図　飯塚北遺跡第Ⅴ期の土器（1）

のが出現してくる。

皿は前期に比べ無高台が増える。高台も前期より簡素化・細身となっている。

土師器坏は、C４類・C５類がある。C４類は口径12㎝程、C５類は口径12～14㎝で13㎝前後が主体である。

土師器台付甕は口縁部が短くなり台部も短くなる。甕は一部コの字状口縁も残るが、主流は甕と台付甕ともに口縁部が短くなる。

灰釉陶器は埦に加え皿がみられるようになる。東濃の光ヶ丘１号窯式及びK－90号窯式並行の埦が出土し、緑釉陶器稜埦(103)、輪花埦(104) がみられるようになる。また、円面硯の破片であるが脚台部に方形透孔と縦位の沈線を施したものがある。

第VI期（第387図）

須恵器坏は減少し、高台坏埦が増加する。坏は基本的にはC３類のみとなる。口径は11.9㎝～12.4㎝、底径5.4㎝～5.7㎝と口径が小さくなる。

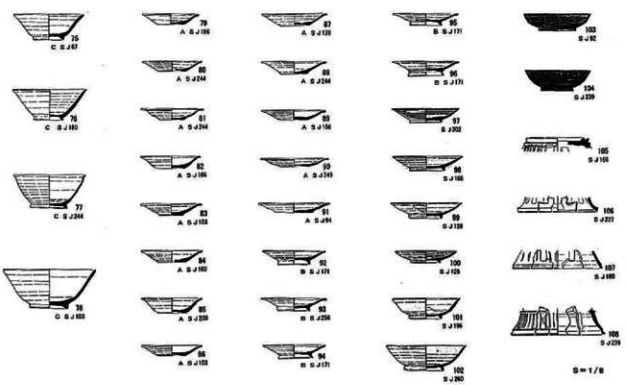
高台付埦が多くなり、口径13～14㎝が主体である。前期にも僅かにみられるが、C類として高台径が小さくなり高台が簡略・形骸化しつつ、体部は直線的に立ち上がり口縁部が外反しないものがみられる。

須恵器皿はみられなくなる。

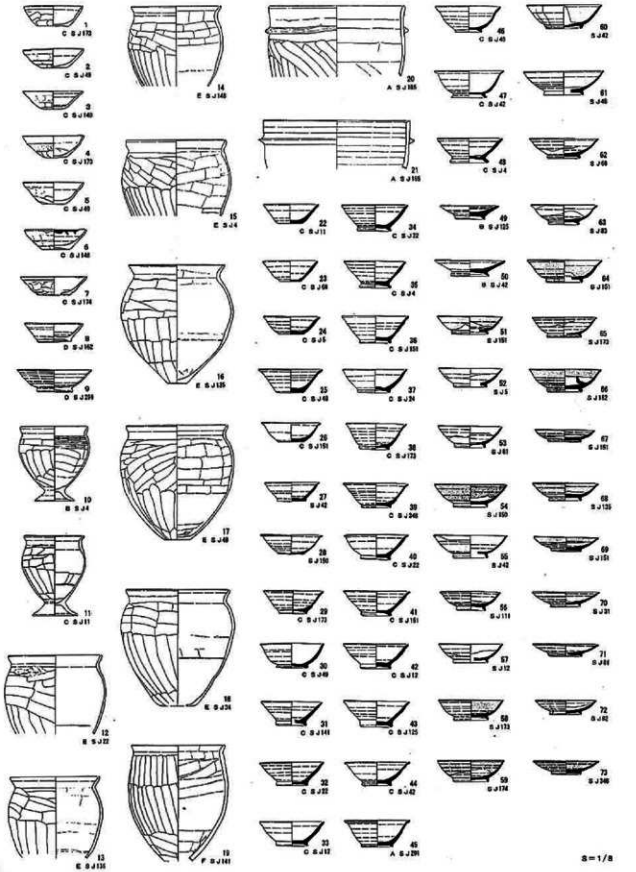
土師器坏は、C５類のみで口径が12.5㎝前後、底径が５㎝前後と６㎝程度のものがあり、口径・底径が縮小する。

土師器台付甕は胴部の丸みが無くなる。台付甕・甕ともに前期と同様に口縁部が短い。

灰釉陶器は東濃産の大原２号窯式及びO－53号窯式併行の埦・皿がある。



第386図　飯塚北遺跡第Ⅴ期の土器（2）



第387図　飯塚北遺跡第VI期の土器

飯塚北遺跡では出現期から須恵器を伴出し、後半期には灰釉陶器も伴出する。近年の須恵器・灰釉陶器の窯編年による年代観を参考に年代を求めていくこととする。

第Ⅰ期の須恵器は、南比企産が多く伴出しており、南比企産須恵器の年代観を参考に求めると、坏は口径15.0㎝、14.0㎝～14.6㎝にまとまり、鳩山窯跡群の小谷８号窯併行と思われるものがあり、渡辺編年のＨⅡ期～ＨⅢ期中葉に比定できよう。

漆紙文書が出土した武蔵野台遺跡第23号住居跡の須恵器坏は、底部を全面あるいは周辺ヘラケズリ調整する口径14㎝前後の坏で、底部の調整技法・法量等から前打出２号窯あるいは小谷６号窯に近いものと位置づけられる。漆紙文書は天平勝寶九歳暦（757年）と推定される「具注暦」断簡である。これらから、８世紀第Ⅰ四半期末～８世紀中ごろとなる。

第Ⅱ期の須恵器坏は底部未調整の坏Ａ２類の口径は12㎝後半～13㎝後半が主体であることからＨⅢ期の小谷Ｂ６号窯から広町Ｂ第11号窯以降にかけての徴を示し、ＨⅢ期中葉～後半に比定できる。Ｂ２類は調整技法と口径から広町Ｂ第12号窯以降を示すことからＨⅣ期と比定でき８世紀中葉～８世紀第Ⅳ四半期となる。

第Ⅲ期は底部調整が周辺ヘラケズリと糸切り後無調整のものが並存する。周辺ヘラケズリのものが減少し、糸切り後無調整のものが出現する時期である。広町Ｂ３号窯併行でＨⅥ期に比定できる。また、須恵器坏Ａ２・Ｃ２・Ｃ３類とともにＫ－14号窯式に併行する灰釉陶器段皿を伴出することなどからも９世紀第Ⅱ四半中心としたものとなる。

第Ⅳ期は、灰釉陶器のＫ－90号窯式に併行する椀を伴出することから９世紀後半代とみられる。須恵器は南比企産の製品はみられなくなる。

第Ⅴ期は、須恵器坏は底部調整が糸切り後無調製のものとなる。また、若宮台遺跡44号住居跡からは天安二年（865年）の銘の紡錘車が出土しており、かつて酒井清治によって９世紀後半代の資料とされた。伴出した土師器はＣ５類と考えられる。

灰釉陶器では東濃産の光ヶ丘１号窯式併行とＫ－90窯式併行の椀・皿など伴出している。９世紀中葉～10世紀初頭と考えておく。

第Ⅵ期は第Ⅴ期に後続する段階で、東濃産の大原２号窯式および０－53号窯式併行の椀・皿を伴出している。10世紀前半と考えておきたい。

引用・参考文献

斎藤　孝正　1981「猿投窯・尾北窯・美濃窯における灰釉陶器の変遷」『北丘古窯跡群・古墳群発掘調査報告書』

1982「猿投窯における灰釉陶器の展開」『考古学ジャーナル』211

酒井　清治　1984『台耕地Ⅱ』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書　第33集

1987『埼玉の古代窯業調査報告書』埼玉県立歴史資料館

鈴木　仁子　1983『若宮台』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書　第28集

田口　昭二　1982「美濃窯の灰釉陶器と緑釉陶器」『考古学ジャーナル』211

田中　広明　1997『中堀遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第190集

富田　和夫　2002『熊野遺跡（A・C・D区）』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第279集

中村　倉司　1989『白山遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査報告　第17集　埼玉県教育委員会

贄　元洋　1997「須恵器から灰釉陶器へ」『三河考古』第10号

早川　泉・平川　南　1996『武蔵野台遺跡Ⅱ』都立府中病院内遺跡調査会

三浦　京子　1988「群馬県における平安時台後期の土器様相」『群馬の考古学』

渡辺　一　1988『鳩山窯跡群Ⅰ』鳩山窯跡群遺跡調査会

1990『鳩山窯跡群Ⅱ』鳩山窯跡群遺跡調査会

1990「南比企窯跡群の須恵器の年代」『埼玉考古』第27号